

# Der Heidelberger Katechismus

ハイデルベルク信仰問答

カテキズム

または

キリスト信仰の教科書

選帝侯国プファルツの教会および学校で用いられるために

選帝侯の町ハイデルベルクにて印刷

ヨハンネス・マイヤー出版

1563年

これは、

## Der Heidelberger Katechismus ハイデルベルク信仰問答

の全訳です。

翻訳にあたり、以下の書物を参考にしました。

Otto Weber: Der Heidelberger Katechismus, 1963  
4.Auflage(17.-22.Tsd.)1990  
Gütersloher Verlagshaus Gerd Mohn

Der Heidelberger Katechismus für den Jugendunterricht  
in evangelischen Gemeinden vereinfachte Ausgabe (簡訳版)  
Herausgegeben vom Moderamen des Reformierten Bundes  
1961 by Reformierter Bund 8.Auflage 1981  
Neukirchener Verlag des Erziehungsvereins GmbH  
Neukirchen Vluyn

Heidelberger Katechismus Revidierte Ausgabe 1997 (改訂版)

竹森満佐一	訳	「ハイデルベルク信仰問答」	1961	新教出版社
登家勝也	訳	「ハイデルベルク信仰問答」	1976	改革社
吉田 隆	訳	「ハイデルベルク信仰問答」	1997	新教出版社

# Catechismus.

## Frag.

**W**as ist dein einiger trost in leben  
vnd in sterben?

## Antwort.

Daß ich mit Leib vnd Seel / beyde a Rom. 14.  
in leben vnd in sterben a / nicht mein b / b 1. Cor. 6.  
sonder meines getrewen Heilands Jesu c 1. Cor. 3.  
Christi eigen bin c / der mit seinem thew = d 1. Pet. 1.  
ren Blut d / für alle meine sünden volkom e 1. Ioh. 1.  
lich bezalet e / vñ mich auß allem gwalt σ. 2.  
des Teufels erlöset hat f / vnd also bewa f 1. Ioh. 3.  
ret g / daß ohne den willen meines Va = g Ioh. 6.  
ters im himmel / kein haar von meinem h Matt. 10.  
haupt kan fallen h / ja auch mir alles zu Luc. 21.  
meiner seligkeit dienen muß i. Darumb i Rom. 8.  
er mich auch durch seinen heiligē Geist s 2. Cor. 1.  
des ewigen lebens versichert s / vnd im Ephes. 1.  
forthin zu leben von hertzen willig vnd Rom. 8.  
bereit macht. l Rom. 8.

Wie =

## 序 ただ一つの慰め

### 第1主日

**問1** 生きる時も、死ぬ時も、あなたのただ一つの慰めは何ですか？

**答** わたしのからだも魂も、両方とも、  
生きる時も、死ぬ時も<sup>1</sup>、わたしのものではなく<sup>2</sup>、  
わたしのほんとうの救い主イエス・キリストのものであることです<sup>3</sup>。

このお方は、ご自分の貴い血によって<sup>4</sup>、  
わたしのすべての罪の代償を、完全に支払って下さいました<sup>5</sup>。  
そしてわたしを、悪魔のすべての力から、救い出し<sup>6</sup>、  
今も守って下さいますから<sup>7</sup>、

天にいらっしゃいます、わたしの御父のみこころによらないでは、  
わたしの頭からは、一本の髪の毛の毛も落ちることはありません<sup>8</sup>。  
そればかりか、すべての事が、わたしの祝福に役立つに違いないのです<sup>9</sup>。

そのため、主は、その聖霊によっても、  
わたしに永遠の生命を与えることを約束してくださり<sup>10</sup>、  
これからは、わたしが、心から進み喜んで、  
主のために生きることができるようにして下さるのです<sup>11</sup>。

**イザヤ書 43:1** ヤコブよ、あなたを創造された主は イスラエルよ、あなたを造られた主は今、こう言われる。 恐れるな、わたしはあなたを贖う。 あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。

**ヨハネによる福音書 10:27, 28** わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは決して滅びず、だれも彼らをわたしの手から奪うことはできない。

**ローマの信徒への手紙 14:7-9** わたしたちの中には、だれ一人自分のために生きる人はなく、だれ一人自分のために死ぬ人もいません。わたしたちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、わたしたちは主のものであります。キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きています人にも主となられるためです。

---

1 ローマの信徒への手紙 14:8

2 コリントの信徒への手紙一 6:19

3 コリントの信徒への手紙一 3:23

4 ペトロの手紙一 1:18, 19

5 ヨハネの手紙一 1:7; 2:2

6 ヨハネの手紙一 3:8

7 ヨハネによる福音書 6:39

8 マタイ 10:29-31、ルカによる福音書 21:18

9 ローマの信徒への手紙 8:28

10 コリントの信徒への手紙二 1:21, 22、エフェソの信徒への手紙 1:13, 14、ローマの信徒への手紙 8:15, 16

11 ローマの信徒への手紙 8:14

ペトロの手紙一 1:18, 19 知ってのとおり、あなたがたが先祖伝来のむなしい生活から贖われたのは、金や銀のような朽ち果てるものにはならず、きずや汚れのない小羊のようなキリストの尊い血によるのです。

**問 2** それならば、あなたがこの慰めの中に、祝福されて生き、また死ぬことができるためには、あなたは、いくつのことを、知らねばならないのですか。

**答** 三つのことです<sup>1</sup>。

第一には、わたしの罪とわたしのみじめさとが、どんなに大きいかということ<sup>2</sup>、第二には、わたしが、どのようにして、わたしのあらゆる罪と、わたしのあらゆるみじめさとから、救われるかということ<sup>3</sup>、

第三には、わたしが、どのように、この救いに対して、神に、感謝すべきかということ<sup>4</sup>。

**詩編50:15** それから、わたしを呼ぶがよい。 苦難の日、わたしはお前を救おう。  
そのことによって お前はわたしの栄光を輝かすであろう。

**詩編50:23** 告白をいけにえとしてささげる人は わたしを栄光に輝かすであろう。  
道を正す人に わたしは神の救いを示そう。

**ローマの信徒への手紙7:24, 25** わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるのでしょうか。わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。このように、わたし自身は心では神の律法に仕えていますが、肉では罪の法則に仕えているのです。

---

1 ルカによる福音書 24:46-48、コリントの信徒への手紙一 6:11、テトスへの手紙 3:3-7

2 ヨハネによる福音書 9:41、15:22

3 ヨハネによる福音書 17:3

4 エフェソの信徒への手紙 5:8-11、ペトロの手紙 2:9,10、ローマの信徒への手紙 6:1,2,12,13

## 第一部 人間のみじめさについて

### 第2主日

**問3 何によって、あなたは、あなたのみじめなことを認めるのですか。**

**答** 神の律法によってです<sup>1</sup>。

**マタイによる福音書5:17,18** わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。廃止するためではなく、完成するためである。はっきり言うておく。すべてのことが実現し、天地が消えうせるまで、律法の文字から一点一画も消え去ることはない。

**ローマの信徒への手紙 3:19,20** さて、わたしたちが知っているように、すべて律法の言うところは、律法の下にいる人々に向けられています。それは、すべての人の口がふさがれて、全世界が神の裁きに服するようになるためなのです。なぜなら、律法を実行することによっては、だれ一人神の前で義とされないからです。律法によっては、罪の自覚しか生じないのです。

**問4 それでは、神の律法は、わたしたちに、何を要求するのですか。**

**答** キリストは、それを、マタイによる福音書第22章の中に、簡潔におまとめになりました。

「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、力を尽くして<sup>2</sup>、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている<sup>3</sup>。」

**ローマの信徒への手紙 13:8-10** 互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがあってはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです。「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな」、そのほかどんな掟があっても、「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉に要約されます。愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。

**テモテへの手紙一 1:5** わたしのこの命令は、清い心と正しい良心と純真な信仰とから生じる愛をを目指すものです。

**ヨハネの手紙一 4:16** わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。

**ヨハネの手紙一 4:19-21** わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者がいれば、それは偽り者です。目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することができません。神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが、神から受けた掟です。

**問5 あなたは、このすべてを、完全に守ることができますか。**

**答** いいえ、できません<sup>4</sup>。

なぜならば、わたしは、生まれつき、神様とわたしの隣り人とを憎む傾向にあるからです<sup>5</sup>。

---

1 ローマの信徒への手紙 3:20

2 「力を尽くして」はマタイ 22 : 37 にはない。

3 ルカによる福音書第 10:27

4 ローマの信徒への手紙 3:10,23、ヨハネの手紙一 1:7,8

5 ローマの信徒への手紙 8:7、エフェソの信徒への手紙 2:3

**創世記 8:21** 人に対して大地を呪うことは二度とすまい。人が心に思うことは、幼いときから悪いのだ。わたしは、この度したように生き物をことごとく打つことは、二度とすまい。

**ローマの信徒への手紙 3:23** (そこには何の差別もありません。) 人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、

**ローマの信徒への手紙 7:18,19** わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。

### 第3主日

**問6** それでは神様は人間を、そんなに悪く、正反対なものに、お造りになったのでしょうか。

**答** いいえ<sup>1</sup>、そうではなくて、神様は、人間を、良いものに、つまり、ご自身の姿に似せて、お造りになりました<sup>2</sup>。人間をまことに正しく、聖いものに、お造りになったのですから、人間は、神様を、自分の造り主として正しく知り、心から愛して、神様とともに永遠の祝福の中に生きて、神様を賛美するようにして下さっているのです<sup>3</sup>。

**創世記 1:26,27** 神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」 神は御自分にかたどって人を創造された。 神にかたどって創造された。 男と女に創造された。

**創世記 1:31** 神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。

**詩編 8:4-7** あなたの天を、あなたの指の業を わたしは仰ぎます。 月も、星も、あなたが配置なさったもの。 そのあなたが御心に留めてくださるとは 人間は何ものなのでしょう。 人の子は何ものなのでしょう あなたが顧みてくださるとは。 神に僅かに劣るものとして人を造り なお、栄光と威光を冠としていただきせ 御手によって造られたものをすべて治めるように その足もとに置かれました。

**問7** それではどこから、そのような人間の墮落した性質が起こったのですか。

**答** わたしたちの第一の両親、アダムとエバの、楽園での、墮罪と不従順とから起こったのです<sup>4</sup>。

そこで、わたしたちの本質は、毒されてしまいましたので、わたしたちは、皆、罪のうちにはらまれて、生まれるのです<sup>5</sup>。

---

1 創世記 1:31

2 創世記 1:26,27

3 コリントの信徒への手紙二 3:18、コロサイの信徒への手紙 3:9,10、エフェソの信徒への手紙 4:23,24

4 創世記 3章、ローマの信徒への手紙 5:12,18,19

5 詩編 51:7

**ヨブ記 14:4** 汚れたものから清いものを 引き出すことができますか。だれひとりできないのです。

**詩編 51:3-7** 神よ、わたしを憐れんでください 御慈しみをもって。 深い御憐れみをもって 背きの罪をぬぐってください。 わたしの咎をことごとく洗い 罪から清めてください。 あなたに背いたことをわたしは知っています。 わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。 あなたに、あなたのみになわたしは罪を犯し 御目に悪事と見られることをしました。 あなたの言われることは正しく  
あなたの裁きに誤りはありません。 わたしは咎のうちに産み落とされ 母がわたしを身ごもったときも わたしは罪のうちにあったのです。

**ローマの信徒への手紙 5:12** このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、死はすべての人に及んだのです。すべての人が罪を犯したからです。

**問 8** 何か良いことに対しては、まったくをもって無能であり、あらゆる悪に対しては、それに向かう傾向にある。それほどに、わたしたちは墮落しているのですか。

**答** はい、そうです<sup>1</sup>。もしも、わたしたちが、神のみ霊によって新しく生まれるのでないのならば<sup>2</sup>。

**詩編 51:12-14** 神よ、わたしの内に清い心を創造し 新しく確かな霊を授けてください。 御前からわたしを退けず あなたの聖なる霊を取り上げないでください。  
御救いの喜びを再びわたしに味わわせ 自由の霊によって支えてください。

**ヨハネによる福音書 3:3** 「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」

## 第 4 主日

**問 9** それでは神様が、その律法において、できないことを、要求されることは、人間に対して、神様が、正しくないことを行なっているではありませんか。

**答** いいえ、そうではありません。神様は、人間を、それができるように、お造りになったのです<sup>3</sup>。

それなのに、人間と、そのすべての子孫たちは、悪魔にそそのかされて、身勝手な不従順のために、この賜物を、奪われてしまったのです<sup>4</sup>。

**ネヘミヤ記 9:33** あなたは正しく行動されました。 あなたは忠実に行動されました。 しかし、わたしたちはあなたに背いてしまいました。

---

1 ヨハネによる福音書 3:6、申命記 6:5、ヨブ記 14:4,15:16,35、イザヤ書 53:6

2 ヨハネによる福音書 3:5

3 エフェソの信徒への手紙 4:24,25

4 ローマの信徒への手紙 5:12



**問 10 神様は、このような不従順と背反とを、罰しないでおかれるつもりでしょうか。**

**答** 決してそうではありません<sup>1</sup>。

神様は、生まれつきの罪深い性質にも、実際の罪深い行いにも、両方ともに、激しくお怒りになります。

そして、この世においても、永遠においても、その正しいさばきにより、罰しようとされるのです。

それは、「律法の書に書かれているすべての事を絶えず守らない者は皆、呪われている」とおっしゃった通りなのです<sup>2</sup>。

**詩編 90:7-12** あなたの怒りにわたしたちは絶え入り あなたの憤りに恐れます。あなたはわたしたちの罪を御前に 隠れた罪を御顔の光の中に置かれます。わたしたちの生涯は御怒りに消え去り 人生はため息のように消えうせます。人生の年月は七十年程のものです。健やかな人が八十年を数えても 得るところは労苦と災いにすぎません。瞬く間に時は過ぎ、わたしたちは飛び去ります。御怒りの力を誰が知りえましようか。あなたを畏れ敬うにつれて あなたの憤りをも知ることでしょう。

生涯の日を正しく数えるように教えてください。 知恵ある心を得ることができますように。

**ローマの信徒への手紙 1:18** 不義によって真理の働きを妨げる人間のあらゆる不信心と不義に対して神は天から怒りを現されます。

**ヘブライ人への手紙 10:31** 生ける神の手に落ちるのは、恐ろしいことです。

**問 11 でも神様は、憐れみ深いお方でもあるのではないのですか。**

**答** 神様は、たしかに憐れみふかいお方ではありますが<sup>3</sup>、

また正しいお方でもあるのです<sup>4</sup>。

ですから、神様の正義は要求します。

すべてのものにまさって高い神様の尊厳に対して犯された罪は、最高の、すなわち肉体と魂への永遠の罰により罰せられるのです。

**出エジプト記 34:6,7** 「主、主、憐れみ深く恵みに富む神、忍耐強く、慈しみとまことに満ち、幾千代にも及ぶ慈しみを守り、罪と背きと過ちを赦す。しかし罰すべき者を罰せずにはおかず、父祖の罪を、子、孫に三代、四代までも問う者。」

**詩編 5:5** あなたは、決して 逆らう者を喜ぶ神ではありません。 悪人は御もとに宿ることを許されず

---

1 ローマの信徒への手紙 5:12、ヘブライ人への手紙 9:27

2 申命記 27:26、ガラテヤの信徒への手紙 3:10

3 出エジプト記 34:6 以下

4 出エジプト記 20:5、詩編 5:5 以下、コリントの信徒への手紙二 6:14-17

## 第二部 人間の救いについて

仲保者

### 第5主日

**問 1 2** わたしたちは神様の正しいさばきによって、この世における罰も、永遠の罰も、当然受けなければならなくなりましたが、どうしたら、この罰を逃れ、再び神様の恵みを得ることができるでしょうか。

**答** 神様は、ご自分の正義が十分に行われることを望んでおられます<sup>1</sup>。ですから、わたしたちは、わたしたちの罪の負債を、自分自身でか、あるいは誰か他の人によって、完全につぐなわなければならないのです<sup>2</sup>。

イザヤ書 1:27 シオンは裁きをとおして贖われ 悔い改める者は恵みの御業によって贖われる。

**問 1 3** ですがわたしたちは、自分自身でつぐなうことができるでしょうか。

**答** 決してできません。

むしろ、わたしたちは、自分の罪の負債を、毎日、大きくしているのです<sup>3</sup>。

ヨブ記 9:2,3 それは確かにわたしも知っている。 神より正しいと主張できる人間があろうか。 神と論争することを望んだとしても 千に一つの答えも得られないだろう。

詩編 130:1-4 都に上る歌。 深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。 主よ、この声を聞き取ってください。 嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。 主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら 主よ、誰が耐ええましょう。 4 しかし、赦しはあなたのもとにあり 人はあなたを畏れ敬うのです。

マタイによる福音書 16:26 人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があろうか。 自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。

**問 1 4** それならば、何かの、被造物にすぎないものが、わたしたちのために、つぐなうことができるでしょうか。

**答** できません。なぜなら、第一に、神様は、人間の犯したことについて、他の被造物を罰することをお望みにはならないからです<sup>4</sup>。

第二に、被造物にすぎないものが、罪に対する神様の永遠の怒りの重荷を担い、他のものを、それから救うことは、できないからです<sup>5</sup>。

---

1 出エジプト記 20:5、23:7

2 ローマの信徒への手紙 8:3,4

3 ヨブ記 9:3,15:15、マタイによる福音書 6:12

4 ヘブライ人への手紙 2:14 以下

5 詩編 130:3

**詩編 49:8,9** 神に対して、人は兄弟をも贖いえない。 神に身代金を払うことはできない。 魂を贖う値は高く とこしえに、払い終えることはない。

**詩編 50:10-15** 森の生き物は、すべてわたしのもの 山々に群がる獣も、わたしのもの。 山々の鳥を わたしはすべて知っている。 獣はわたしの野に、わたしのもとにいる。 たとえ飢えることがあろうとも お前に言いほしない。 世界とそこに満ちているものは すべてわたしのものだ。 わたしが雄牛の肉を食べ 雄山羊の血を飲むとでも言うのか。 告白を神へのいけにえとしてささげ いと高き神に満願の献げ物をせよ。 5 それから、わたしを呼ぶがよい。 苦難の日、わたしはお前を救おう。 そのことによって お前はわたしの栄光を輝かすであろう。」

**問 1 5** それではわたしたちは、どのような仲保者および救い主を、求めなければならないのですか。

**答** まことの<sup>1</sup>、正しい人間<sup>2</sup>であって、しかも、あらゆる被造物よりも強いもの、すなわち、同時にまことの神であるようなお方です<sup>3</sup>。

**テモテへの手紙一 3:16** 信心の秘められた真理は確かに偉大です。すなわち、キリストは肉において現れ、”霊”において義とされ、天使たちに見られ、異邦人の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。

**ヘブライ人への手紙 7:26,27** このように聖であり、罪なく、汚れなく、罪人から離され、もろもろの天よりも高くされている大祭司こそ、わたしたちにとって必要な方なのです。 この方は、ほかの大祭司たちのように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために毎日いけにえを献げる必要はありません。というのは、このいけにえはただ一度、御自身を献げることによって、成し遂げられたからです。

## 第 6 主日

**問 1 6** なぜ、その方は、まことの、正しい人間でなければならないのですか。

**答** なぜならば、神様は正しい方ですから<sup>4</sup>、罪を犯した人間の本性が、みずからの罪のつぐないをすることを求めておられるからです。そしてまた、みずから罪人であるようなものは、他のもののために、罪のつぐないをすることはできないからです<sup>5</sup>。

**イザヤ書 53:1-3** わたしたちの聞いたことを、誰が信じようか。 主は御腕の力を誰に示されたことがあろうか。 乾いた地に埋もれた根から生え出た若枝のように この人は主の前に育った。

見るべき面影はなく 輝かしい風格も、好ましい容姿もない。 彼は軽蔑され、人々に見捨てられ 多くの痛みを負い、病を知っている。 彼はわたしたちに顔を隠し わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。

---

1 コリントの信徒への手紙一 15:21

2 エレミヤ書 33:16、イザヤ書 53:9、コリントの信徒への手紙二 5:21、ヘブライ人への手紙 7:16

3 イザヤ書 7:14、ローマの信徒への手紙 9:5、エレミヤ書 23:5,6

4 ローマの信徒への手紙 5:12,15

5 ペトロの手紙一 3:18、イザヤ書 53:3,4,5,10,11

**ヘブライ人への手紙 2:17,18** それで、イエスは、神の御前において憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を償うために、すべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかったのです。事実、御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることができになるのです。

**問 17 なぜ、その方は、同時にまことの神様でなければならないのですか。**

**答** なぜなら、神様としてのご性質の力によって<sup>1</sup>、神様の怒りの重荷に、人間としての性質において、耐えることができるからです<sup>2</sup>。そして、わたしたちのために、義と生命とを、得てくださり<sup>3</sup>、また取り戻してくださるのです<sup>4</sup>。

**ヨブ記 17:3** あなた自ら保証人となってください。ほかの誰が わたしの味方をしてくださいよう。

**エレミヤ書 23:6** 彼の代にユダは救われ イスラエルは安らかに住む。彼の名は、「主は我らの正義」と呼ばれる。

**ヨハネによる福音書 3:16** 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

**問 18 まことに神様であると同時に、まことに、正しい人間である、という仲保者とは誰ですか。**

**答** わたしたちの主イエス・キリストです<sup>5</sup>。主は、わたしたちが、完全な救いと義とを得るために、遣わされたのです<sup>6</sup>。

**コリントの信徒への手紙一 1:30** このキリストは、わたしたちにとって神の知恵となり、義と聖と贖いとなられたのです。

**テモテへの手紙一 1:15** 「キリスト・イエスは、罪人を救うために世に来られた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。わたしは、その罪人の中で最たる者です。

**テモテへの手紙一 2:5,6** 神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

---

1 イザヤ書 53:8、使徒言行録 2:24、ペトロの手紙一 3:18

2 簡約版ハイデルベルク信仰問答および、1997年改訂版ハイデルベルク信仰問答では、「そのお方が、同時に神様であるときのみ、人間として、神様の怒りの重荷に耐えることができるからです」となっている。

3 ヨハネによる福音書 3:16、使徒言行録 20:28

4 ヨハネによる福音書 1:4

5 マタイによる福音書 1:23、テモテへの手紙一 3:16、ルカによる福音書 2:11

6 コリントの信徒への手紙一 1:30

## 問 19 どうして、それが、あなたに、わかるのですか。

答 聖なる福音によってです。

神様は、みずからこれを、最初に樂園において<sup>1</sup>啓示されました。

その後、聖なる族長たちと預言者たちによって告げさせ<sup>2</sup>、犠牲と、その他の律法による儀式とによって、模範として備え<sup>3</sup>、最後に、神様の愛するひとり子によって、成就されたのです<sup>4</sup>。

詩編 119:105 あなたの御言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯。

テモテへの手紙二 3:14-17 だがあなたは、自分が学んで確信したことから離れてはなりません。あなたは、それをだれから学んだかを知っており、また、自分が幼い日から聖書に親しんできたことをも知っているからです。この書物は、キリスト・イエスへの信仰を通して救いに導く知恵を、あなたに与えることができます。聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行うことができるように、十分に整えられるのです。

ヘブライ人への手紙 1:1-2 神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました。神は、この御子を万物の相続者と定め、また、御子によって世界を創造されました。

## 第7主日

### 問 20 それでは、すべての人間がアダムによって墮落したように、すべての人間はキリストによって再び救われるのですか？

答 いいえ、そうではありません。まことの信仰によって、手足として主のからだにはめこまれ、主の恵みを、すべて受け入れた人だけです<sup>5</sup>。

マタイによる福音書 7:13,14 「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

マタイによる福音書 7:21 「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。」

ヨハネによる福音書 3:36 御子を信じる人は永遠の命を得ているが、御子に従わない者は、命にあずかることがないばかりか、神の怒りがその上にとどまる。」

---

1 創世記 3:15

2 創世記 22:18,49:10 以下、ローマの信徒への手紙 1:2、ヘブライ人への手紙 1:1、使徒言行録 3:22-24,10:43

3 ヨハネによる福音書 5:46、ヘブライ人への手紙 10:7

4 ローマの信徒への手紙 10:4、ガラテヤの信徒への手紙 4:4 以下

5 ヨハネによる福音書 1:12、イザヤ書 53:11、詩編 2:12、ローマの信徒への手紙 11:17,19、ヘブライ人への手紙 4:2,10:39

## 問 2 1 まことの信仰とは何ですか。

答 まことの信仰とは、それによって、わたしたちに、神様が、その御言葉によってお示しになった<sup>1</sup>ことを、すべてまことであるとする、確かな認識だけではなく、聖霊<sup>2</sup>が、福音によって、わたしたちの内に働いて下さる<sup>3</sup>という、心からの信頼<sup>4</sup>のことでもあるのです。

それによって、他の人々だけではなく、わたしに対しても、罪の赦し、永遠の義、そして祝福が、神様から、ただ、恵みにより、また、ただキリストのみわざのためのみにより<sup>5</sup>、与えられるのです<sup>6</sup>。

ヨハネによる福音書 6:68,69 主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています。」

エフェソの信徒への手紙 2:8,9 事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。

ヘブライ人への手紙 11:1 信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。

ヤコブへの手紙 2:19 あなたは「神は唯一だ」と信じている。結構なことだ。悪霊どももそう信じて、おののいています。

## 問 2 2 キリスト者が信じなくてはならないことは何ですか。

答 福音の中で、わたしたちに約束されていることすべてです<sup>7</sup>。それを、わたしたちの共同の、疑うことのない、キリスト信仰の信仰簡条が、要約してわたしたちに教えています。

---

1 ヤコブの手紙 1:18

2 コリントの信徒への手紙二 4:13、エフェソの信徒への手紙 2:8-9、マタイによる福音書 16:17、フィリピの信徒への手紙 1:19

3 ローマの信徒への手紙 1:16,10:17

4 ローマの信徒への手紙 4:16 以下、5:1

5 エフェソの信徒への手紙 2:7-9、ローマの信徒への手紙 3:24 以下、ガラテヤの信徒への手紙 2:16

6 ヘブライ人への手紙 11:7-10、ローマの信徒への手紙 1:16

7 ヨハネによる福音書 20:31、マタイによる福音書 28:20

### 問 2 3 それはどのような内容ですか。

答 わたしは、神、父、全能者、天地の造り主を信じます。  
わたしは、イエス・キリスト、神のひとり子、わたしたちの主を信じます。  
主は、聖霊によってやどされ、乙女マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しめられ、十字架につけられ、死んで葬られ、地獄に下り、三日目に再び死からよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し、生きる者と死ぬ者とを裁くために、そこから再び来られます。  
わたしは聖霊を信じます。聖なる公同の教会、聖なる者の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠のいのちを信じます。

## 第 8 主日

### 問 2 4 この信仰簡条はどのように分けられますか。

答 三つの部分に分けられます。  
第一は、父なる神様とわたしたちの創造を扱っています。  
第二は、子なる神様とわたしたちの救いについて。  
第三は、聖霊なる神様とわたしたちの聖化についてです。

### 問 2 5 神様はただおひとりであるのに<sup>1</sup>、どうしてあなたは、三つ、つまり、父、子、聖霊と呼ぶのですか。

答 なぜなら、神様は御自身を、みことばにおいて、その様にあらわされたからです<sup>2</sup>。つまり、この三つの異なった人格が、ただおひとりの、まことの、永遠の神であることをあらわされたのです。

申命記 6:4 聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。

マタイによる福音書 28:19 だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、

コリントの信徒への手紙二 13:13 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。

---

1 申命記 6:4

2 イザヤ書 61:1、詩編 110:1、マタイによる福音書 3:16,17,28:19、ヨハネの手紙一 5:7

## 父なる神について

### 第9主日

**問 26** 「わたしは、神、父、全能者、天地の造り主を信じます。」というときには、あなたは何を信じているのですか。

**答** わたしは次のことを信じているのです。

わたしたちの主イエス・キリストの永遠の父が、その御子のゆえに、わたしの神様であり、わたしの父であるということを<sup>1</sup>。

神様は、天と地と、その中にあるすべてのものを、何も無いところから造られました<sup>2</sup>。そしてこれを、神様の永遠の御心と摂理によって、常に、保ち、支配しておられるのです<sup>3</sup>。

その神様に、わたしは、よりたのみ、疑うことをしません。神様が、わたしに、からだと魂に必要な、すべてのものを備えてくださっているということ<sup>4</sup>。

また、このなやみの多い世の中において、神様がわたしにお与えになる、どのような不幸でさえも、益に<sup>5</sup>変えて下さることを<sup>6</sup>。

神様は、全能の神様ですから、これをなさることができますし<sup>7</sup>、信頼できるお父さまですから、喜んで、これをして下さるのです<sup>8</sup>。

**ヨハネによる福音書 1:1-3** 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。

**ローマの信徒への手紙 8:28** 神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。

**エフェソの信徒への手紙 1:3-6** わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。

**ヘブライ人への手紙 11:3** 信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉によって創造され、従って見えるものは、目に見えているものからできたのではないことが分かるのです。

---

1 ヨハネによる福音書 1:12、ローマの信徒への手紙 8:15、ガラテヤの信徒への手紙 4:5-7、エフェソの信徒への手紙 1:5

2 創世記 1 章、詩編 33:6

3 詩編 104 編、マタイによる福音書 10:29、ヘブライ人への手紙 1:3、詩編 115:1-3

4 詩編 55:23、マタイによる福音書 6:25 以下、ルカによる福音書 12:22

5 簡訳版では *zu meinem Besten wendet* 「最も良いように」

6 ローマの信徒への手紙 8:28

7 ローマの信徒への手紙 10:12

8 マタイによる福音書 6:25 以下、7:9-11



## 第 10 主日

**問 27 あなたは、神様の摂理とは、何であると思いますか。**

**答** 神様の、全能で、あらゆるところで今働いている<sup>1</sup>力であると思います<sup>2</sup>。その力によって、神様は、天と地を、そのすべての被造物といっしょに、神様ご自身のみ手によってなされるかのように、保たれ<sup>3</sup>、また、支配されるのです。

なぜなら、木の葉も草も、雨も日照りも、  
実り豊かな年も、実りのない年も、食べることも飲むことも<sup>4</sup>、  
健康も病気も<sup>5</sup>、富も貧しさも<sup>6</sup>、  
すべてのものが、偶然にではなく、  
神様の父親としてのみ手によって、わたしたちに与えられるのです。

**サムエル記上 2:7** 主は貧しくし、また富ませ 低くし、また高めてくださる。

**詩編 145:15,16** ものみながあなたに目を注いで待ち望むと あなたはときに応じて食べ物をくださいます。すべて命あるものに向かって御手を開き 望みを満足させてくださいます。

**マタイによる福音書 6:25,26** 「だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。

---

1 簡訳版は「あらゆるところで (überall)」今働いている。

2 使徒言行録 17:25 以下

3 ヘブライ人への手紙 1:3

4 エレミヤ書 5:24、使徒言行録 14:17

5 ヨハネによる福音書 9:3

6 箴言 22:2

## 問 28 神様の創造と摂理とを知ると、わたしたちにどのような利益が得られますか。

答 わたしたちが、あらゆる不幸の中でも、忍耐深くなり<sup>1</sup>、幸福の中では、感謝をして<sup>2</sup>、未来のことに対しては、わたしたちの信頼できる、お父様である神様に、全面的に信頼するようになることなのです。なぜなら、なにものも、私たちが神様の愛から切り離すことはできないからです<sup>3</sup>。それは、すべての被造物が、完全に神様のみ手の内にあり、神様のみこころによらないでは、揺れることも、動くこともできないからなのです<sup>4</sup>。

ヨブ記 1:21 「わたしは裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。主の御名はほめたたえられよ。」

詩編 37:5 あなたの道を主にまかせよ。 信頼せよ、主は計らい

ローマの信徒への手紙 8:38,39 わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。

ローマの信徒への手紙 12:12 希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ペトロの手紙一 5:7 思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心にかけていてくださるからです。

---

1 ローマの信徒への手紙 5:3、ヤコブの手紙 1:3、ヨブ記 1:21

2 申命記 8:10、テサロニケの信徒への手紙一 5:18

3 ローマの信徒への手紙 8:38,39

4 ヨブ記 1:12、使徒言行録 17:28、箴言 21:1

## 子なる神について

### 第 11 主日

**問 29 なぜ神様のみ子は、イエス、すなわち救い主と呼ばれるのですか。**

**答** それは神様のみ子が、わたしたちを、わたしたちの罪から救ってくださるからです<sup>1</sup>。

そして、他の何ものにも、救いを探し求めることも、見いだすこともできないからなのです<sup>2</sup>。

**マタイによる福音書 1:21** マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。

**ルカによる福音書 19:10** 人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。

**使徒言行録 4:12** ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。

**問 30 それでは、救いと祝福とを、聖人や、自分自身や、あるいは、その他のところに求めようとする人も、ただお一人の救い主、イエスを信じていることになるのでしょうか。**

**答** いいえ、そうはなりません。

その人々は、確かに言葉では主をほめるのですが、行いにおいては、ただおひとりの救済者であり、救い主であるイエスを否定しているのです<sup>3</sup>。なぜなら、イエスは完全な救い主ではないとするか、あるいは、まことの信仰によって、この方を受け入れ、この方において、祝福に必要なことすべてを手に入れるかの、どちらかしかないからなのです<sup>4</sup>。

**ヨハネによる福音書 1:16** わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。

**コリントへの信徒の手紙一 3:11** イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。

**ガラテヤの信徒への手紙 5:4** 律法によって義とされようとするなら、あなたがたはだれであろうと、キリストとは縁もゆかりもない者とされ、いただいた恵みも失います。

---

1 マタイによる福音書 1:21、ヘブライ人への手紙 7:24 以下

2 使徒言行録 4:12

3 コリントの信徒への手紙一 1:13、ガラテヤの信徒への手紙 5:4

4 イザヤ書 9:6、コロサイの信徒への手紙 1:19,20,2:10、ヨハネによる福音書 1:16

## 第 12 主日

### 問 3 1 なぜ主は、キリスト、つまり油注がれた者と呼ばれるのですか。

答 主は、父なる神様から任命され、聖霊によって油を注がれた<sup>1</sup>、わたしたちの最上の預言者であり、また教師であるからです<sup>2</sup>。

主は、わたしたちに、わたしたちの救いについての、神様の隠されたみこころとご意志を完全に明らかにされるのです<sup>3</sup>。

また、主は、私たちの唯一の大祭司です<sup>4</sup>。

そのお身体を、ただ一回限りの犠牲として、わたしたちを救って下さいました。いつも、主のとりなしによって、父の前にわたしたちの代わりに立たれるのです<sup>5</sup>。

また、主は、わたしたちの永遠の王です。

主は、その言葉と霊とによって、わたしたちを支配され、成し遂げてくださった救いによって、守り、保ってくださるのです<sup>6</sup>。

**申命記 18:15** あなたの神、主はあなたの中から、あなたの同胞の中から、わたしのような預言者を立てられる。あなたたちは彼に聞き従わねばならない。

**ヨハネによる福音書 18:37** そこでピラトが、「それでは、やはり王なのか」と言うと、イエスはお答えになった。「わたしが王だとは、あなたが言っていることです。わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く。」

**使徒言行録 2:36** だから、イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなされたのです。」

**ヨハネの手紙一 2:1,2** わたしの子たちよ、これらのことを書くのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。たとえ罪を犯しても、御父のもとに弁護者、正しい方、イエス・キリストがおられます。この方こそ、わたしたちの罪、いや、わたしたちの罪ばかりでなく、全世界の罪を償ういけにえです。

**ヘブライ人への手紙 4:14-16** さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっかりと保とうではありませんか。この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

---

1 ヘブライ人への手紙 1:9

2 申命記 18:15、使徒言行録 3:22

3 ヨハネによる福音書 1:18,15:15

4 詩編 110:4、ヘブライ人への手紙 7:21

5 ローマの信徒への手紙 8:34,5:9 以下

6 詩編 2:6、ルカによる福音書 1:33、マタイによる福音書 28:18

### 問 3 2 それでは、なぜあなたは、キリスト者と呼ばれるのですか。

答 なぜなら、わたしは信仰によってキリストの手足のひとつとなるからです<sup>1</sup>。

そうなることにより、わたしは、主に注がれた油の分け前にあずかります<sup>2</sup>。それによって、わたしもまた、主のみ名を告白して<sup>3</sup>、わたし自身を、主に、生きている感謝の献げ物として献げるのです<sup>4</sup>。そして、この世では、自由な良心をもって、罪と悪魔とにたいして戦い<sup>5</sup>、将来においては、永遠に、主と共に、すべての被造物を支配するのです<sup>6</sup>。

**ローマの信徒への手紙 12:1** こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。

**エフェソの信徒への手紙 6:10-13** 主に依り頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。だから、邪悪な日によく抵抗し、すべてを成し遂げて、しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。

**ペトロの手紙一 2:9** しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたがたが広く伝えるためなのです。

## 第 1 3 主日

### 問 3 3 なぜイエス・キリストは神のひとり子と呼ばれるのですか。

わたしたちもまた、神様の子供であるのに。

答 なぜなら、キリストだけが、永遠の、本物の神様の子供であるからです<sup>7</sup>。わたしたちは、主のゆえに、恵みによって神様の子供として受け入れられたのです<sup>8</sup>。

**ヨハネによる福音書 1:11-14** 言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

---

1 使徒言行録 11:26

2 ヨハネの手紙一 2:27、使徒言行録 2:17、ヨハネによる福音書 2:28

3 マタイによる福音書 8:38

4 ローマの信徒への手紙 12:1、使徒言行録 5:8、ペトロの手紙一 2:9、使徒言行録 1:6

5 テモテへの手紙一 1:18 以下

6 テモテへの手紙二 2:12

7 ヨハネによる福音書 1:1-3,14,18、ヘブライ人への手紙 1:2

8 ローマの信徒への手紙 8:15-17、エフェソの信徒への手紙 1:5 以下

**ガラテヤの信徒への手紙 3:26** あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。

**問 3 4 あなたは、なぜ、このお方を、わたしたちの主と呼ぶのですか。**

**答** 主が、わたしたちを、からだと魂と共に、罪とすべての悪魔の力とから、ご自分のものとするために救い出し、贖って下さったからです。金や銀によってではありません。主の尊い血によって<sup>1</sup>、買い取って下さったのです<sup>2</sup>。

**フィリピの信徒への手紙 2:5-11** 互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。

**テトスへの手紙 2:14** キリストがわたしたちのために御自身を献げられたのは、わたしたちをあらゆる不法から贖い出し、良い行いに熱心な民を御自分のものとして清めるためだったのです。

## 第 1 4 主日

**問 3 5 「聖霊によりてやどり、乙女マリヤより生まれ」とはどういう意味ですか。**

**答** 今も、これからもずっと<sup>3</sup>、本当の、永遠の神様であられる、永遠の神の御子が<sup>4</sup>、聖霊の働きによって<sup>5</sup>、本当の人間の性質を、乙女マリヤの肉と血とからとられて<sup>6</sup>、それによって、このお方もまた、本当のダビデの子孫となり<sup>7</sup>、罪の他はすべて<sup>8</sup>、兄弟たちと等しくなられたということです<sup>9</sup>。

---

1 改訂版ハイデルベルク信仰問答では、「ご自身の生命をわたしたちのためにお与えくださることによって」が加えられている。

2 ペトロの手紙一 1:18,19,2:9、コリントの信徒への手紙一 6:20,7:23

3 ローマの信徒への手紙 9:5

4 ヨハネによる福音書 1:1、ローマの信徒への手紙 1:4

5 マタイによる福音書 1:18,20、ルカによる福音書 1:35

6 ガラテヤの信徒への手紙 4:4、ヨハネによる福音書 1:14

7 詩編 132:11、ローマの信徒への手紙 1:3

8 ヘブライ人への手紙 4:15

9 フィリピの信徒への手紙 2:7

**イザヤ書 9:5,6** ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。ダビデの王座とその王国に権威は増し 平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって 今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。

**イザヤ書 11:1,2** エッサイの株からひとつの芽が萌えいで その根からひとつの若枝が育ち その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊 思慮と勇気の霊 主を知り、恐れ敬う霊。

**ガラテヤの信徒への手紙 4:4,5** しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。それは、律法の支配下にある者を贖い出して、わたしたちを神の子となさるためでした。

### **問 3 6 キリストの、聖霊によって宿られたことと、誕生とから、あなたはどのような利益を得ますか。**

**答** このお方は、わたしたちの仲保者であり<sup>1</sup>、ご自身の罪のないことと、完全な清さとによって、わたしが、その中に、はらまれた<sup>2</sup>、わたしの罪を、神様の御顔の前に、覆って下さることで<sup>3</sup>。

**ヨハネの手紙一 3:5** あなたがたも知っているように、御子は罪を除くために現れました。御子には罪がありません。

### **第 1 5 主日**

#### **問 3 7 「苦しみを受け」という小さな言葉を、あなたはどう理解していますか。**

**答** キリストは、そのおからだと魂とをもって、この世においては、そのご生涯のすべての時を、特にその最期において、すべての人類の罪に対する神の怒りをにになって下さったのです<sup>4</sup>。そのお苦しみの、ただ一度限りの罪の犠牲によって<sup>5</sup>、わたしたちのおからだ、わたしたちの魂とを、永遠の罰から救い、わたしたちに、神の恵みと正義と永遠の生命を得させて下さる、ということです。

**イザヤ書 53:4-6** 彼が担ったのはわたしたちの病 彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのにわたしたちは思っていた 神の手にかかり、打たれたから 彼は苦しんでいるのだ、と。彼が刺し貫かれたのは わたしたちの背きのためであり 彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって わたしたちに平和が与えられ 彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。わたしたちは羊の群れ 道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて 主は彼に負わせられた。

---

1 ヘブライ人への手紙 2:16 以下

2 簡訳版は「はらまれ、生まれた」

3 詩編 32:1、コリントの信徒への手紙一 1:30

4 ペトロの手紙一 2:24、イザヤ書 53:12

5 ヨハネの手紙一 2:2,4:10、ローマの信徒への手紙 3:25

**問 3 8** なぜ、このお方は、裁判官ポンテオ・ピラトのもとに苦しめられたのですか。

**答** このお方が、罪なくして、この世の裁判官によって有罪とされ<sup>1</sup>、その事によって、わたしたちに下されるべき、神様の厳しい判決から、解放するためなのです<sup>2</sup>。

**コリントの信徒への手紙二 5:17** だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。これらはすべて神から出ることであって、神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。ですから、神がわたしたちを通して勧めておられるので、わたしたちはキリストの使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神と和解させていただきなさい。罪と何のかかわりもない方を、神はわたしたちのために罪となさいました。わたしたちはその方によって神の義を得ることができたのです。

**問 3 9** このお方が、十字架につけられたという事は、他の死に方をされたときよりも、意味のあることなのでしょうか。

**答** はい、そうです。

なぜならば、そのことによって、わたしは次のことを確信するのです。このお方が、わたしたちにかけてられるべき呪いを、ご自身で引き受けて下さったことを<sup>3</sup>。なぜなら十字架の死は神に呪われたものだからです<sup>4</sup>。

**ガラテヤの信徒への手紙 3:13** キリストは、わたしたちのために呪いとなって、わたしたちを律法の呪いから贖い出してくださいました。「木にかけられた者は皆呪われている」と書いてあるからです。

## 第 1 6 主日

**問 4 0** なぜ、キリストは死の苦しみを受けねばならなかったのですか。

**答** 神様の正義と真理のゆえに<sup>5</sup>、神様のみ子の死による以外には、他の何もわたしたちの罪をあがなうことが出来なかったからです<sup>6</sup>。

**マルコによる福音書 10:45** 人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。

**ローマの信徒への手紙 5:10** 敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。

---

1 使徒言行録 4:27,28、ルカによる福音書 23:14、ヨハネによる福音書 19:4

2 詩編 69:5、イザヤ書 53:4 以下、コリントの信徒への手紙二 5:21、ガラテヤの信徒への手紙 3:13

3 ガラテヤの信徒 3:13

4 申命記 21:23、ガラテヤの信徒への手紙 3:13

5 創世記 2:7

6 ヘブライ人への手紙 2:9,14 以下



#### **問 4 1 なぜ、このお方は葬られたのですか。**

**答** それによって、このお方が本当に死んでしまったということを証言するためです<sup>1</sup>。

**創世記 3:19** お前は顔に汗を流してパンを得る 土に返るときまで。 お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。

#### **問 4 2 キリストがわたしたちのために死んで下さったのに、なぜ、わたしたちはまだ、死ななければならないのですか。**

**答** わたしたちが死んでも、わたしたちの罪を償うことには決してなりません。わたしたちの死によって、ただ罪だけが死ぬのです。そして、それは、永遠の生命への入り口なのです<sup>2</sup>。

**ヨハネによる福音書 5:24** はっきり言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。

#### **問 4 3 キリストの犠牲と十字架上の死により、わたしたちは、さらにもどのような利益を得ますか。**

**答** この方のみ力により、わたしたちの古い人は、この方といっしょに、十字架につけられ、殺されて、葬られることです<sup>3</sup>。  
それにより、わたしたちの悪い肉の欲は、もうわたしたちの中で、支配することはありません<sup>4</sup>。  
むしろ、わたしたちは、わたしたち自身を、このお方に、生きている感謝の献げ物として献げるのです<sup>5</sup>。

**ローマの信徒への手紙 6:6** わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。

**コリントの信徒への手紙二 5:15** その一人の方はすべての人のために死んでくださった。その目的は、生きている人たちが、もはや自分自身のために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活してくださった方のために生きることなのです。

---

1 マタイによる福音書 27:59 以下、ルカによる福音書 23:50 以下、ヨハネによる福音書 19:38 以下、使徒言行録 13:29

2 ヨハネによる福音書 5:24、フィリピの信徒への手紙 1:23、ローマの信徒への手紙 7:24

3 ローマの信徒への手紙 6:6-8,11 以下、コロサイの信徒への手紙 2:12

4 ローマの信徒への手紙 6:12

5 ローマの信徒への手紙 12:1

#### 問 4 4 なぜ、「地獄に下り」と、続くのですか。

答 わたしが、もっとも苦しい試みの中においても、次のことを確信するためです。

わたしの主キリストが、わたしを、地獄の不安と苦しみとから救って下さったことを。

それは、このお方もまた、その魂において、十字架とそれ以前に、言い表すことの出来ない不安、苦痛、そして恐怖を苦しまれたからなのです<sup>1</sup>。

**詩編 116:3-5** 死の綱がわたしにからみつき 陰府の脅威にさらされ 苦しみと嘆きを前にして 主の御名をわたしは呼ぶ。 「どうか主よ、わたしの魂をお救いください。」 主は憐れみ深く、正義を行われる。 わたしたちの神は情け深い。

**ヘブライ人への手紙 5:7-9** キリストは、肉において生きておられたとき、激しい叫び声をあげ、涙を流しながら、御自分を死から救う力のある方に、祈りと願いとをささげ、その畏れ敬う態度のゆえに聞き入れられました。 キリストは御子であるにもかかわらず、多くの苦しみによって従順を学ばれました。 そして、完全な者となられたので、御自分に従順であるすべての人々に対して、永遠の救いの源となり、

#### 第 1 7 主日

#### 問 4 5 キリストの復活は、わたしたちに、どのような利益をもたらしますか。

答 第一に、主は、その復活によって、死に打ち勝たれました。わたしたちのために、義の取り分を与えて下さるのです。

それは、主が、ご自分の死によって手に入れて下さったのです<sup>2</sup>。

第二に、その御力により、わたしたちもまた、新しい生命を呼び覚まされるのです<sup>3</sup>。

第三に、キリストの復活は、わたしたちにとって、わたしたちの祝福に満ちた復活の、確かな保証となるのです<sup>4</sup>。

**ヨハネによる福音書 11:25,26** わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。

**ローマの信徒への手紙 4:25** イエスは、わたしたちの罪のために死に渡され、わたしたちが義とされるために復活させられたのです。

**コリントの信徒への手紙一 15:55-57** 死よ、お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげはどこにあるのか。」 死のとげは罪であり、罪の力は律法です。わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう。

---

1 イザヤ書 53:10、マタイによる福音書 27:46

2 コリントの信徒への手紙一 15:17,54 以下、ローマの信徒への手紙 4:25、ペトロの手紙一 1:3,21 以下

3 ローマの信徒への手紙 6:4、コロサイの信徒への手紙 3:1,5、エフェソの信徒への手紙 2:5

4 コリントの信徒への手紙一 15:12、ローマの信徒への手紙 8:11

**コロサイの信徒への手紙 3:1-4** さて、あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれぬようにしなさい。あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです。あなたがたの命であるキリストが現れるとき、あなたがたも、キリストと共に栄光に包まれて現れるでしょう。

**テモテへの手紙二 1:10** キリストは死を滅ぼし、福音を通して不滅の命を現してくださいました。

**ペトロの手紙一 1:3** わたしたちの主イエス・キリストの父である神が、ほめたたえられますように。神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、

#### **問 4 6 「天に昇り」はどういう意味ですか。**

**答** キリストは彼の弟子たちの目の前で、地から天に引き上げられました<sup>1</sup>。そして、生きる者と死ぬ者とを裁くために再び来られるまで<sup>2</sup>、わたしたちの利益のために、そこにおられるということです<sup>3</sup>。

**ヨハネによる福音書 16:7** しかし、実を言うと、わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる。わたしが去って行かなければ、弁護者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところへ送る。

**ヘブライ人への手紙 9:24** なぜならキリストは、まことのものの写しにすぎない、人間の手で造られた聖所にではなく、天そのものに入り、今やわたしたちのために神の御前に現れてくださったからです。

#### **問 4 7 それでは、わたしたちにお約束になったように、キリストは、この世の終わりまで、私たちと共にはおられないのですか。**

**答** キリストは、まことの人であり、まことの神です。その人間としてのご性質によれば、主は今ではもう地上にはおられません<sup>4</sup>。しかし、キリストが神様であられるということ、その尊厳、その恵みとその御霊においては、私たちから離れることは決してありえないのです<sup>5</sup>。

**マタイによる福音書 18:20** 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。

**マタイによる福音書 28:20b** わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。

1 使徒言行録 1:9、マタイによる福音書 26:64、マルコによる福音書 16:19、ルカによる福音書 24:51

2 使徒言行録 1:11、マタイによる福音書 24:30

3 ヘブライ人への手紙 4:14,7:25,9:24 以下、ローマの信徒への手紙 8:34、エフェソの信徒への手紙 4:10、コロサイの信徒への手紙 3:1

4 マタイによる福音書 26:11、ヨハネによる福音書 16:28,17:11、使徒言行録 3:21

5 ヨハネによる福音書 14:17 以下、16:13、マタイによる福音書 28:20、エフェソの信徒への手紙 4:8,12

ヨハネによる福音書 16:28 わたしは父のもとから出て、世に来たが、今、世を去って、父のもとに行く。

**問 4 8** しかし、キリストが神様としておいでになるところ、どこにおいても、人間の性質でおられるのでないならば、神様の性質と人間の性質との、二つの性質が、キリストの中で互いに切り離されてしまうのではないですか。

**答** いいえ、決してそうではありません。

キリストは神様として、わたしたちの理解を超えて、今どこにでもおられるのです<sup>1</sup>。

したがって、キリストは、神様として、

おとりになった人間としてのご性質の外にもおられますし、

また、それにもかかわらず、なお、その人間としてのご性質の中にもおられ、常に、この人間としてのご性質と、人格的に結合しているのです<sup>2</sup>。

マタイによる福音書 28:6 あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なされたのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。

コロサイの信徒への手紙 2:9 キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており、

## 第 1 8 主日

**問 4 9** キリストの昇天は、わたしたちに、どのような利益をもたらしますか。

**答** 第一に、主は、天において、父の御顔の前で、わたしたちをとりなしてくださいませ<sup>3</sup>。

第二に、わたしたちは、確かな担保として、わたしたちの肉を天に持つのです。

それゆえ、主はわたしたちのかしらとして、その手足を、彼のもとへと引き上げてくださいませ<sup>4</sup>。

第三に、これに見合う担保として、主はわたしたちに御霊を送って下さいませ<sup>5</sup>。

その力によって、わたしたちは、上にあるもの、すなわち、キリストが神の右に座しておられるところにあるものを求め、地の上にあるものを求めないのです<sup>6</sup>。

---

1 使徒言行録 7:49、エレミヤ書 23:24

2 コロサイの信徒への手紙 2:9、ヨハネによる福音書 3:13,11:15、マタイによる福音書 28:6

3 ヨハネの手紙一 2:1、ローマの信徒への手紙 8:34

4 ヨハネによる福音書 14:2,20:17、エフェソの信徒への手紙 2:6

5 ヨハネによる福音書 14:16、使徒言行録 2:1 以下,33、コリントの信徒への手紙二 1:22,5:5

6 コロサイの信徒への手紙 3:1、フィリピの信徒への手紙 3:14

**ヨハネによる福音書 14:2,3** わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。

**ローマの信徒への手紙 8:31-34** もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。だれが神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。人を義としてくださるのは神なのです。だれがわたしたちを罪に定めることができます。死んだ方、否、むしろ、復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださるのです。

**フィリピの信徒への手紙 3:13,14** 後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。

## **問 50 なぜ「神の右に座したまえり」と付け加えられたのですか。**

**答** キリストは天に上げられました。

それは、そこにおいて、主ご自身が、キリストの教会のかしらであることを知らせるためであり<sup>1</sup>、この方によって神様は全てを支配なさるのです<sup>2</sup>。

**詩編 99:1-4a** 主こそ王。諸国の民よ、おののけ。主はケルビムの上に御座を置かれる。地よ、震えよ。主はシオンにいまし、大いなる方。すべての民の上に高くいます。御名の大きいなること、畏るべきことを告白せよ。主は聖なる方。力強い王、裁きを愛し、

**マタイによる福音書 28:18** わたしは天と地の一切の権能を授かっている。

**エフェソの信徒への手紙 1:20-23** 神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

---

1 エフェソの信徒への手紙 1:20-23、コロサイの信徒への手紙 1:18

2 マタイによる福音書 28:18、ヨハネによる福音書 5:22

## 第 19 主日

**問 5 1 わたしたちのかしらなるキリストの栄光は、わたしたちにどのような利益をもたらしますか。**

**答** 第一に、キリストは、主の手足である、わたしたちに、聖霊により、天の賜物を注いで下さいます<sup>1</sup>。

そして次に、主は、その御力により、あらゆる敵から、私たちを守り保って下さるのです<sup>2</sup>。

**ルカによる福音書 12:32** 小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。

**ヨハネによる福音書 16:33** これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

**エフェソの信徒への手紙 1:3** わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。

**エフェソの信徒への手紙 2:4-7** しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してください、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、・・・あなたがたの救われたのは恵みによるのです・・・キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。こうして、神は、キリスト・イエスにおいてわたしたちにお示しになった慈しみにより、その限りなく豊かな恵みを、来るべき世に現そうとされたのです。

**問 5 2 生ける者と死ねる者とを、さばくためのキリストの再臨は、どのような慰めをあなたに与えますか。**

**答** あらゆる苦難や迫害の中にあっても、わたしは、頭を挙げて、天からの、まさにその審判者を待ち望むのです<sup>3</sup>。

主はわたしのために、すでに神様の裁きを受けてお立ちになり、すべての呪いを、わたしから取り除いて下さいました。

主は、主とわたしのすべての敵を、永遠の罰の中に投げ入れますが<sup>4</sup>、わたしを、すべての選ばれた者たちとともに、み許に召して、天の喜びと栄光のうちに入れて下さるのです<sup>5</sup>。

---

1 エフェソの信徒への手紙 4:10

2 詩編 2:9、ヨハネによる福音書 10:28、エフェソの信徒への手紙 4:8

3 ルカによる福音書 21:28、ローマの信徒への手紙 8:23、フィリピの信徒への手紙 3:20、テトスへの手紙 2:13

4 テサロニケの信徒への手紙二 1:6-10、テサロニケの信徒への手紙一 4:16、マタイによる福音書 25:41-43

5 マタイによる福音書 25:34

**ルカによる福音書 21:27,28** そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると。このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。

**コリントの信徒への手紙二 5:10** なぜなら、わたしたちは皆、キリストの裁きの座の前に立ち、善であれ悪であれ、めいめい体を住みかとしていたときに行ったことに応じて、報いを受けねばならないからです。

## 聖霊なる神について

### 第20主日

#### 問53 聖霊については、何を信じますか。

答 第一に、聖霊は、御父と、御子と共に、真実の永遠の神です<sup>1</sup>。

第二に、聖霊は、わたしにも、与えられています<sup>2</sup>。

そして、まことの信仰によって、

キリストのわたしの取り分と、そのすべての恵みにあずからせて下さいます<sup>3</sup>。

聖霊は、わたしを慰め<sup>4</sup>、永遠にわたしのもとにとどまって下さいます<sup>5</sup>。

**ヨハネによる福音書 14:16** わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにして下さる。この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、受け入れることができない。しかし、あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたと共におり、これからも、あなたがたの内にいるからである。

**ローマの信徒への手紙 8:9b** キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。

**ローマの信徒への手紙 8:14-17** 神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。この霊こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの霊と一緒にあって証しして下さいます。もし子供であれば、相続人もあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです。

---

1 創世記 1:2、イザヤ書 48:16、コリントの信徒への手紙一 3:16,6:19、使徒言行録 5:3 以下

2 マタイによる福音書 28:19、コリントの信徒への手紙二 1:21 以下

3 ガラテヤの信徒への手紙 3:14、ペトロの手紙一 1:2、コリントの信徒への手紙一 6:17

4 使徒言行録 9:31

5 ヨハネによる福音書 14:16、ペトロの手紙一 4:14



## 第 2 1 主日

### 問 5 4 聖なる公同のキリスト教会については、何を信じますか。

答 わたしは次のことを信じます。

神の御子が<sup>1</sup>、すべての人類の中から<sup>2</sup>、ご自分のために永遠の生命に連なる群れを選ばれたこと<sup>3</sup>、

主がその群れを、御霊と御言葉とによって<sup>4</sup>、

まことの信仰において一つなるものとして<sup>5</sup>、

世のはじめから終わりまで<sup>6</sup>、集め、守り、保って下さることです<sup>7</sup>。

また、わたしは次のことも信じます。

わたしが、その群れの活ける枝であり<sup>8</sup>、永遠にそうであり続けることを<sup>9</sup>。

マタイによる福音書 16:18 あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。

ヨハネによる福音書 15:16 あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。

使徒言行録 2:42 彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。

エフェソの信徒への手紙 2:19-22 従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。

### 問 5 5 聖徒の交わりを、あなたはどのように理解しますか。

答 第一に、すべての信ずる者は枝として、

共に誰でも、主キリストと主のすべての宝と賜物とを持つのです<sup>10</sup>。

第二に、それ故、どの枝も、自分の賜物を、他の枝の利益と救いのために、進み、喜んで、使う責任があることを知っていなければなりません<sup>11</sup>。

---

1 ヨハネによる福音書 10:11

2 創世記 26:4

3 ローマの信徒への手紙 8:29 以下、エフェソの信徒への手紙 1:10-13

4 イザヤ書 59:21、ローマの信徒への手紙 1:16,10:14-17、エフェソの信徒への手紙 5:26

5 使徒言行録 2:46、エフェソの信徒への手紙 4:3-6

6 詩編 71:18、コリントの信徒への手紙一 11:26

7 マタイによる福音書 16:18、ヨハネによる福音書 10:28-30、コリントの信徒への手紙一 1:8 以下

8 ヨハネの手紙一 3:21

9 ヨハネの手紙一 1

10 ヨハネの手紙一 1:3、コリントの信徒への手紙一 1:9、ローマの信徒への手紙 8:32

11 コリントの信徒への手紙一 12:12,13,21,13:5、フィリピの信徒への手紙 2:4-6

**エフェソの信徒への手紙 4:3-6** 平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを通して働き、すべてのものの中におられます。

**エフェソの信徒への手紙 4:15** むしろ、愛に根ざして真理を語り、あらゆる面で、頭であるキリストに向かって成長していきます。

**ペトロの手紙一 4:10** あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。

## 問 5 6 罪の赦しについて、何を信じますか。

答 神様が、キリストがわたしのために償いを成し遂げられたことのゆえに<sup>1</sup>、わたしのすべての罪について、また、わたしが、一生の間戦わなければならない、わたしの罪深い性質について<sup>2</sup>、もうお考えにならないことです。それどころか、恵みによって、わたしにキリストの義を与えて、わたしがもはや裁きに合うことのないようにして下さるのです<sup>3</sup>。

**詩編 32:1,2** いかに幸いなことでしょう 背きを赦され、罪を覆っていただいた者は。いかに幸いなことでしょう 主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。

**イザヤ書 43:24,25** むしろ、あなたの罪のためにわたしを苦しめ あなたの悪のために、わたしに重荷を負わせた。わたし、このわたしは、わたし自身のために あなたの背きの罪をぬぐい あなたの罪を思い出さないことにする。

## 第 2 2 主日

### 問 5 7 体のよみがえりは、どのような慰めをあなたに与えますか。

答 私の魂が、この生涯の後に、直ちにかしらなるキリストのもとへと受け入れられる事です<sup>4</sup>。

そればかりか、私の肉体もまた、キリストの力によって甦らせられ、再び、私の魂と一体となって、キリストの栄光の体と同じ形になるのです<sup>5</sup>。

**コリントの信徒への手紙一 15:42-44** 死者の復活もこれと同じです。蒔かれるときは朽ちるものでも、朽ちないものに復活し、蒔かれるときは卑しいものでも、輝かしいものに復活し、蒔かれるときには弱いものでも、力強いものに復活するのです。つまり、自然の命の体が蒔かれて、霊の体が復活するのです。自然の命の体があるのですから、霊の体もあるわけです。

---

1 ヨハネの手紙一 2:2、コリントの信徒への手紙二 5:19,21

2 エレミヤ書 31:34、詩編 103:3 以下、10,12、ローマの信徒への手紙 7:24,25,8:1-4

3 ヨハネによる福音書 3:18

4 ルカによる福音書 23:43、フィリピの信徒への手紙 1:23

5 コリントの信徒への手紙一 15:53 以下、ヨブ記 19:25 以下、ヨハネの手紙一 3:2、フィリピの信徒への手紙 3:21

**コリントの信徒への手紙二 4:14** 主イエスを復活させた神が、イエスと共にわたしたちをも復活させ、あなたがたと一緒に御前に立たせてくださると、わたしたちは知っています。

**フィリピの信徒への手紙 3:20,21** しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています。キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるのです。

## **問 5 8 永遠の生命の筒条はあなたにどのような慰めを与えますか。**

**答** すでに今、わたしは永遠の喜びの始まりを私の心の内に感じています<sup>1</sup>。この生涯の後に、わたしは人の目も未だ見ず、人の耳も未だ聞かない、そして誰の心にも浮かんだことのない完全な祝福を持ち<sup>2</sup>、そのうちにあつて、神を永遠に讃美するのです<sup>3</sup>。

**ヨハネの手紙一 3:2** 愛する者たち、わたしたちは、今既に神の子ですが、自分がどのようになるかは、まだ示されていません。しかし、御子が現れるとき、御子に似た者となるということを知っています。なぜなら、そのとき御子をありのままに見るからです。

**ヨハネの黙示録 21:4** 彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。

## **第 2 3 主日**

### **問 5 9 それでは、これらすべてを信じることは、あなたにとってどのように役立ちますか。**

**答** わたしがキリストにあつて神の前に義となり、そして永遠の生命の相続人となることです<sup>4</sup>。

**ローマの信徒への手紙 1:16,17** わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。福音には、神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

---

1 コリントの信徒への手紙二 5:2 以下

2 コリントの信徒への手紙一 2:9

3 ヨハネによる福音書 17:3

4 ハバクク書 2:4、ローマの信徒への手紙 1:17、ヨハネによる福音書 3:36

**問 60** どのようにして、あなたは神の前に義となるのですか。

**答** イエス・キリストへの、まことの信仰によるだけです<sup>1</sup>。

確かに、わたしの良心が、  
神様のすべての戒めに対して、はなはだしく罪を犯しており、どれ一つ  
をも守ることがないと言って<sup>2</sup>、

また、依然として、わたしがいつもすべての悪に向かう傾向にあると  
言って<sup>3</sup>、わたしを責めるのですが、

神様は、わたしに、わたしの功績がまったく無くても<sup>4</sup>、大きな恵み  
によって<sup>5</sup>、キリストの完全な償いと<sup>6</sup>、義と聖とを贈って下さいます<sup>7</sup>。

主は、あたかも、わたしが何の罪を犯した事も、持った事も無いかの  
ように、また、キリストがわたしのために果たして下さった、完全な服  
従を、自分自身で成し遂げたかのように<sup>8</sup>、

それらをわたしのものと認めてくださるのです<sup>9</sup>。

わたしが、この恵みを、信仰に満ちた心をもって受けるならば<sup>10</sup>、  
わたしは、神様の前に義とされるのです。

**イザヤ書 45:22-24** 地の果てのすべての人々よ わたしを仰いで、救いを得よ。 わたしは神、ほかにはいない。 わたしは自分にかけて誓う。 わたしの口から恵みの言葉が出されたならば その言葉は決して取り消されない。 わたしの前に、すべての膝はかがみ すべての舌は誓いを立て 恵みの御業と力は主にある、とわたしに言う。

**ローマの信徒への手紙 3:28** なぜなら、わたしたちは、人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰によると考えるからです。

**ローマの信徒への手紙 5:1,2** このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。

---

1 ローマの信徒への手紙 3:21 以下,24 以下,28、ガラテヤの信徒への手紙 2:16、エフェソの信徒への手紙 2:8 以下、フィリピの信徒への手紙 3:9

2 ローマの信徒への手紙 3:9

3 ローマの信徒への手紙 7:23

4 テトスへの手紙 3:5

5 ローマの信徒への手紙 3:24、エフェソの信徒への手紙 2:8

6 ヨハネの手紙一 2:2

7 ヨハネの手紙一 2:1

8 コリントの信徒への手紙二 5:21

9 ローマの信徒への手紙 4:4 以下、コリントの信徒への手紙二 5:19

10 ローマの信徒への手紙 3:22、ヨハネによる福音書 3:18

**問 6 1 なぜあなたは、ただ、信仰によってのみ、義とされると言うのですか。**

**答** わたしの信仰がそのような価値を持っているから、わたしが、神様のみこころにかなうというのではないのです。

そうではなくて、ただ、キリストの償いと、義と、聖とが、神様の前で、わたしの義となるのです<sup>1</sup>。

それを、わたしは、ただ信仰による以外には、受け取ることも、わたしのものとすることも出来ないのです<sup>2</sup>。

**ローマの信徒への手紙 4:5** しかし、不信心な者を義とされる方を信じる人は、働きがなくても、その信仰が義と認められます。

**ローマの信徒への手紙 9:16** 従って、これは、人の意志や努力ではなく、神の憐れみによるものです。

## **第 2 4 主日**

**問 6 2 なぜ、わたしたちは、わたしたちの良い行いによって、神様の前に、完全に義、あるいは、せめてその一部分とならないのですか。**

**答** 神様の裁きに持ちこたえることのできる義は、まったく完全であり、神様の律法に、完全にかなうものでなければなりません<sup>3</sup>。

しかし、この世における、わたしたちの最も良い行いでも、まったく不完全であり、罪に汚れているのです<sup>4</sup>。

**ガラテヤの信徒への手紙 2:16** けれども、人は律法の実行ではなく、ただイエス・キリストへの信仰によって義とされると知って、わたしたちもキリスト・イエスを信じました。これは、律法の実行ではなく、キリストへの信仰によって義としていただくためでした。なぜなら、律法の実行によっては、だれ一人として義とされないからです。

**ヤコブの手紙 2:10** 律法全体を守ったとしても、一つの点でおちどがあるなら、すべての点について有罪となるからです。

---

1 コリントの信徒への手紙一 1:30,2:2

2 ヨハネの手紙一 5:10

3 ガラテヤの信徒への手紙 3:10、申命記 27:26

4 イザヤ書 64:6

**問 6 3** 神様が、この世でも、来るべき世でも、それに報いてくださるというのに、それでも、わたしたちは、わたしたちの良い行いによって、何も得ることはできないのですか。

答 神様がわたしたちに報いてくださるのは、わたしたちが、受けるに値する者であるからではなく、神様がそれほど恵み深い方でいらっしゃるからなのです<sup>1 2</sup>。

ルカによる福音書 17:10 自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならないことをしただけです』と言いなさい。

コリントの信徒への手紙一 4:7 あなたをほかの者たちよりも、優れた者としたのは、だれです。いったいあなたの持っているもので、いただかなかったものがあるでしょうか。もしいただいたのなら、なぜいただかなかったような顔をして高ぶるのですか。

**問 6 4** この教えは、人間を、無思慮で無責任な者に、するのではないのですか。

答 そんなことはあり得ません。なぜなら、まことの信仰によって、キリストに植えつけられた者が、感謝の実を結ばないということは、あり得ないからです<sup>3</sup>。

マタイによる福音書 7:18 良い木が悪い実を結ぶことはなく、また、悪い木が良い実を結ぶこともできない。

ローマの信徒への手紙 6:1,2 では、どういうことになるのか。恵みが増すようにと、罪の中にとどまるべきだろうか。決してそうではない。罪に対して死んだわたしたちが、どうして、なおも罪の中に生きることができるでしょう。

ヤコブの手紙 2:17 信仰もこれと同じです。行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。

---

1 ルカによる福音書 17:10

2 簡訳版参照。原文は Diese Belohnung geschieht nicht aus Verdienst, sondern aus Gnaden. 「その報いは、功績によるのではなくて、恵みによるのです」。

3 マタイによる福音書 7:18

## 聖礼典について

### 第25主日

**問65** それだけが、わたしたちを、キリストとそのすべての恵みの分け前に、あずからせる、そのような信仰は、どこから来るのですか。

**答** 聖霊が働いて、わたしたちの心の中に<sup>1</sup>、聖なる福音の説教によって、信仰を起し、聖礼典を用いることによって、それを確かなものとするのです<sup>2</sup>。

**出エジプト記 13:9** あなたは、この言葉を自分の腕と額に付けて記憶のしるしとし、主の教えを口ずさまねばならない。主が力強い御手をもって、あなたをエジプトから導き出されたからである。

**イザヤ書 55:8-11** わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり わたしの道はあなたたちの道と異なると 主は言われる。 天が地を高く超えているように わたしの道は、あなたたちの道をわたしの思いは あなたたちの思いを、高く超えている。 雨も雪も、ひとたび天から降れば むなしく天に戻ることはない。 それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ 種蒔く人には種を与え 食べる人には糧を与える。 そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も むなしくは、わたしのもとに戻らない。 それはわたしの望むことを成し遂げ わたしが与えた使命を必ず果たす。

**ヨハネによる福音書 8:51** はっきり言うておく。わたしの言葉を守るなら、その人は決して死ぬことがない。

**ローマの信徒への手紙 10:17** 実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです。

**問66** 聖礼典とは何ですか。

**答** 神様がお定めになった、目に見える聖なるしるしであり、印章です。神様は、わたしたちに、これを用いることにより、福音の約束を、いっそうより良く理解させ、保証してくださるのです。

その福音の約束とは、神様が、わたしたちに、十字架において成し遂げられた、キリストの、ただ一度限りの犠牲のゆえに、罪の赦しと永遠の命とを、恵みによって、与えてくださる、ということです<sup>3</sup>。

**創世記 9:12** あなたたちならびにあなたたちと共にいるすべての生き物と、代々としえにわたしが立てる契約のしるしはこれである。

---

1 エフェソの信徒への手紙 2:8 以下、ヨハネによる福音書 3:5

2 マタイによる福音書 28:19 以下、ペトロの手紙一 1:22 以下

3 創世記 17:11、ローマの信徒への手紙 4:11、申命記 30:6、レビ記 6:25、ヘブライ人への手紙 9:8 以下、24、エゼキエル書 20:12

**詩編 34:9** 味わい、見よ、主の恵み深さを。 いかにかに幸いなことか、御もとに身を寄せる人は。

**使徒言行録 2:38,39** 悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。

**問 6 7** それでは、みことばと聖礼典との、これらの両方のものは、わたしたちの信仰を、わたしたちの救いの唯一の基礎である、十字架におけるイエス・キリストの犠牲へと向けさせるのですか。

**答** はい、もちろんです。

なぜならば、聖霊は、わたしたちの救いのすべてが、わたしたちのために、十字架においてなされた、キリストの、ただ一度限りの犠牲に基づいているということ<sup>1</sup>、福音の中で教え、聖礼典によって、確かなものとするからです。

**ローマの信徒への手紙 6:3** それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。

**コリントの信徒への手紙一 2:2** なぜなら、わたしはあなたがたの間で、イエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。

**コリントの信徒への手紙一 11:26** だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

**問 6 8** キリストは新約聖書の中に、いくつの聖礼典をお定めになりましたか。

**答** 二つです。聖なる洗礼と聖餐です。

---

<sup>1</sup> ローマの信徒への手紙 6:3、ガラテヤの信徒への手紙 3:27



## 聖なる洗礼について

### 第26主日

**問69** あなたは、聖なる洗礼において、十字架における、キリストの、ただ一度限りの犠牲が、あなたの利益になる事を、どのように思い起こし、また確信させられるのですか。

**答** キリストは、この外面的な水浴をお定めになりました<sup>1</sup>。そしてその際に、次のような約束をなされたのです<sup>2</sup>。

わたしは、主の血と霊とにより、わたしの魂の汚れ（けがれ）、すなわち、わたしのすべての罪から、確かに洗われるのだということ。

そして、それは、わたしが、身体の汚れ（よごれ）を取り除くことを常としている、その水によって、外面的に洗われるのと同じくらい確かである、ということですよ<sup>3</sup>。

**使徒言行録 22:16** 今、何をためらっているのです。立ち上がりなさい。その方の名を唱え、洗礼を受けて罪を洗い清めなさい。

**ローマの信徒への手紙 6:4** わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。

**エフェソの信徒への手紙 5:25,26** 夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。キリストがそうなされたのは、言葉を伴う水の洗いによって、教会を清めて聖なるものとし

**問70** キリストの血と霊とによって洗われるとは、どういう意味ですか。

**答** わたしたちが、主の十字架における犠牲において、わたしたちのために流された、キリストの血のゆえに、神様により、恵みにより、罪の赦しを手に入れる、ということですよ<sup>4</sup>。

さらに、わたしたちは、聖霊によって新しくされ、キリストの手足として、聖なるものとされる、ということでもあります。そして、時とともに、ますます、罪に死んで、神様のみこころにかなう、潔白な生涯を送るようになるのです<sup>5</sup>。

---

1 マタイによる福音書 28:19 以下、使徒言行録 2:38

2 マタイによる福音書 3:11、マルコによる福音書 16:16、ローマの信徒への手紙 6:3 以下

3 マルコによる福音書 1:4、ルカによる福音書 3:3

4 ヘブライ人への手紙 12:24、ペトロの手紙一 1:2、ヨハネの黙示録 1:5、ザカリヤ書 13:1、エゼキエル書 36:25

5 ヨハネによる福音書 1:33、ヨハネによる福音書 3:5、コリントの信徒への手紙一 6:11,12:13、ローマの信徒への手紙 6:4、コロサイの信徒への手紙 2:12

ヨハネによる福音書 3:5 はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。

コリントの信徒への手紙一 6:11 しかし、主イエス・キリストの名とわたしたちの神の霊によって洗われ、聖なる者とされ、義とされています。

ガラテヤの信徒への手紙 3:27 洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。

**問 7 1 わたしたちが、洗礼の水により洗われるのと同じように、確かに、主の血と霊とにより、洗われるということ、キリストはどこで約束されましたか。**

答 洗礼の制定のときです。

「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授けなさい<sup>1</sup>。」「信じて洗礼を受ける者は救われるが、信じない者は滅びの宣告を受ける<sup>2</sup>。」こう言われています。

この約束は、聖書が、洗礼を再生の洗い<sup>3</sup>、罪の洗い清めと呼んでいる<sup>4</sup>時にも、繰り返されているのです。

テトスへの手紙 3:4,5 神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救って下さいました。この救いは、聖霊によって新しく生まれさせ、新たに造りかえる洗いを通して実現したのです。

## 第 2 7 主日

**問 7 2 それでは、この外的な水浴は、わたしたちの罪の洗いそのものなのですか。**

答 いいえ<sup>5</sup>。ただイエス・キリストの血と聖霊だけが、わたしたちを、すべての罪から清めてくださるのです<sup>6</sup>。

エレミヤ書 2:22 たとえ灰汁で体を洗い 多くの石灰を使っても わたしの目には 罪があなたに染みついていると 主なる神は言われる。

ヨハネの手紙一 1:7 しかし、神が光の中におられるように、わたしたちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。

---

1 マタイによる福音書 28:19

2 マルコによる福音書 16:16

3 テトスへの手紙 3:5

4 使徒言行録 22:16

5 マタイによる福音書 3:11、ペトロの手紙一 3:21、エフェソの信徒への手紙 5:26 以下

6 ヨハネの手紙一 1:7、コリントの信徒への手紙一 6:11

**ヨハネの手紙一 5:6** この方は、水と血を通して来られた方、イエス・キリストです。水だけではなく、水と血とによって来られたのです。そして、”霊”はこのことを証しする方です。”霊”は真理だからです。

### **問 7 3 それでは、なぜ、聖霊は、洗礼を再生の水浴、また罪の洗い、と呼ぶのですか。**

**答** 神様は、確かな理由なしに、そのようにお語りになることはありません。

つまり、神様は、これにより、わたしたちに教えようとされるのです。

ちょうど身体の汚れ（よごれ）が、水によって取り去られるように、わたしたちの罪は、キリストの血と霊とによって取り去られるのだという<sup>1</sup>。

そして、そればかりではなく、神様は、わたしたちに、神様の保証金とするしとによって、わたしたちが、本当の水によって洗われるのと同じくらい真実に、わたしたちが、わたしたちの罪から、霊的に洗われることを、保証して下さるのです<sup>2</sup>。

**ヘブライ人への手紙 9:14** まして、永遠の”霊”によって、御自身をきずのないものとして神に献げられたキリストの血は、わたしたちの良心を死んだ業から清めて、生ける神を礼拝するようにさせないでしょうか。

**ヨハネの黙示録 1:5** 証人、誠実な方、死者の中から最初に復活した方、地上の王たちの支配者、イエス・キリストから恵みと平和があなたがたにあるように。わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放して下さった方に

---

1 使徒言行録 1:5, 7:14、コリントの信徒への手紙一 6:11

2 マルコによる福音書 16:16、ガラテヤの信徒への手紙 3:17

#### 問 7 4 幼い子供にも洗礼を授けるべきでしょうか。

答 はい、そうです。

なぜなら、子供たちも、大人たちと同じように神様の契約とその教会共同体に属しているからです<sup>1</sup>。

子供たちにも、キリストの血における、罪からの救いと<sup>2</sup>、信仰を起す聖霊とが、大人たちと比べて、少しも劣ることなく、約束されているからです<sup>3</sup>。

ですから、子供たちも、契約のしるしとしての洗礼によって、キリスト教会に手足としてはめこまれ、信じない者の子供たちとは区別されるべきなのです<sup>4</sup>。

それは、旧約において、割礼により、行われていたのと同様です<sup>5</sup>。それに代わって、新約では洗礼が定められたのです<sup>6</sup>。

**創世記 17:7** わたしは、あなたとの間に、また後に続く子孫との間に契約を立て、それを永遠の契約とする。そして、あなたとあなたの子孫の神となる。

**イザヤ書 54:10** 山が移り、丘が揺らぐこともあろう。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らず わたしの結ぶ平和の契約が揺らぐことはない。あなたを憐れむ主は言われる。

**マルコによる福音書 10:14** 子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。

---

1 創世記 17:7

2 マタイによる福音書 19:14

3 ルカによる福音書 1:14 以下、詩編 22:11、イザヤ書 44:1-3、使徒言行録 2:39

4 使徒言行録 10:47

5 創世記 17:14

6 コロサイの信徒への手紙 2:11-13

## イエス・キリストの聖餐について

### 第28主日

**問75** 聖餐において、あなたが、ただ一度限りの、十字架におけるキリストの犠牲とそのすべての財産の分け前に共にあずかっている事を、どのように、あなたは、思い起こし、確信させられるのですか。

**答** キリストは、わたしと、信じる者すべてに、主の記念として、この裂かれたパンから食べ、この杯から飲むことをお命じになったのです。

その際に、主は、次のことを約束して下さいます<sup>1</sup>。

第一に、わたしが、主のパンがわたしのために裂かれ、杯がわたしに分け与えられるのを、わたしの目で確かに見るように、確かに、十字架において、主の身体がわたしのために犠牲として捧げられ、裂かれて、その御血潮がわたしのために、流されたということです。

第二に、わたしが、キリストのからだと御血潮との確かなしるしとして、わたしに与えられた、主のパンと杯とを、奉仕者の手から、確かに、受け取り、また肉体的に食べるように、確かに、主御自身が、わたしの魂に、永遠の生命のために、主の十字架につけられたからだ、流された御血潮とを食べさせ、飲ませてくださるということです。

**ヨハネによる福音書 6:35** わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

**ヨハネの黙示録 3:20** 見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

---

<sup>1</sup> マタイによる福音書 26:26 以下、マルコによる福音書 14:22 以下、ルカによる福音書 22:19 以下、コリントの信徒への手紙一 10:16 以下、11:23-25, 12:13

**問 7 6 キリストの十字架につけられたからだを食べ、その流された血を飲むとはどういう意味ですか。**

答 それは、わたしたちが、信仰に満ちた心をもって、キリストのすべての苦しみと死とを受け入れて、それによって、罪の赦しと永遠の生命とを受け取る事を意味するばかりではなく<sup>1</sup>、

さらに、それに加えて、わたしたちが、キリストのうちに住まわれると同時に、わたしたちのうちにも住まわれる、聖霊によって、主の祝福されたからだと共にますます一体となる事を意味しています<sup>2</sup>。

ですから、たとえ、主が天におられ<sup>3</sup>、わたしたちが地にあっても、それでもなお、わたしたちは、主の肉の肉、主の骨の骨であり<sup>4</sup>、それゆえ、わたしたちは、(わたしたちのからだの手足がひとつの魂によっているように) ひとつの霊によって、永遠に生き、また支配されるのです<sup>5</sup>。

**ヨハネによる福音書 6:53** はっきり言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。

---

1 ヨハネによる福音書 6:35, 40, 47 以下, 50 以下, 53 以下

2 ヨハネによる福音書 6:55 以下

3 使徒言行録 3:21、コリントの信徒への手紙一 11:26

4 エフェソの信徒への手紙 3:16, 17, 5:29 以下, 32, コリントの信徒への手紙一 6:15, 17, 19, ヨハネの手紙一 3:24, 4:13

5 ヨハネによる福音書 14:23, 6:56-58, 15:1-6, エフェソの信徒への手紙 4:15, 16

**問 77** キリストは、どこで、信じる者に、この裂かれたパンから食べ、この杯から飲むように、確かに、主のからだを血とを食べさせ、また飲ませると約束されましたか。

**答** 聖餐の制定の時です。そこには次のように記されています<sup>1</sup>。

「わたしたちの主イエスは、裏切られた夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、『取って、食べなさい。これは、あなたがたのために裂かれる、わたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい』と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、『この杯は、わたしの血による新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい』と言われました。だから、あなたがたは、このパンから食べ、この杯から飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

この約束はまた使徒パウロによって繰り返され<sup>2</sup>、彼はこう言っています。「(これにより、) わたしたちが神を賛美する賛美の杯は、キリストの血に (共に) あずかることではないか。わたしたちが裂くパンは、キリストの体に (共に) あずかることではないか。パンは一つだから、わたしたちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを分けて食べるからです。」

---

1 コリントの信徒への手紙一 11:23-25、マタイによる福音書 26:26-28、マルコによる福音書 14:22-24、ルカによる福音書 22:19 以下

2 コリントの信徒への手紙一 10:16-17

## 第 29 主日

**問 78** それでは、パンとぶどう酒とは、キリストのからだと血そのものになるのですか。

答 いいえ。

そうではなくて、洗礼の水がキリストの血に変化したり、罪の洗いそのものになるのではなく、

ただ、このことの、神様のしるし、また保証にすぎないのと同じように<sup>1</sup>、聖餐の聖なるパンも、聖礼典の性質と用法とによれば<sup>2</sup>、キリストのからだと呼ばれるのですが、キリストのからだそのものになるわけではありません<sup>3</sup>。

ヨハネによる福音書 6:63 命を与えるのは”霊”である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。

**問 79** それでは、なぜ、キリストは、パンを主のからだ、杯を主の血あるいは主の血による新しい契約とお呼びになるのですか。また、なぜ、使徒パウロは、イエス・キリストのからだと血とに共にあずかる、と言ったのですか。

答 キリストは、確かな理由なしに、そのようにお語りになることはありません。

つまり、主は、これにより、わたしたちに教えようとされるのです。

パンとぶどう酒とが、この世の生命を保つように、主の、十字架につけられた、からだと流された血とが、永遠の生命のための、わたしたちの魂の、まことの食べ物であり、まことの飲み物であるということ<sup>4</sup>。

そして、そればかりではなく、主は、わたしたちに、この目に見えるしるしと保証金とによって、約束して下さるのです。

わたしたちが、この聖なるしるしを、肉体の口をもって、主の記念として、受け取るように、それほど真実に、わたしたちが、聖霊の働きを通して、主のまことのからだと血との分け前にあずかるのだということ<sup>5</sup>。

そして、すべての主の苦しみと従順とが、あたかも、わたしたち自身が、自分自身で、すべてを苦しみ、償いを成し遂げたかのように、確かに、わたしたちのものとなるということ。

---

1 マタイによる福音書 26:29、マルコによる福音書 14:24

2 創世記 17:10 以下、14、19、出エジプト記 12:27、43、48、テトスへの手紙 3:5、ペトロの手紙一 3:21、コリントの信徒への手紙一 10:1-4

3 コリントの信徒への手紙一 10:16、17、11:26-28

4 ヨハネによる福音書 6:51、55

5 コリントの信徒への手紙一 10:16、17



ヨハネによる福音書 6:51 わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。わたしが与えるパンとは、世を生きかすためのわたしの肉のことである。

### 第30主日

問80 主の聖餐と教皇のミサとの間には、どのような違いがあるのですか。

答 聖餐は、わたしたちに、次のことを、証しするのです。

わたしたちが、わたしたちのすべての罪から、完全に赦されたのだということ。

それはイエス・キリストの犠牲、おひとつのみによるのであって、主ご自身が、十字架において、ただ一度、成し遂げられたのです<sup>1</sup>。

そして、わたしたちは、聖霊によって、キリストとひとつのからだにされたということ<sup>2</sup>。その主は、今、まことのからだをもって、天において、父の右におられ<sup>3</sup>、そこにおいて、礼拝されるのです<sup>4</sup>。

しかし、ミサは、教えるのです。

生きている者も、死んでいる者も、

ただ、キリストが、今も、日ごとに、彼らのために、ミサの司祭によって犠牲としてささげられるのでないならば、

キリストの苦しみによって、罪の赦しを得るのではないということ。

また、こうも教えています。

キリストが、パンとぶどう酒との形の下に肉体としておられ、ですから、その中において、礼拝されるのであると。

ですからミサは、根本的に、イエス・キリストの、ただ一度限りの犠牲と苦しみを、否定しているのに他ありません<sup>5</sup>。呪うべき、偶像崇拜なのです\*。

ヨハネによる福音書 4:24 神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。

1 ヘブライ人への手紙 7:27, 9:12, 25-28, 10:10, 12-14、ヨハネによる福音書 19:30、マタイによる福音書 26:28、ルカによる福音書 22:19 以下

2 コリントの信徒への手紙一 6:17, 10:16

3 ヘブライ人への手紙 1:3, 8:1 以下

4 ヨハネによる福音書 4:21-24, 20:17、ルカによる福音書 24:52、使徒言行録 7:55, 56、コロサイの信徒への手紙 3:1、フィリピの信徒への手紙 3:20 以下、テサロニケの信徒への手紙一 1:10

5 ヘブライ人への手紙 9:6-10, 10:19-31

\* 信仰問答はここで、戦いの、激しい言い方を用いているが、これは宗教改革の時代に、正しい教えを導くためのものであった。ローマ・カトリック教会のミサとプロテスタント教会の聖餐についての、解釈の対立は、現在においてもまた存在している。しかし非難のかわりに、エキュメニカル的な対話が、双方の教会の間で進められているのである（簡訳版より）。

**ヘブライ人への手紙 10:11** すべての祭司は、毎日礼拝を献げるために立ち、決して罪を除くことのできない同じいけにえを、繰り返して献げます。しかしキリストは、罪のために唯一のいけにえを献げて、永遠に神の右の座に着き、その後は、敵どもが御自分の足台となってしまいうまで、待ち続けておられるのです。なぜなら、キリストは唯一の献げ物によって、聖なる者とされた人たちを永遠に完全な者となさったからです。

## **問 8 1 どのような人が、主の食卓に来るべきでしょうか。**

**答** 自分の罪のため、自分が気に入らないが、キリストの苦しみと死とによって、神様がそれらについて自分を赦してくださっている事、また、残っている弱さも、覆ってくださっている事を、信じているすべての人です。

そして、また、ますます自分の信仰が強められて、自分の生活が、より良いものとなることを切に望んでいるすべての人です。

しかし、悔い改めない者や偽善者は、主の食卓に来て、自分自身に対する裁きを飲み食いするのです<sup>1</sup>。

**詩編 51:19** しかし、神の求めるいけにえは打ち砕かれた霊。打ち砕かれ悔いる心を 神よ、あなたは侮られません。

**マタイによる福音書 5:6** 義に飢え渴く人々は、幸いである、その人たちは満たされる。

**マタイによる福音書 11:28-30** 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。

## **問 8 2 信仰告白と生活において、信じない者、神なき者であることを示している者も、聖餐にあずかることが許されるのですか。**

**答** いいえ、許されません。

なぜなら、そうすることによって、神様の契約を侮辱し、全会衆に対して神の怒りをひきおこすことになるからです<sup>2</sup>。

ですからキリストの教会は、キリストとその使徒たちの教える規則にしたがい、そのような人々を、その生活が改善されるまで、鍵の役目によって、閉め出す責任があるのです。

**マタイによる福音書 10:32,33** 「だから、だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言い表す者は、わたしも天の父の前で、その人をわたしの仲間であると言い表す。しかし、人々の前でわたしを知らないと言う者は、わたしも天の父の前で、その人を知らないと言う。」

1 コリントの信徒への手紙一 10:21, 11:28 以下

2 コリントの信徒への手紙一 11:20, 34、イザヤ書 1:11-15, 66:3、エレミヤ書 7:21-23、詩編 50:16

**使徒言行録 20:28** どうか、あなたがた自身と群れ全体とに気を配ってください。聖霊は、神が御子の血によって御自分のものとなさった神の教会の世話をさせるために、あなたがたをこの群れの監督者に任命なさったのです。

**コリントの信徒への手紙一 5:6** あなたがたが誇っているのは、よくない。わずかなパン種が練り粉全体を膨らませることを、知らないのですか。

**コリントの信徒への手紙一 5:13** 外部の人々は神がお裁きになります。「あなたがたの中から悪い者を除き去りなさい。」

### 第 3 1 主日

#### 問 8 3 その鍵の役目とは何ですか。

答 聖なる福音の説教とキリスト教会の教えに従う戒規です。

この両方のものにより、天国は、

信じる者たちには開かれ、信じない者たちには閉ざされるのです<sup>1</sup>。

**マタイによる福音書 16:19** わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつなされる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。

**マタイによる福音書 18:18** はっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつなされ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。

#### 問 8 4 聖なる福音の説教によって、天国は、どのようにして開かれ、また閉ざされるのですか。

答 キリストのご命令によって、このように行われます。

あらゆる信じる者たちは、

福音の約束を、まことの信仰をもって信じて受け入れれば受け入れるほど、すべての罪が、キリストの功績により、神様によって本当に赦されることを告げられ、また公に証しされるのです。

その反対に、すべての信じない者と偽善者とは、回心しないかぎり、神の怒りと永遠の罰とが、彼らにのぞむことを告げられ、また公に証しされるのです<sup>2</sup>。

この福音の証言によって、神様は、両者を、この世においても、また来るべき世においても、判決をお下しになるのです。

**イザヤ書 61:1,2** 主はわたしに油を注ぎ 主なる神の霊がわたしをとらえた。わたしを遣わして貧しい人に良い知らせを伝えさせるために。打ち砕かれた心を包み 捕らわれ人には自由を つながれている人には解放を告知させるために。 主が恵みをお与えになる年 わたしたちの神が報復される日を告知して 嘆いている人々を慰め

1 マタイによる福音書 16:18 以下, 18:15-18

2 ヨハネによる福音書 20:21-23、マタイによる福音書 16:19

**テモテへの手紙二 4:2** 御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。とがめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。

**問 8 5 キリスト教の戒規によって、天国は、どのようにして閉ざされ、また開かれるのですか。**

**答** キリストのご命令によって、このように行われます。

自分がキリスト者であると言いながら、非キリスト教的な教え、あるいは生活をする人はすべて、何度でも、兄弟として、戒められるのです。

もし、その人々が、誤りと悪徳とを止めないならば、教会あるいは教会によって任された役目の人々に、告発されます。

もし、その人々が、その戒めさえも、無視するならば、その役目の人々により、聖礼典の停止をもってキリスト教会共同体から、そして神御自身によっては、キリストの御国から閉め出されるのです。

しかし、彼らが、もし、まことの改心を約束し、証明するならば、キリストと教会の手足として、再び受け入れられるのです<sup>1</sup>。

**マタイによる福音書 18:15,16** 兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。

**ルカによる福音書 17:3,4** あなたがたも気をつけなさい。もし兄弟が罪を犯したら、戒めなさい。そして、悔い改めれば、赦してやりなさい。一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回、『悔い改めます』と言ってあなたのところに來るなら、赦してやりなさい。

**テサロニケの信徒への手紙二 3:6,14,15** 兄弟たち、わたしたちは、わたしたちの主イエス・キリストの名によって命じます。怠惰な生活をして、わたしたちから受けた教えに従わないでいるすべての兄弟を避けなさい。

もし、この手紙でわたしたちの言うことに従わない者がいれば、その者には特に気をつけて、かかわりを持たないようにしなさい。そうすれば、彼は恥じ入るでしょう。しかし、その人を敵とは見なさず、兄弟として警告しなさい。

---

1 マタイによる福音書 18:15-18、コリントの信徒への手紙一 5:2-5、テサロニケの信徒への手紙二 3:14, 15、ヨハネの手紙二 10:11

## 第三部 感謝について

### 第32主日

**問86** わたしたちは、何の功績もないのに、キリストの恵みによって、みじめな状態から救われています。それなのに、どうして良い行いをしなければならぬのですか。

**答** なぜなら、キリストは、その血によって、わたしたちを買い取ってくださり。

そしてその後、その聖霊によってわたしたちを新しくし、キリストに似るものとしてくださったからです。

そして、わたしたちは、全生涯をもって、神様に、その恵みのみ業に対して感謝を示します<sup>1</sup>。わたしたちによって、神様がほめたたえられるためです<sup>2</sup>。

さらにまた、わたしたちが、その実りによって、自分自信の信仰を確信します<sup>3</sup>。神様のみこころにかなう生活により、隣人をもキリストに導くためです<sup>4</sup>。

**エフェソの信徒への手紙 2:10** なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。

**コロサイの信徒への手紙 1:12,13** 光の中にある聖なる者たちの相続分に、あなたがたがあずかれるようにしてくださった御父に感謝するように。御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました。

**コロサイの信徒への手紙 3:17** そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。

**ヨハネの手紙一 3:14** わたしたちは、自分が死から命へと移ったことを知っています。兄弟を愛しているからです。愛することのない者は、死にとどまったままです。

**ヨハネの手紙一 3:24** 神の掟を守る人は、神の内にもいつもとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。神がわたしたちの内にとどまってくださることは、神が与えてくださった”霊”によって分かります。

---

1 ローマの信徒への手紙 6:13, 12:1 以下、ペトロの手紙一 2:5, 9, 10、コリントの信徒への手紙一 6:20

2 マタイによる福音書 5:16、ペトロの手紙一 2:12

3 ペトロの手紙一 1:6-7、マタイによる福音書 7:17、ガラテヤの信徒への手紙 5:6, 22 以下

4 ペトロの手紙一 3:1, 2、ローマの信徒への手紙 14:19

**問 8 7** それでは、感謝もしない、悔い改めることもしない生活から離れて、神様に従わない者は救われないのですか。

**答** 決して救われません。なぜなら聖書は次のように言っているからです。「みだらな者、偶像を礼拝する者、姦通する者、泥棒、強欲な者、酒におぼれる者、人を悪く言う者、人の物を奪う者〔、そのような者〕は、決して神の国を受け継ぐことができません。」<sup>1</sup>

**マタイによる福音書 7:19** 良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。

**コリントの信徒への手紙 6:9** 正しくない者が神の国を受け継げないことを、知らないのですか。思い違いをしてはいけません。

**ガラテヤの信徒への手紙 6:7,8** 思い違いをしてはいけません。神は、人から侮られることはありません。人は、自分の蒔いたものを、また刈り取ることになるのです。自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、霊に蒔く者は、霊から永遠の命を刈り取ります。

### 第 3 3 主日

**問 8 8** 人間の本当の悔い改め、回心は、いくつかの部分から成り立っているのですか。

**答** 二つの部分です。それは、古い人の死滅と<sup>2</sup>、新しい人の復活です。

**エフェソの信徒への手紙 4:22-24** だから、以前のような生き方をして情欲に迷わされ、滅びに向かって古くの人を脱ぎ捨て、心の底から新たにされて、神にかたどって造られた新しい人を身に着け、真理に基づいた正しく清い生活を送るようにしなければなりません。

**問 8 9** 古い人の死滅とは何ですか。

**答** 心から罪を悔い、時とともにますます、これを憎み、これを避けることです<sup>3</sup>。

**詩編 34:15** 悪を避け、善を行い 平和を尋ね求め、追い求めよ。

**イザヤ書 55:7** 神に逆らう者はその道を離れ 悪を行う者はそのたくらみを捨てよ。主に立ち帰るならば、主は憐れんでくださる。わたしたちの神に立ち帰るならば 豊かに赦してくださる。

**テモテへの手紙二 2:19** しかし、神が据えられた堅固な基礎は揺るぎません。そこには、「主は御自分の者たちを知っておられる」と、また、「主の名を呼ぶ者は皆、不義から身を引くべきである」と刻まれています。

---

1 コリントの信徒への手紙一 6:9, 10、エフェソの信徒への手紙 5:5 以下、ヨハネの手紙一 3:14

2 ローマの信徒への手紙 6:4-6、エフェソの信徒への手紙 4:22-24、コロサイの信徒への手紙 3:5-10、コリントの信徒への手紙一 5:7

3 ローマの信徒への手紙 8:13、ヨハネによる福音書 2:13

## 問 9 0 新しい人間の復活とは何ですか。

答 キリストを通して心から神様を喜び<sup>1</sup>、神様のみこころに従って、あらゆる良い行いに生きることを求めて、愛することです<sup>2</sup>。

詩編 73:28 わたしは、神に近くあることを幸いとし 主なる神に避けどころを置く。  
わたしは御業をことごとく語り伝えよう。

詩編 119:47 わたしはあなたの戒めを愛し それを楽しみとします。

イザヤ書 61:10 わたしは主によって喜び楽しみ わたしの魂はわたしの神にあって喜び躍る。  
主は救いの衣をわたしに着せ 恵みの晴れ着をまとうせてくださる。 花婿のように輝きの冠をかぶらせ 花嫁のように宝石で飾ってくださる。

## 問 9 1 いったい良い行いとはどんなものですか。

答 ただ、まことの信仰から<sup>3</sup>、神様のおきてに従って<sup>4</sup>、その栄光のためになされるものであって<sup>5</sup>、わたしたちの判断や、人の指図に基づくようなものではありません<sup>6</sup>。

申命記 12:32 あなたたちは、わたしが命じることをすべて忠実に守りなさい。これに何一つ加えたり、減らすことがあってはならない。

ミカ書 6:8 人よ、何が善であり 主が何をお前に求めておられるかは お前に告げられている。  
正義を行い、慈しみを愛し へりくだって神と共に歩むこと、これである。

マタイによる福音書 15:8,9 『この民は口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。人間の戒めを教えとして教え、むなしくわたしをあがめている。』

ローマの信徒への手紙 14:23 確信に基づいていないことは、すべて罪なのです。

---

1 ローマの信徒への手紙 5:1, 14:17、イザヤ書 57:15

2 ローマの信徒への手紙 6:10, 11、ガラテヤの信徒への手紙 2:20

3 ローマの信徒への手紙 14:23

4 サムエル記上 15:22、エフェソの信徒への手紙 2:10

5 コリントの信徒への手紙一 10:31

6 申命記 12:32、エゼキエル書 20:18, 19、イザヤ書 29:13、マタイによる福音書 15:9

## 問 9 2 主のおきてとは、どのような内容ですか。

答 神様はこれらすべての言葉を語られました。

第一戒 私は主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない<sup>1</sup>。

第二戒 あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

第三戒 あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはおかれぬ。

第四戒 安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。

第五戒 あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。

第六戒 殺してはならない。

第七戒 姦淫してはならない。

第八戒 盗んではならない。

第九戒 隣人に関して偽証してはならない。

第十戒 隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。」

---

1 出エジプト記 20:1 以下、申命記 5:6 以下



### 第 3 4 主日

**問 9 3 これらの戒めはどのように分けられていますか。**

**答** 二つの板に分けられています<sup>1</sup>。第一の板は、四つの戒めにより、わたしたちが神様に対してどのように振る舞えば良いかを教えます。第二の板は、六つの戒めにより、わたしたちが、隣人に対して、どんな義務があるかを教えるのです<sup>2</sup>。

**問 9 4 神様は、第一戒において、何を求めておられますか。**

**答** 神様は次のことを求めておられます。

わたしが、わたしの魂の救いと、喜びとを失うことがないように、あらゆる偶像崇拜<sup>3</sup>、魔術、迷信によって与えられるもの<sup>4</sup>、諸聖人や他の被造物の名前を呼ぶこと<sup>5</sup>を避けて、逃れるべきであること。

そして、むしろ、わたしが、ただひとりのまことの神様を正しく知り<sup>6</sup>、この神様のみを信頼し<sup>7</sup>、あらゆる謙遜<sup>8</sup>と忍耐<sup>9</sup>とをもって、この神様からのみ、すべての良い物を待ち望むこと<sup>10</sup>を求めておられます。

この神様のみを、わたしは、心から愛し<sup>11</sup>、おそれ<sup>12</sup>、あがめ<sup>13</sup>なければなりません。ですから、神様のみこころに、少しでも逆らうくらいなら、むしろ、わたしは、すべての被造物を捨て去るのです<sup>14</sup>。

**申命記 10:12** イスラエルよ。今、あなたの神、主があなたに求めておられることは何か。ただ、あなたの神、主を畏れてそのすべての道に従って歩み、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に仕え、

**詩編 73:23-26** あなたがわたしの右の手を取ってくださるので 常にわたしは御もとにとどまることができ。あなたは御計らいに従ってわたしを導き 後には栄光のうちにわたしを取られるであろう。地上であなたを愛していなければ 天で誰がわたしを助けてくれようか。わたしの肉もわたしの心も朽ちるであろうが 神はとこしえにわたしの心の岩 わたしに与えられた分。

---

1 出エジプト記 34:28、申命記 4:13, 10:3 以下

2 マタイによる福音書 22:37-39

3 コリントの信徒への手紙一 6:9 以下, 10:7,14

4 レビ記 19:31、申命記 18:10-12

5 マタイによる福音書 4:10、ヨハネの黙示録 19:10, 22:8,9

6 ヨハネによる福音書 17:3

7 エレミヤ書 17:5

8 ペトロの手紙一 5:5 以下

9 ヘブライ人への手紙 10:36、コロサイの信徒への手紙 1:11、ローマの信徒への手紙 5:3,4、コリントの信徒への手紙一 10:10、フィリピの信徒への手紙 2:14

10 詩編 104:27-30、イザヤ書 45:7、ヤコブの手紙 1:17

11 申命記 6:5、マタイによる福音書 22:37

12 申命記 6:2、詩編 111:10、箴言 1:7, 9:10、マタイによる福音書 10:28

13 マタイによる福音書 4:10、申命記 10:20 以下

14 マタイによる福音書 5:29 以下, 10:37、使徒言行録 5:29

**イザヤ書 42:8** わたしは主、これがわたしの名。 わたしは栄光をほかの神に渡さず わたしの栄誉を偶像に与えることはしない。

**マタイによる福音書 10:37** わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。 わたしよりも息子や娘を愛する者も、わたしにふさわしくない。

**使徒言行録 5:29** 人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません。

## **問 9 5 偶像崇拝とは何ですか。**

**答** 御言葉によって、御自分をあらわされた、ただひとりのまことの神様の代わりに、または、まことの神様の他に、人間が信頼をおくべきものとして、何か他の物を、考え出したり、持ったりすることです<sup>1</sup>。

**エレミヤ書 17:5,7** 主はこう言われる。 呪われよ、人間に信頼し、肉なる者を頼みとし その心が主を離れ去っている人は。 祝福されよ、主に信頼する人は。 主がその人のよりどころとなるらる。

**マタイによる福音書 6:24** だれも、二人の主人に仕えることはできない。 一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。 あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。

## **第 3 5 主日**

### **問 9 6 神様は、第二戒において、何を求めておられますか。**

**答** 神様は次のことを求めておられます。わたしたちが、どんな方法を用いても、神様を模写しないことを<sup>2</sup>、そして、また、神様が命じられた以外の方法では、神様を崇めないこと<sup>3</sup>を求めておられるのです。

**イザヤ書 40:18** お前たちは、神を誰に似せ どのような像に仕立てようというのか。

**使徒言行録 17:24** 世界とその中の万物とを造られた神が、その方です。この神は天地の主ですから、手で造った神殿などにはお住みになりません。また、何か足りないことでもあるかのように、人の手によって仕えてもらう必要もありません。すべての人に命と息と、その他すべてのものを与えてくださるのは、この神だからです。

---

1 エフェソの信徒への手紙 5:5、歴代史上 16:26、フィリピの信徒への手紙 3:19、ガラテヤの信徒への手紙 4:8、エフェソの信徒への手紙 2:12、ヨハネの手紙一 2:23、ヨハネの手紙二 9、ヨハネによる福音書 5:23

2 申命記 4:15-19、イザヤ書 40:18-25、ローマの信徒への手紙 1:23 以下、使徒言行録 17:29

3 サムエル記上 15:23、申命記 12:30-32、マタイによる福音書 15:9

**問 9 7** それでは人は、画像はどれ一つ、造ってはならないのですか。

**答** 神様は、どのような方法によっても、模写できないし、模写してはならないのです。

被造物は、模写しても、差し支えありません。

しかし、神様は、それらを崇めるためであったり、それによって、神様を礼拝するために、被造物の画像を造ったり、持つことは禁じておられます<sup>1</sup>。

**詩編 115:3-8** わたしたちの神は天にいまし 御旨のままにすべてを行われる。

国々の偶像は金銀にすぎず 人間の手が造ったもの。 口があっても話せず 目があっても見えない。 耳があっても聞こえず 鼻があってもかぐことができない。 手があってもつかめず 足があっても歩けず 喉があっても声を出せない。 偶像を造り、それに依り頼む者は 皆、偶像と同じようになる。

**使徒言行録 17:29** わたしたちは神の子孫なのですから、神である方を、人間の技や考えで造った金、銀、石などの像と同じものと考えてはなりません。

**問 9 8** しかし、画像は、信徒のための書物として、教会の中で許されて良いものではありませんか。

**答** いいえ、そうではありません。神様は、キリスト信徒が、ものを言わない偶像によってではなく<sup>2</sup>、生きている、神様の言葉の説教によって、教えられることを望んでおられるのです<sup>3</sup>。その神様よりも、わたしたちの方が賢いと思っはなりません。

**詩編 93:5** 主よ、あなたの定めは確かであり あなたの神殿に尊厳はふさわしい。日の続く限り。

**ハバクク書 2:18-20** 彫刻師の刻んだ彫像や鑄像 また、偽りを教える者が何の役に立つのか。口の利けない偶像を造り 造った者がそれに依り頼んでも 何の役に立つのか。 災いだ、木に向かって「目を覚ませ」と言い 物言わぬ石に向かって「起きよ」と言う者は。それが託宣を下しうるのか。 見よ、これは金と銀をかぶせたもので その中に命の息は全くない。しかし、主はその聖なる神殿におられる。 全地よ、御前に沈黙せよ。

**ペトロの手紙二 1:19** こうして、わたしたちには、預言の言葉はいっそう確かなものとなっています。夜が明け、明けの明星があなたがたの心の中に昇るときまで、暗い所に輝くともし火として、どうかこの預言の言葉に留意してください。

---

1 出エジプト記 23:24 以下、34:10 以下、民数記 33:52、申命記 7:5, 12:3, 16:22、列王記下 18:3,4

2 エレミヤ書 10:8、ハバクク書 2:18,19

3 ペトロの手紙二 1:19、テモテへの手紙二 3:16,17

### 第36主日

**問99 神様は、第三戒において、何を求めておられますか。**

**答** 神様は次のことを求めておられます。

わたしたちが、呪いや<sup>1</sup>偽りの誓い<sup>2</sup>によってだけではなく、不必要な誓い<sup>3</sup>によっても、

神様のお名前を、冒涇したり、乱用したりしないこと。

また、わたしたちが、沈黙や傍観によって、このようなおそろしい罪の共犯にならないこと。

要するに、わたしたちは、神様の聖なるお名前を、おそれと深い敬意をもってする他には、用いてはならないのです<sup>4</sup>。それは、神様が、わたしたちによって、正しく告白され<sup>5</sup>、呼ばれ<sup>6</sup>、わたしたちのすべての言葉とわざをつくして<sup>7</sup>、ほめたたえられるためなのです。

**レビ記 19:12** わたしの名を用いて偽り誓ってはならない。それによってあなたの神の名を汚してはならない。わたしは主である。

**エフェソの信徒への手紙 4:29** 悪い言葉を一切口にしてはなりません。ただ、聞く人に恵みが与えられるように、その人を造り上げるのに役立つ言葉を、必要に応じて語りなさい。

**問100 それでは、誓いと呪いによって、神様のお名前を冒涇することは、非常に大きな罪であるのですか。それは神様が、全力でこれに反対し、またはこれを禁じないものに対して、お怒りになるほどなのですか。**

**答** はい、もちろんです<sup>8</sup>。

神様のお名前を冒涇することほど、大きな罪、また神様が激しくお怒りになる罪はないのです。そのため、神様はまた、この罪を、死をもって罰するように、お命じになったのです<sup>9</sup>。

**レビ記 5:1** だれかが罪を犯すなら、すなわち、見たり、聞いたりした事実を証言しうるのに、呪いの声を聞きながらも、なおそれを告げずにいる者は、罰を負う。

---

1 レビ記 24:11-16

2 レビ記 19:12

3 マタイによる福音書 5:37、ヤコブの手紙 5:12

4 イザヤ書 45:23

5 マタイによる福音書 10:32

6 テモテへの手紙一 2:8

7 ローマの信徒への手紙 2:24、テモテへの手紙一 6:1、コロサイの信徒への手紙 3:16 以下

8 レビ記 5:1

9 レビ記 24:15,16

### 第 37 主日

**問 101** しかし、また、神様のみこころにかなうように、神様のお名前によって、誓いを誓うことができるのではないですか。

**答** はい、できます。

政府が国民に求める場合と、その他に、神様の栄光と隣人の救いのために、忠実と真実とをそれによって守り、促すため、誓いが、どうしても必要な場合です。

なぜなら、そのような誓いは、神様の言葉に基づいており<sup>1</sup>、ですから旧約においても、新約においても、聖なる信仰者たちによって正しく用いられて来たからです<sup>2</sup>。

**申命記 10:20** あなたの神、主を畏れ、主に仕え、主につき従ってその御名によって誓いなさい。

**マタイによる福音書 5:33-37** また、あなたがたも聞いているとおり、昔の人は、『偽りの誓いを立てるな。主に対して誓ったことは、必ず果たせ』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。一切誓いを立ててはならない。天にかけて誓ってはならない。そこは神の玉座である。地にかけて誓ってはならない。そこは神の足台である。エルサレムにかけて誓ってはならない。そこは大王の都である。また、あなたの頭にかけて誓ってはならない。髪の毛一本すら、あなたは白くも黒くもできないからである。あなたがたは、『然り、然り』『否、否』と言いなさい。それ以上のことは、悪い者から出るのである。

**問 102** 聖人や、その他の被造物によって、誓ってもよろしいでしょうか。

**答** いいえ、いけません。

なぜなら、正しい誓いにおいては、わたしが神様ご自身を、証人として呼び出すのです。

そうすることにより、唯一、わたしの心をご存知の神様は、真実を立証され、

もし、わたしが、偽って誓うときには、わたしを罰されるのです<sup>3</sup>。

このような栄誉はどんな被造物にも与えられておりません<sup>4</sup>。

**詩編 139:23** 神よ、わたしを究め わたしの心を知ってください。 わたしを試し、悩みを知ってください。

---

1 申命記 6:13, 10:20、イザヤ書 48:1、ヘブライ人への手紙 6:16

2 創世記 21:24, 31:53 以下、ヨシュア記 9:15, 19、サムエル記上 24:23、サムエル記下 3:35、列王記上 1:28-30、ローマの信徒への手紙 1:9、コリントの信徒への手紙二 1:23

3 コリントの信徒への手紙二 1:23

4 マタイによる福音書 5:34-36、ヤコブの手紙 5:12

## 第 38 主日

### 問 103 神様は、第四戒において何を求めておられますか。

答 神様は次のことを求めておられます。

まず第一に、説教の職務と信仰教育とが保ち続けられて<sup>1</sup>、わたしが、とりわけ休日においては、神の教会共同体へと熱心に集い<sup>2</sup>。

そこで神様の御言葉を学び<sup>3</sup>、聖礼典を守り<sup>4</sup>、公に主をお呼びして<sup>5</sup>、キリスト教信仰による施しをすること<sup>6</sup>。

第二に、わたしの生涯のすべての日において、わたしの悪い行いを休み、主が、そのみ霊によって、わたしたちの内に働いて下さるようにすること。

そうして、この生涯において、もう既に、永遠の安息日を始めることを、神様は求めておられるのです<sup>7</sup>。

詩編 26:8 主よ、あなたのいます家 あなたの栄光の宿るところをわたしは慕います。

マタイによる福音書 4:4 『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。

使徒言行録 20:35 あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。

コロサイの信徒への手紙 3:16 キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。

ヘブライ人への手紙 4:9 それで、安息日の休みが神の民に残されているのです。

ヘブライ人への手紙 10:25 ある人たちの習慣に倣って集会を怠ったりせず、むしろ励まし合いましょ。かの日が近づいているのをあなたがたは知っているのですから、ますます励まし合おうではありませんか。

---

1 テトスへの手紙 1:5、テモテへの手紙一 3 章、4:13、5:17、コリントの信徒への手紙一 9:11、13 以下、テモテへの手紙二 2:2、3:15

2 詩編 40:10 以下、68:27、使徒言行録 2:42、46

3 コリントの信徒への手紙一 14:19、29、31

4 コリントの信徒への手紙一 11:33

5 テモテへの手紙一 2:1-3、8 以下、コリントの信徒への手紙一 14:16

6 コリントの信徒への手紙一 16:2

7 イザヤ書 66:23

### 第 39 主日

#### 問 104 神様は第五戒において、何を求めておられますか。

答 わたしが、わたしの父や母、そして、わたしの上に立てられた、すべての者に対して、あらゆる榮譽、愛、忠実とを示すこと、

そして、すべての良い教えと罰とに、ふさわしい従順さをもって従い<sup>1</sup>、また彼らの欠けをも忍耐することを求めておられるのです<sup>2</sup>。

なぜなら、神様は、わたしたちを、彼らの手を通して支配することを望んでおられるからです<sup>3</sup>。

コロサイの信徒への手紙 3:20 子供たち、どんなことについても両親に従いなさい。それは主に喜ばれることです。

コロサイの信徒への手紙 3:22 奴隷たち、どんなことについても肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとしてうわべだけで仕えず、主を恐れつつ、真心を込めて従いなさい。

コロサイの信徒への手紙 4:1 主人たち、奴隷を正しく、公平に扱いなさい。知ってのとおり、あなたがたにも主人が天におられるのです。

### 第 40 主日

#### 問 105 神様は第六戒において、何を求めておられますか。

答 わたしが、わたしの隣人を、思いや言葉、態度、ましてや行いをもってでも、自分みずから、あるいは他の人を通して、ののしったり、憎んだり、侮辱したり、殺したりしないことです<sup>4</sup>。

また、わたしが、むしろ、すべての復讐心を捨てて<sup>5</sup>、わたし自身が自分を傷つけたり、無理に危険を冒したりしないことです<sup>6</sup>。

それゆえに、政府の役人は殺人を防ぐために剣を帯びているのです<sup>7</sup>。

創世記 9:6 人の血を流す者は 人によって自分の血を流される。人は神にかたどって造られたからだ。

マタイによる福音書 5:21 あなたがたも聞いているとおり、昔の人は『殺すな。人を殺した者は裁きを受ける』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける。兄弟に『ばか』と言う者は、最高法院に引き渡され、『愚か者』と言う者は、火の地獄に投げ込まれる。

1 エフェソの信徒への手紙 5:22, 6:1-4、コロサイの信徒への手紙 3:18, 20-24、箴言 1:8, 4:1, 15, 20, 20:20、出エジプト記 21:17、ローマの信徒への手紙 13:1 以下

2 箴言 23:22、創世記 9:24 以下、ペトロの手紙一 2:18

3 エフェソの信徒への手紙 6:4, 9、コロサイの信徒への手紙 3:19, 21、ローマの信徒への手紙 13:1 以下、マタイによる福音書 22:21

4 マタイによる福音書 5:21 以下, 26:52、創世記 9:6

5 エフェソの信徒への手紙 4:26、ローマの信徒への手紙 12:19、マタイによる福音書 5:25, 18:35

6 ローマの信徒への手紙 13:14、コロサイの信徒への手紙 2:23、シラ書 3:27、マタイによる福音書 4:7

7 創世記 9:6、出エジプト記 21:14、マタイによる福音書 26:52、ローマの信徒への手紙 13:4

**問 106** それでは、この戒めは、単に殺すことについてのみ語っているのではないのですか。

**答** 神様が、殺人を禁じることを通して教えようとされるのは、神様が、ねたみ<sup>1</sup>、憎しみ<sup>2</sup>、怒り<sup>3</sup>、復讐心のような、殺人の根をお憎みになるということです。

そして、これらすべてが、神様の前では、隠れた殺人であるということです<sup>4</sup>。

**箴言 14:30** 穏やかな心は肉体を生かし 激情は骨を腐らせる。

**ヤコブ書 1:19,20** わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義を実現しないからです。

**問 107** しかし、わたしたちが、わたしたちの隣人を、そう告げられたように殺さなければ、それによって、この戒めを既に十分に満たしていることになるのですか。

**答** いいえ、違います。

なぜなら神様は、これによってねたみ、憎しみ、怒りを呪っておられ、わたしたちが、隣人をわたしたち自身のように愛することを望んでおられるからです<sup>5</sup>。

隣人に対しては忍耐、平和、柔和<sup>6</sup>、憐れみ<sup>7</sup>、友情<sup>8</sup>を示し、その人の受ける害を力の限り防いで<sup>9</sup>、わたしたちの敵にもまた、良いことをなす事<sup>10</sup>を望んでおられるのです。

**レビ記 19:17** 心の中で兄弟を憎んではならない。同胞を率直に戒めなさい。そうすれば彼の罪を負うことはない。

**マタイによる福音書 5:43-45** あなたがたも聞いているとおおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。

---

1 ローマの信徒への手紙 1:29

2 ヨハネの手紙一 2:9, 11

3 ヤコブの手紙 2:13、ガラテヤの信徒への手紙 5:19-21

4 ヨハネの手紙一 3:15

5 マタイによる福音書 7:12, 22:39

6 エフェソの信徒への手紙 4:2、ガラテヤの信徒への手紙 6:1-2、マタイによる福音書 5:9、ローマの信徒への手紙 12:18

7 マタイによる福音書 5:7、ルカによる福音書 6:36

8 ローマの信徒への手紙 12:10, 15

9 出エジプト記 23:5

10 マタイによる福音書 5:44 以下、ローマの信徒への手紙 12:20, 21



## 第 4 1 主日

### 問 1 0 8 第七の戒めは何を求めていますか。

答 神様は、すべてのみだらなことを呪っておられます<sup>1</sup>。

それゆえ、わたしたちはこれを心から憎み<sup>2</sup>、  
聖なる結婚生活においても、それ以外の場合にも<sup>3</sup>、  
清く、また慎み深く生きなければならない<sup>4</sup>、ということです。

**コリントの信徒への手紙 6:19,20** 知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

**エフェソの信徒への手紙 5:1-4** あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。あなたがたの間では、聖なる者にふさわしく、みだらなことやいろいろの汚れたこと、あるいは貪欲なことを口にしてはなりません。卑わいな言葉や愚かな話、下品な冗談もふさわしいものではありません。それよりも、感謝を表しなさい。

### 問 1 0 9 神様はこの戒めにおいて、姦淫とそのような辱め以外は何も禁じておられないのですか。

答 いいえ、そんなことはありません。わたしたちの肉体も魂も、共に聖霊の宮なのですから、神様はわたしたちがこの両方を清く、聖なるものとして保つことを望んでおられます。

ですから、神様はすべてのみだらな行い、態度、言葉<sup>5</sup>、思い、欲望<sup>6</sup>、そして、人をそのようなものへと誘うもの<sup>7</sup>を禁じておられるのです。

**マタイによる福音書 5:27,28** あなたがたも聞いているとおり、『姦淫するな』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。みだらな思いで他人の妻を見る者はだれでも、既に心の中でその女を犯したのである。

**マタイによる福音書 19:6** 従って、神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない。

---

1 レビ記 18:27 以下

2 ユダの手紙 23

3 テサロニケの信徒への手紙一 4:3-5

4 ヘブライ人への手紙 13:4、コリントの信徒への手紙一 7:1 以下、25 以下

5 エフェソの信徒への手紙 5:3, 4、コリントの信徒への手紙一 6:18-20

6 マタイによる福音書 5:27-32

7 エフェソの信徒への手紙 5:18、コリントの信徒への手紙一 15:33

## 第 4 2 主日

**問 1 1 0 神様は第八戒において、何を禁じておられますか。**

**答** 神様は、ただ、政府が罰する盗み<sup>1</sup>や略奪<sup>2</sup>を禁じているだけではありません。

神様は、また、わたしたちが、それによって隣人の財産を自分のものにしようと企む、すべての悪い行為や計略をも盗みと呼ばれるのです。

つまり、暴力であろうと、合法であることを装う<sup>3</sup>、たとえば、不正な重り<sup>4</sup>、物差し、升<sup>5</sup>、粗悪な商品、偽造したお金、不当な利子<sup>6</sup>、あるいは、神様が禁じられた、いかなる手段によってでもです。

また、神様は、すべての食欲<sup>7</sup>、神様の賜物の無駄な浪費<sup>8</sup>をも禁じておられます。

**ルカによる福音書 16:10** ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である。

**テモテへの手紙一 6:6-10** もっとも、信心は、満ち足りることを知る者には、大きな利得の道です。なぜならば、わたしたちは、何も持たずに世に生まれ、世を去るときは何も持って行くことができないからです。食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです。金持ちになろうとする者は、誘惑、罫、無分別で有害なさまざまの欲望に陥ります。その欲望が、人を滅亡と破滅に陥れます。金銭の欲は、すべての悪の根です。

**問 1 1 1 ならば、神様はこの戒めにおいて、あなたに何を命じておられるのですか。**

**答** わたしが、わたしのできる限りにおいて、わたしの隣人の利益を助け、そして、隣人に対して、人がわたしにして欲しいと思うことをすることです<sup>9</sup>。また、わたしが、苦しみの中にいる困っている人を助けることができるようにと、誠実に働くことです<sup>10</sup>。

**マタイによる福音書 7:12** だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。

---

1 コリントの信徒への手紙一 6:10

2 コリントの信徒への手紙一 5:10

3 ルカによる福音書 3:14、テサロニケの信徒への手紙一 4:6

4 箴言 11:1, 16:11

5 エゼキエル書 45:9 以下、申命記 25:13 以下

6 詩編 15:5、ルカによる福音書 6:35

7 コリントの信徒への手紙一 6:10

8 箴言 5:16

9 マタイによる福音書 7:12

10 エフェソの信徒への手紙 4:28

**エフェソの信徒への手紙 4:28** 盗みを働いていた者は、今からは盗んではいけません。むしろ、労苦して自分の手で正当な収入を得、困っている人々に分け与えるようにしなさい。

**ヘブライ人への手紙 13:16** 善い行いと施しとを忘れないでください。このようないけにえこそ、神はお喜びになるのです。

## 第 4 3 主日

### 問 1 1 2 第九戒は何を求めていますか。

答 わたしが、誰に対しても、偽りの証言をすることなく<sup>1</sup>、誰に対しても、自分の言葉を曲げることなく<sup>2</sup>、陰口をすることなく、中傷しないことを求めているのです<sup>3</sup>。

わたしが、誰の言うことも聞き入れないで、軽はずみに罪に定めることを助けないこと<sup>4</sup>。

むしろ、すべての、嘘やごまかしを、悪魔のしわざとして<sup>5</sup>、神様の大きい怒りをおそれるがゆえに、避けること<sup>6</sup>。

法廷においても、また他の場所においても、わたしが、真理を愛し、正直に語り、告白し<sup>7</sup>、また、わたしの隣人の名誉と名声を、力の限り、救い、また増やすこと<sup>8</sup>を求めているのです。

**箴言 19:5** うそをつく証人は罰を免れることはない。欺きの発言をすれば逃げおおせることはない。

**マタイによる福音書 7:1,2** 人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。

**コリントの信徒への手紙 13:6** 不義を喜ばず、真実を喜ぶ。

**エフェソの信徒への手紙 4:25** だから、偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。わたしたちは、互いに体の一部なのです。

---

1 箴言 19:5, 9, 21:28

2 詩編 15:3

3 ローマの信徒への手紙 1:29-30

4 マタイによる福音書 7:1 以下、ルカによる福音書 6:37

5 ヨハネによる福音書 8:44

6 箴言 12:22, 13:5

7 コリントの信徒への手紙一 13:6、エフェソの信徒への手紙 4:25

8 ペトロの手紙一 4:8

## 第 4 4 主日

### 問 1 1 3 第十戒は何を求めていますか。

答 神様のどんな戒めにもそむく、最も小さな欲望や、また、思いさえも、わたしたちの心に決して生じることなく、

わたしたちが、いつも、心から、あらゆる罪の敵となり、あらゆる正義を好むようになることを求めているのです<sup>1</sup>。

**詩編 1:1,2** いかにかに幸いなことか 神に逆らう者の計らいに従って歩まず 罪ある者の道にとどまらず 傲慢な者と共に座らず 主の教えを愛し その教えを昼も夜も口ずさむ人。

**ヤコブの手紙 1:13-15** 誘惑に遭うとき、だれも、「神に誘惑されている」と言うてはなりません。神は、悪の誘惑を受けるような方ではなく、また、御自分でも人を誘惑したりなさらないからです。むしろ、人はそれぞれ、自分自身の欲望に引かれ、唆されて、誘惑に陥るのです。そして、欲望ははらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。

### 問 1 1 4 神様に回心した人たちは、これらの戒めを完全に守る事ができますか。

答 いいえ、できません。

最も敬虔な人たちでさえ、この世に生きているかぎりには、ただ、ほんのわずかな服従のスタートをしたに過ぎません<sup>2</sup>。

しかし、彼らも断固たる決意をもって、いくつかの戒めばかりではなく、神様のすべての戒めに従って生きることを始めるのです<sup>3</sup>。

**ローマの信徒への手紙 7:14** わたしたちは、律法が靈的なものであると知っています。しかし、わたしは肉の人であり、罪に売り渡されています。わたしは、自分のしていることが分かりません。自分が望むことは実行せず、かえって憎んでいることをするからです。もし、望まないことを行っているとすれば、律法を善いものとして認めているわけになります。そして、そういうことを行っているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。

**フィリピの信徒への手紙 3:12** わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。

**ヨハネの手紙一 1:8** 自分に罪がないと言うなら、自らを欺いており、真理はわたしたちの内にはありません。

---

1 ローマの信徒への手紙 7:7

2 ヨハネの手紙一 1:8-10、ローマの信徒への手紙 7:14 以下、コヘレトの言葉 7:20

3 ローマの信徒への手紙 7:22、ヤコブの手紙 2:10

**問 1 1 5** それでは、わたしたちに対して、なぜ神様は十戒を厳しく説教させるのですか。これらの戒めをだれもその人生において守ることができないのに。

**答** 第一に、わたしたちは、わたしたちの全生涯の間、わたしたちの罪深い性質を、時とともにますます多く認めて<sup>1</sup>、それだけますます熱心に、キリストにおける罪の赦しと義とを求めるようになるためです<sup>2</sup>。

次に、わたしたちがたゆまず努力して、神様に聖霊の恵みを求めるようになるためです。つまり、わたしたちが時とともにますます、神様の似姿にむかって新しいものとされて、ついには、この人生ののちに、完成の目標に到達するのです<sup>3</sup>。

**ローマの信徒への手紙 8:2** キリスト・イエスによって命をもたらす霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。

**コリントの信徒への手紙一 9:24** あなたがたは知らないのですか。競技場で走る者は皆走るけれども、賞を受けるのは一人だけです。あなたがたも賞を得るように走りなさい。

**ヨハネの手紙一 1:9** 自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。

---

1 ヨハネの手紙一 1:9、詩編 32:5

2 ローマの信徒への手紙 7:24, 25

3 コリントの信徒への手紙一 9:24、フィリピの信徒への手紙 3:11-14

## 祈りについて

### 第45主日

**問 116 なぜ、キリスト者には祈りが必要なのですか。**

**答** 祈りは、神様がわたしたちにお求めになる感謝の、もっとも大切なものであるからです<sup>1</sup>。

神様は、その恵みと聖霊とを、心からのうめきをもって、絶えず、これを神様に願い求め、またこれを神様に感謝する者にのみ、お与えになるのです<sup>2</sup>。

**マタイによる福音書 7:7,8** 求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

**ルカによる福音書 11:13** このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。

**テサロニケの信徒への手紙一 5:17,18** 絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

**ヤコブの手紙 5:16** だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします。

---

1 詩編 50:14, 15

2 マタイによる福音書 7:7 以下、ルカによる福音書 11:9 以下、13、マタイによる福音書 13:12

**問 117 神様のみこころにかない、聞き入れられる祈りには、何が必要ですか。**

**答** そのような祈りには、次のことが必要です。

第一に、わたしたちが、わたしたちに、み言葉において、みずからを、おあらしになられた、まことの神様のみに<sup>1</sup>、  
神様が、わたしたちに求めなさいと、お命じになったすべてのものを<sup>2</sup>、心から呼びもとめることです<sup>3</sup>。

第二に、わたしたちが、わたしたちの苦しみとみじめさを、まことに根本的に認識して<sup>4</sup>、  
わたしたちを、神様の尊厳の前に、へりくだらせることです<sup>5</sup>。

第三に、わたしたちが、神様が、わたしたちの祈りを、わたしたちが、ふさわしくない者であるにもかかわらず、主がわたしたちに、そのみ言葉においてお約束になったように<sup>6</sup>、主キリストのゆえに、確かに聞き届けてくださるということ<sup>7</sup>を、堅く信じることです<sup>8</sup>。

**詩編 19:15** どうか、わたしの口の言葉が御旨にかない 心の思いが御前に置かれますように。  
主よ、わたしの岩、わたしの贖い主よ。

**詩編 34:19** 主は打ち砕かれた心に近くいまし 悔いる霊を救ってくださる。

**ヨハネの手紙一 5:14** 何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。

**ヤコブの手紙 1:6-8** いささかも疑わず、信仰をもって願いなさい。疑う者は、風に吹かれて揺れ動く海の波に似ています。そういう人は、主から何かいただけると思っではなりません。心が定まらず、生き方全体に安定を欠く人です。

---

1 ヨハネによる福音書 4:22-24

2 ローマの信徒への手紙 8:26、ヨハネの手紙一 5:14

3 ヨハネによる福音書 4:23 以下

4 歴代史下 20:12

5 詩編 2:11, 34:19、イザヤ書 66:2

6 マタイによる福音書 7:8、詩編 143:1

7 ヨハネによる福音書 14:13-14、ダニエル書 9:17-18

8 ローマの信徒への手紙 10:14、ヤコブの手紙 1:6

**問 1 1 8 神様はわたしたちに、神様に何を願い求めることを、命じておられますか。**

**答** わたしたちが、わたしたちの霊的な、また肉的な生活に必要な、すべてのものです<sup>1</sup>。

それは、主キリストご自身が、わたしたちに教えてくださった、祈りの中におまとめになりました。

**フィリピの信徒への手紙 4:6** どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。

**ヤコブの手紙 1:17** 良い贈り物、完全な賜物はみな、上から、光の源である御父から来るのです。御父には、移り変わりも、天体の動きにつれて生ずる陰もありません。

**問 1 1 9 その祈りは、どのような内容ですか。**

**答** 天にいらっしゃいます、わたしたちの父よ<sup>2</sup>、あなたの御名が、聖なるものとして崇められますように、あなたの御国が来ますように、あなたの御心が行われますように、天においてと同じように、地の上でも。わたしたちの日々のパンを、今日、わたしたちにお与えください。わたしたちの負い目をお赦してください、わたしたちがわたしたちに負い目のある人をゆるしますように。わたしたちを試みに導かないで、悪より救い出してください。み国と、力と、栄えとは、永遠にあなたのものだからです。  
アーメン

## 第 4 6 主日

**問 1 2 0 なぜ、キリストはわたしたちに、神様を「わたしたちの父」と呼びかけるように、命じられたのですか。**

**答** キリストは、わたしたちの祈りの、すぐはじめから、わたしたちの、子供としての恐れと信頼とを、神様に対して呼び起こそうとされるのです。そして、それは、わたしたちの祈りの基となります。つまり、神様は、まさにキリストによって、わたしたちの父とされたからです。

そして、わたしたちが信仰において神様に求めることを、決してお拒みにはなりません。それは、わたしたちの父たちが、わたしたちに、この世のものを拒まないのに、はるかにまさっているのです<sup>3</sup>。

---

1 ヤコブの手紙 1:17、マタイによる福音書 6:33

2 マタイによる福音書 6:9 以下、ルカによる福音書 11:2 以下

3 マタイによる福音書 7:9-11、ルカによる福音書 11:11-13



**イザヤ書 63:16** あなたはわたしたちの父です。 アブラハムがわたしたちを見知らず イスラエルがわたしたちを認めなくても 主よ、あなたはわたしたちの父です。 「わたしたちの贖い主」これは永遠の昔からあなたの御名です。

**ガラテヤ書 4:6** あなたがたが子であることは、神が、「アッバ、父よ」と叫ぶ御子の霊を、わたしたちの心に送ってくださった事実から分かります。

**エフェソの信徒への手紙 3:14-17** こういうわけで、わたしは御父の前にひざまずいて祈ります。御父から、天と地にあるすべての家族がその名を与えられています。どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるよう。

**ヨハネの手紙一 3:1** 御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。世がわたしたちを知らないのは、御父を知らなかったからです。

**問 1 2 1 なぜ、「天にいらっしゃいます」と付け加えるのですか。**

**答** わたしたちが、天にいらっしゃいます、神様の尊厳について、この地上においてのように考えないようになるためです<sup>1</sup>。

また、神様の全能に対して、わたしたちが、肉と霊のために必要な、すべてのものを、期待するようになるためです<sup>2</sup>。

**詩編 139:7-10** どこに行けば あなたの霊から離れることができよう。 どこに逃れれば、御顔を避けることができよう。 天に登ろうとも、あなたはそこにいまし 陰府に身を横たえようとも 見よ、あなたはそこにいます。 曙の翼を駆って海のかなたに行き着こうとも あなたはそこにもいまし御手をもってわたしを導き 右の御手をもってわたしをとらえてくださる。

**エレミヤ書 23:23-24** わたしはただ近くにいる神なのか、と主は言われる。 わたしは遠くからの神ではないのか。 誰かが隠れ場に身を隠したなら わたしは彼を見つけられないと言うのかと主は言われる。 天をも地をも、わたしは満たしているではないかと 主は言われる。

---

1 エレミヤ書 23:23 以下、使徒言行録 17:24,25,27

2 ローマの信徒への手紙 10:12

## 第 4 7 主日

### 問 1 2 2 第一の求めは何ですか。

答 「あなたの御名が、聖なるものとして崇められますように」です。  
それによって、わたしたちは、次のことを祈ります。

わたしたちが、あなたを正しく知ることができますように<sup>1</sup>。

あなたの全能と、知恵と、慈しみと、義と、憐れみと、そして真理とが光り輝いている、あなたのすべての、み業において、あなたを、聖なるものとして崇め、ほめたたえ、讚美させてください<sup>2</sup>、ということです。

次にまた、わたしたちの全生活、思想、言葉、そしてわざとを、あなたのお名前が、わたしたちのために悪く言われるのではなく、敬われ、ほめたたえられるように、向けてください、ということです<sup>3</sup>。

**詩編 138:2** 聖なる神殿に向かってひれ伏し あなたの慈しみとまことのゆえに 御名に感謝をささげます。その御名のすべてにまさって あなたは仰せを大いなるものとされました。

**マタイによる福音書 5:16** そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。

**ヨハネによる福音書 17:3** 永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。

## 第 4 8 主日

### 問 1 2 3 第二の求めは何ですか。

答 「あなたの御国が来ますように」です。

それによって、わたしたちは次のことを祈ります。

あなたの御言葉と、あなたの霊とによって、わたしたちを、支配して、わたしたちが、時とともに、ますます、あなたに従う者となりますように<sup>4</sup>。

あなたの教会を保ち、そして増やして<sup>5</sup>、悪魔のわざと、あなたに逆らって起こる、すべての力とを砕いてください。

あなたの聖なる御言葉に逆らって考え出された、すべての悪いはかりごとを、打ち砕いてください<sup>6</sup>。

そして、あなたが、すべてにおいて、すべてとなられる<sup>7</sup>、

あなたの御国の完成を来たらせてください<sup>8</sup>、ということです。

1 ヨハネによる福音書 17:3、マタイによる福音書 16:17。ヤコブの手紙 1:5、詩編 119:105

2 詩編 119:137、ローマの信徒への手紙 11:33-36

3 詩編 71:8, 115:1

4 マタイによる福音書 6:33、詩編 119:5, 143:10

5 詩編 51:20, 122:6-9

6 ヨハネの手紙一 3:8、ローマの信徒への手紙 16:20

7 コリントの信徒への手紙一 15:28

8 ヨハネの黙示録 22:17, 20、ローマの信徒への手紙 8:22 以下

**マタイによる福音書 6:33** 何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

**マタイによる福音書 9:37,38** 収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるよう、収穫の主に願いなさい。

**マルコによる福音書 1:15** 時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい

**ペテロの手紙二 3:13** しかしわたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです。

## 第 4 9 主日

### 問 1 2 4 第三の求めは何ですか。

答 「あなたの御心が行われますように、天においてと同じように、地の上でも」です。

それによって、わたしたちは次のことを祈ります。

わたしたちと、すべての人間とが、自分たち自身の意志を取り下げて<sup>1</sup>、あなたのただひとつの良き御意志に、いかなる反論もしないで従い<sup>2</sup>、皆がおのおのの役目と職務とを、天の御使いのように<sup>3</sup>、進んで、また誠実に、果たすものとならせてください<sup>4</sup>、ということです。

**詩編 103:20** 御使いたちよ、主をたたえよ 主の語られる声を聞き 御言葉を成し遂げるものよ 力ある勇士たちよ。

**マタイによる福音書 16:24** わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。

**ローマの信徒への手紙 12:2** あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしておいて、自分が何を神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。

---

1 マタイによる福音書 16:24、テトスへの手紙 2:12

2 ルカによる福音書 22:42

3 詩編 103:20 以下

4 コリントの信徒への手紙一 7:24

## 第50主日

### 問125 第四の求めは何ですか。

答 「わたしたちの日々のパンを、今日、わたしたちにお与えください。」  
です。

それによって、わたしたちは次のことを祈ります。

からだと命とに必要なすべてのものを、わたしたちにお与えください<sup>1</sup>。

それによって、あなただけが、すべての良いものの源であり<sup>2</sup>、  
あなたの祝福なしには、わたしたちの心配も、労働も、あなたの賜物さ  
えも、わたしたちには何の役にも立たない事を<sup>3</sup>、知るように教えてく  
ださい。

ですから、わたしたちの信頼を、すべての被造物に向けることなく、  
ただあなただけに、置くようにしてください<sup>4</sup>、ということです。

**詩編 127:1-3** 主御自身が建ててくださるのでなければ 家を建てる人の労苦はむなしい。主御自  
身が守ってくださるのでなければ 町を守る人が目覚めているのもむなしい。 朝早く起き、夜  
おそく休み焦慮してパンを食べる人よ それは、むなしいことではないか 主は愛する者に眠り  
をお与えになるのだから。 見よ、子らは主からいただく嗣業。 胎の実りは報い。

**マタイによる福音書 6:34** だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩  
む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。

**コリントの信徒への手紙一 10:31** だから、あなたがたは食べるにしろ飲むにしろ、何をするにし  
ても、すべて神の栄光を現すためにしなさい。

## 第51主日

### 問126 第五の求めは何ですか。

答 「わたしたちの負い目をお赦してください、わたしたちがわたしたち  
に負い目のある人をゆるしますように。」です。

これによって、わたしたちは次のことを祈ります。

あわれな罪人である、わたしたちに、わたしたちの悪い行いすべての責  
任と、また、今もなお、わたしたちにいつもつきまとう、悪の責任とを、  
キリストの血のゆえに、負わせないでください<sup>5</sup>。

わたしたちも、あなたの恵みの証しを、わたしたちの内に見い出し、  
わたしたちの隣人を、心からゆるそうと、かたく決心していますから<sup>6</sup>、  
ということです。

---

1 詩編 104:27 以下, 145:15, 16、マタイによる福音書 6:25 以下

2 使徒言行録 14:17, 17:27 以下

3 コリントの信徒への手紙一 15:58、申命記 8:3、詩編 37:3-7, 16, 17

4 詩編 55:23, 62:11

5 詩編 51:1-7, 143:2、ヨハネの手紙一 2:1, 2

6 マタイによる福音書 6:14, 15

**詩編 19:13** 知らずに犯した過ち、隠れた罪から どうかわたしを清めてください。

マタイによる福音書 6:14,15 もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。

エフェソの信徒への手紙 4:32 互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

## 第 5 2 主日

### 問 1 2 7 第六の求めは何ですか。

答 「わたしたちを試みに導かないで、悪より救い出してください。」です。

これによって、わたしたちは次のことを祈ります。

わたしたちは、わたしたち自身では大変弱く、ひとときも、持ちこたえることができません<sup>1</sup>。

それに加えて、わたしたちの明らかなる敵である、悪魔と<sup>2</sup>、この世と<sup>3</sup>、わたしたち自身の肉とは<sup>4</sup>、わたしたちを誘惑することをやめません。

ですから、あなたの聖霊の力によって、わたしたちを守り、強くしてください。

わたしたちが、最後に、この戦いの勝利を完全に手に入れるまで<sup>5</sup>、わたしたちが、それらに対し、断固として抵抗し、この霊的な戦いに負けることがありませんように<sup>6</sup>、ということです。

マタイによる福音書 26:41 誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。

コリントの信徒への手紙一 10:13 神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

ペトロの手紙一 5:8 身を慎んで目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。

---

1 ヨハネによる福音書 15:5、詩編 103:14

2 ペトロの手紙一 5:8、エフェソの信徒への手紙 6:12

3 ヨハネによる福音書 15:19

4 ローマの信徒への手紙 7:23、ガラテヤの信徒への手紙 5:17

5 テサロニケの信徒への手紙一 3:13, 5:23

6 マタイによる福音書 26:41、マルコによる福音書 13:33

## 問 1 2 8 あなたは、この祈りをどのように結びますか。

答 「み国と、力と、栄えとは、永遠にあなたのものだからです。」  
これによって、わたしたちは次のことを祈ります。

これら全てのことを、わたしたちがあなたに求めるのは、あなたが、わたしたちの王として、また、すべてのものに力ある方として、わたしたちに、すべての良いものを与えようとなさり、また、それがお出来になるからです<sup>1</sup>。

そして、それによって、わたしたちではなく、あなたの聖なる御名が、永遠にほめたたえられますように<sup>2</sup>、ということです。

**列王紀上 29:11** 偉大さ、力、光輝、威光、栄光は、主よ、あなたのもの。まことに天と地にあるすべてのものはあなたのもの。主よ、国もあなたのもの。あなたはすべてのものの上に頭として高く立っておられる。

**詩編 115:1-3** わたしたちではなく、主よ わたしたちではなく あなたの御名こそ、栄え輝きますように あなたの慈しみとまことによって。なぜ国々は言うのか「彼らの神はどこにいる」と。わたしたちの神は天にいまし 御旨のままにすべてを行われる。

**イザヤ書 33:22** まことに、主は我らを正しく裁かれる方。主は我らに法を与えられる方。主は我らの王となって、我らを救われる。

**エフェソの信徒への手紙 3:20-21** わたしたちの内に働く御力によって、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくありますように、アーメン。

## 問 1 2 9 「アーメン」という小さな言葉は、どういう意味ですか。

答 アーメンとは、これは真実であり、確かであるに違いない、という意味です。

なぜなら、わたしの祈りは、わたしが、心の内に、これらすべてを、神様に切に望んでいると、感じるよりも、はるかに確かに、神様によって聞き入れられているからです<sup>3</sup>。

**イザヤ書 65:24** 彼らが呼びかけるより先に、わたしは答え まだ語りかけている間に、聞き届ける。

**ローマの信徒への手紙 8:26** 同様に、”霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、”霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。

**コリントの信徒への手紙二 1:20** 神の約束は、ことごとくこの方において「然り」となったからです。それで、わたしたちは神をたたえるため、この方を通して「アーメン」と唱えます。

---

1 ローマの信徒への手紙 10:11, 12、ペトロの手紙二 2:9

2 ヨハネによる福音書 14:13、詩編 115:1

3 コリントの信徒への手紙二 1:20、テモテへの手紙二 2:13

## 用語索引（数字は問答の番号）

### あ

愛 Liebe 28,90,104  
愛する eingeliebt 19  
愛する lieben 4,6,94,107,112  
証し、証言 Zeugnis 84,102,112,126  
贖う erkaufen 34,86  
あがめる、敬う ehren 92,94,122  
あがめる verehren 96,97  
明らかな abgesagt 127  
（断固たる、公然の 97 年  
版では erklärt。（竹森：  
恐ろしい）  
悪 der, das Böse 8,60,126,127  
悪徳 Laster 85  
悪 Teufel 1,9,32,34,112,123,127  
挙げられた aufgerichtet 52  
あずかった、関わった teilhaftig  
32,77,99,107,109,110,115,117,  
120,124,125,126,127  
あずからせる、取り分とさせる  
teilhaftig machen 45,53,65,99  
あずかる teilhaftig werden 79  
与えられる zukommen 27  
与える geben 53,66,75,102,103,  
112,116,122,125,128  
与える、贈る schenken 18,21,56,60,66  
与える verleihen 124  
頭 Haupt 1,49,50,51,52,57  
アダム Adam 7,20  
新しい neu 45  
新しい人間 der neue Mensch 88,90  
新しく生まれる wiedergeboren 8  
新しくする erneuern 70,86,115  
集める versammeln 54  
あなた du,deiner (dein),dir,dich  
2,3,4,5,26,32,36,52,53,54,56,  
57,58,59,60,69,75,122,123,125,  
127,128  
あなたがた ihr, euch 77  
あなたの dein,deine,dein  
1,3,4,122,123,124,125,126,128  
油を注ぐ salben 31  
油注がれた者 Gesalbte, der 31

油注ぎ、注がれた油 Salbung 32  
雨 Regen 27  
アーメン amen 129 アーメン  
（問 1 2 9 「アーメン」と  
は…どういう意味ですか）  
洗い Abwaschung 71,72,73,78  
洗う waschen 69,70,71,73  
（わが身を）表す darstellen 32,52  
ある liegen 39,84,127  
誤り Irrtum 85  
あり得ない unmöglich 64  
あるいは entweder oder 12,30  
あるいは oder 30,34,62,78,79,  
85,88,91,95,97,99,101,102,  
105,108,110,113  
あわれな arm 126  
憐れみ深い barmherzig 11  
憐れみ Barmherzigkeit 107,122  
安息日 Sabbat 103

### い

言い表すことの出来ない  
unaussprechlich 44  
いいえ nein  
5,6,9,20,30,64,72,78,82,98,  
102,107,114,  
言う、話す sprechen 10,26,77  
言う、告げる sagen  
61,87,107,112  
イエス・キリスト Jesus Christus  
1,18,26,60,67,72,79,80  
怒り Zorn 14,17,37,82,84,106,107  
怒る erzürnen 100  
怒る zürnen 10,100  
生きている lebendig 32,54,98  
生き（てい）る者  
Lebendigen, die 46,52,80  
生きる leben 1,2,6,76,90,108,114  
行く hingehen 10,71  
いくつかの etliche 114  
いくつの wieviel 2,68,88  
板 Tafel 93  
慈しみ Güte 122

一生の間、わたし（たち）の全  
生涯の間 mein, unser Leben lang  
56,115  
いっそう、ますます desto 66,115  
いつも für und für 113  
いつも、いつまでも、永久に  
immerdar 31,60,126  
偽りの falsch 99,102,112  
祈り Gebet 116,117,118,120,128,129  
戒め、掟 Gebot 4,60,93,94,96,  
99,103,104,105,106,108,109,  
110,111,112,113,114,115  
戒め Vermahnung 85  
戒める vermahnen 85  
未だ…ない、決して…ない nie 58,60  
今働いている gegenwärtig 27,48  
意味する bedeuten 129  
入り口 Eingang 42

### う

植えつける einpflanzen 64  
上に droben 49  
上に立てられた vorgesetzt 104  
受け継ぐ erben 87  
受けてしかるべきである verdienen  
12,63  
受け取る bekommen 28,36,43,76  
動く bewegen 28  
失うこと Verlierung 94  
嘘 Lügen, das 112  
疑う zweifeln 26  
疑うことのない ungezweifelt 22  
打ち勝つ ueberwinden 45  
促す fördern 101,111,112  
奪う berauben 9  
生まれた geboren 7,35  
生まれつきの angeboren 10  
生まれつき von Natur 5  
うめき Seufzen 116  
裏切る verraten 77

## え

永遠 Ewigkeit 32,53,128  
永遠に ewiglich 58  
永遠の ewig 6,10,11,12,14,21,  
25,26,31,33,35,37,52,53,  
54,58,76,84,103,128  
永遠の生命 ewiges Leben  
1,37,42,54,58,59,66,75,76,79  
栄光 Ehre 91,101,102,104,112  
栄光 Herrlichkeit 51,52,128  
栄光の herrlich 57  
エバ Eva 7  
選ぶ auserwählt 54  
選ばれた者たち  
Auserwählten, die 52  
得る erwerben 17,31,37,45

## お

負い目のある人 Schuldiger 126  
王 König 31,128  
多い viel 77,129  
覆う bedecken 36,81  
大きい groß 2,4,13,73,79,100  
大きい、重い schwer 100,112  
公に öffentlich 84,103  
犯す verschulden 14  
お金、硬貨 Münze 110  
置く setzen 95,125  
送る herabsenden 49  
送る zuschicken 26  
行い Tat 30,105,109  
行い Werk 62,63,86,90,91,99,103,  
112,122,123  
行う、(悪事を)犯す begehen 11,60  
行う handeln 111  
行われる、起きる、生じる geschehen  
12,63,67,74,91,124  
起こる erheben 123  
幼い、若い jung 74  
教え Lehre 64,85,104  
教える lehren 4,22,67,71,73,79,  
80,93,106,118  
教える unterweisen 98  
乙女 Jungfrau 35

おそれ Furcht 99,120  
おそれる fürchten 94  
落ちる fallen 1  
大人たち die Alten 74  
同じ、等しい gleich 4,27,35,53,120  
同じ形の gleichförmig 57,62  
同じようにして  
desselbengleichen, desselbigengleichen  
77  
思い Gedanke 105,109,113,122  
思い、心情 Gemüt 4  
思い起こす erinnern 69,75  
重荷 Last 14,17  
赴く、(in Gefahrと) 危険を冒す  
begeben 105  
重り Gewicht 110  
終わり、最期 Ende 37,47,54

## か

害 Schaden 107  
戒規 Busszucht 83,85  
回心する bekehren 84,87,114  
回心 Bekehrung 88  
改善、改心 Besserung 82,85  
解放する erledigen 38  
外面的な äußerlich 69,72  
変える wenden 26  
顔、前 Angesicht 36, 49, 117  
鍵 Schlüssel 82,83  
…かぎり so lange 84,114  
限り soviel 100,107  
かぎりは solange 84,114  
書く schreiben 10  
確信させる versichern 1,44,69,73,  
75,79  
隠れた heimlich 31,106  
欠け Gebrechen 104  
陰口をする者 Afterredner 112  
賢い weise 98  
箇条 Artikel 22,24,58  
画像 Bild 98  
画像 Bildnis 97  
堅く fest 117,127  
形、姿 Gestalt 80  
語る reden 73,79,92,106

価値があること Würdigkeit 61  
かつて je 58,60  
割礼 Beschneidung 74  
…か…のどちらか entweder oder  
12,30  
彼女の sie,ihrer,ihr,sie (A) 48  
神 Gott 2,3,4,5,6,8,9,10,11,12,14,  
15,16,17,18,19,21,24,25,26,  
27,28,29,31,33,35,36,37,38,  
39,40,47,49,50,52,53,54,56,  
58,59,60,61,62,63,66,70,73,  
74,82,84,85,86,87,90,91,92,  
93,94,95,96,97,98,99,100,  
101,102,103,104,105,106,  
107,108,109,110,111,113,  
114,115,116,117,118,120,  
121,129  
神なき者 Gottlose, der 82  
神の göttlich 4,25,62,73,78  
髪の毛 Haar 1  
神の怒り Gotteszorn 112  
神の性質、神であること  
Gottheit 17,47,48  
神の御心にかなう gottselig  
70,86,101  
からだ Leib 1,11,26,31,34,37,  
57,69,73,75,76,77,  
78,79,80,109,121  
からだの leiblich 73,75,79,80,125  
軽はずみに leichtlich 112  
彼 er,seiner (sein) ,ihm,ihn  
1,6,9,30,32,34,43,45,49,94,  
106,116,117,129  
彼の sein,seine,sein  
1,6,12,17,19,20,21,26,27,28,  
31,32,34,35,36,37,43,44,45,  
47,49,50,51,52,53,54,55,65,  
69,70,71,74,75,76,77,79,80,  
82,86,94,95,96,103,116,117,  
121  
彼のゆえに um seinetwillen 33  
彼ら sie,ihrer,ihnen,sie 74,127  
代わりをする vertreten 31  
代わりに anstatt, an Statt 74,95  
姦淫 Ehebruch 109



考え出す dichten 95  
考え出す erdenken 123  
考える denken 121  
考える gedenken 56,110,121  
感謝 Dankbarkeit 64,116  
感謝、賛美（新共同訳）  
Danksagung 43,77  
感謝をしない undankbar 87  
感謝を述べる、賛美する（新共同訳）  
danksagen 77  
感謝して dankbar 2,28,86  
感謝する danken 77,116  
感謝の献げ物 Dankopfer 32  
感じる empfinden 58  
感じる fuehlen 129  
完成 Vollkommenheit 115,123  
完全な vollkommen  
12,18,30,36,58,60,62,80  
完全に vollkœmmlich  
1,5,31,114,127  
姦通する者 Ehebrecher 87

## き

聞き入れない unverhœrt 112  
聞き入れられる erhœren 117,129  
危険 Gefahr 105  
聞く hœren 58  
儀式 Zeremonie 19  
傷つける beschœdigen 105  
帰する、せいにする  
zurechnen 60,126  
犠牲 Opfer  
19,31,43,66,67,69,70,75,80  
犠牲として捧げる opfern 75,80  
偽善者 Heuchler 81,84  
基礎、根拠 Grund 67,117,120  
規則 Ordnung 82  
来たらせる herzukommen 123  
来るべき世 zukœnftiges Leben 63,84  
記念、記憶 Gedœchtnis 75,77,79  
木の葉 Laub 27  
厳しい streng 38  
休日 Feiertag 103  
旧約 das Alte Testament 74, 101

清い sauber 109  
今日 heute 125  
教皇の pœpstlich 80  
気に入らない missfallen 81  
厳しく scharf 115  
教会共同体、群れ Gemeinde  
54,74,82,85,103  
教師 Lehrer 31  
兄弟 Bruder 35  
兄弟として brœderlich 85  
教会 Kirche 50,54,74,82,85,98,123  
恐怖 Schrecken 44  
清く keusch 108  
聖、清さ Heiligkeit 6,36,60,61  
清める reinigen 72  
キリスト Christus  
4,20,21,26,31,32,33,36,40,42,  
43,44,45,46,47,48,49,50,51,52,  
53,55,56,57,59,60,61,64,65,66,  
67,68,69,70,71,73,74,75,76,77,  
78,79,80,81,82,84,85,86,90,  
115,117,118,120,126

キリスト者 Christ 22,32,116  
キリスト信徒 Christenheit 98  
キリストの、キリスト信仰の、  
キリスト教会の教えに従う  
christlich  
22,50,54,74,82,83,85,103  
切り離す scheiden 28  
切り離す trennen 48  
金 Gold 34  
銀 Silber 34  
禁じる verbieten 97,100,109,110

## く

悔い改め Busse 88  
悔い改めない unbussfertig 81,87  
偶然でなく von ungefœhr 27  
偶像 Gœtze 98  
偶像を礼拝する者  
Abgœttische, der 87  
偶像崇拜 Abgœttereie 80,94,95  
（問 95「偶像崇拜とは  
何ですか」）  
（判決を）下す ergehen 38

草 Gras 27  
砕く zerstœren 123  
下る absteigen 44  
口 Mund 79  
苦痛 Schmerz 44  
苦難 Trœbsal 52  
区別する unterscheiden 74  
悔やむ leid（… sein） 89  
繰り返す wiederholen 71,77  
来る kommen 7,12,42,56,58,65,77,81,  
103,113,123  
苦しみ Leiden 37,76,79,80,81  
苦しみ Pein 44  
苦しみを受ける gelitten 37,38  
苦しむ erleiden 44  
苦しむ leiden 40,79  
苦しんだ gelitten 37,38

## け

敬意 Ehrerbietung 99  
傾向にある geneigt 5,8,60  
啓示する、あらわす  
offenbaren 19,21,25,31,95,117  
契約 Bund 74,82  
契約 Testament 68,74,77,79,101  
計略 Anschlag 110  
汚れ（けがれ） Unreinigkeit 69  
汚れている beflecken 62  
決意 Vorsatz 114,126  
結合する、一つになる  
vereinigen 48,57,76  
結婚生活 Ehestand 108  
決して keineswegs 87,97  
決してない mitnichten 10,13,48  
決して…ない nimmer 47  
潔白な unstrœflich 70  
剣 Schwert 105  
健康 Gesundheit 27  
謙遜 Demut 94

## こ

子 Sohn 19,24,25,26,29,33,35,40,53,54,71  
行為 Handlung 112  
功績、みわざ Verdienst 21,60,63,84,86

公同の allgemein 22, 54  
幸福 Glückseligkeit 28  
告白する bekennen 32,99,112  
告発する anzeigen 85  
国民 Untertan 101  
心 Herz 1,4,6,58,60,65,76,89,94,  
108,113,117,126,129  
心をご存じの方  
Herzenskündiger 102  
心から herzlich 21,90,116  
試み Anfechtung 44  
試み Versuchung 127  
心にかなう gefallen 61,117  
異なった unterschiedlich 25  
言葉 Wort 21,25,31,54,67,92,95,96,98,  
99,101,103,105,109,112,117,  
122,123  
子供 Kind 33,74  
子供としての kindlich 120  
この世の weltlich 38  
この世の zeitlich 10,12,79  
拒む abschlagen 120 断る  
拒む versagen 120  
ごまかし Trügen, das 112  
困っている人 Dürftige, der 111  
これを dafür 116  
(danken と)これを感謝する  
これからは forthin 1  
これによって、そこにおいて  
indem 107  
殺す töten 43,105,106,107  
この世の、地上の irdisch 120  
この地上のもの Irdische, das 121  
根本的に gründlich 117  
根本的に im Grunde 80

**さ**

最高の höchst 11,44  
最後に endlich 19,127  
財産 Gut 75,110  
最上の oberst 31  
最初に anfänglich 19  
最重要な〔最上級で〕  
vornehm 4,116  
再生 Wiedergeburt 71,73

再臨 Wiederkunft 52  
杯 Kelch 75,77,79  
裂く brechen 75,77  
酒におぼれる者 Trunkenbold 87  
避ける meiden 94  
避ける vermeiden 112  
献げる aufopfern 43  
させる lassen 10,19,89,103,115  
定める einsetzen 66,68,69,74  
殺人 Totschlag 105,106  
裁き Gericht 52,56,62,81  
裁く richten 46,52  
三 drei 2,24,25

**し**

in Person 自身 79  
自身 selbst 4,12,13,16,19,30,43,60,  
72,75,78,79,80,81,85,86,  
105,107,118,127  
自身を示す sich erzeigen  
50,82,86  
死、死滅 Absterbung 42,88,89  
死 Tod 39,40,42,43,45,77,100  
仕方、方法 Weise 48,96  
地獄 Hoelle 44  
地獄の hoellisch 44  
子孫 Nachkommen 9  
子孫、種 Same 35  
…した後で nachdem 58,85,86  
従う gehorchen 124  
従う (sich) unterwerfen 104,123  
実際の wirklich 10  
使徒 Apsotel 82  
…しなければならぬ müßen  
1,12,15,16,17,30,40,42,48,62  
死ぬ、死滅する absterben 70  
死ぬ sterben 1,2,39,41,42,76,81  
支配する herrschen 32  
支配する regieren  
26,27,31,43,50,76,104,123  
支払う、つぐなう、あがなう  
bezahlen 1,14,16,40  
示す、証明する beweisen 104  
閉め出す ausschliessen 82,85

主 Herr 4,18,26,34,44,55,75,77,80,  
81,92,94,103,117,118  
十 zehn 115  
十字架 Kreuz  
39,43,44,66,67,69,70,75,80  
十字架につける kreuzigen  
39,43,75,76,79  
手段 Mittel 110  
自由な frei 32  
十分に genug 12,107  
祝福 Segen 94,125  
祝福する benedeien 76  
受胎 Empfängnis 36  
章 Kapitel 4  
生涯を送る wandeln 70  
証言する bezeugen 41,80,84  
正直な aufrichtig 112  
成就する erfüllen 19  
商品 Ware 110  
証明する erzeigen 85,107  
将来において、その後で  
hernach 32  
食卓 Tisch 81  
職務 Beruf 124  
勝利 Sieg 127  
書物 Buch 10,98  
所有、自分のものであること  
Eigentum 34  
知る wissen 2,19,55  
しるし Siegel 66  
しるし Wahrzeichen 66,73,75,78,79  
しるし Zeichen 74,79  
人格 Person 25,79  
人格的に persönlich 48  
信仰 Glaube 20,21,22,30,32,53,54,  
60,61,64,65,67,74,81,84,86,  
91,120  
信仰教育、学校 Schule 103  
信仰告白 Bekenntnis 82  
信仰に満ちた gläubig 60,76  
信じない者 Ungläubigen, die  
74,82,83,84  
信じる glauben  
22,26,30,53,54,56,59,71

信ずる者 Gläubigen, die  
55,75,77,83,84  
死んでいる者 Toten, die 46,52,80  
信徒 Laie 98  
心配 Sorge 125  
審判者 Richter 38,52  
新約聖書 das Neue Testament  
68,74,77,79,101  
信頼 Vertrauen 21,95,125  
信頼、確信 Zuversicht 28,120  
信頼できる、ほんとうの  
getreu 1,26,28  
真理、真実 Wahrheit  
40,101,102,112,122

## す

水浴 Bad 71,73  
水浴 Wasserbad 69,72  
救い Heil 30,55,94,101  
救い主 Heiland 1,30  
救う retten 112  
少ない、小さい gering 94,113,114  
すぎない bloß 14  
救い Erlösung 2,18,24,31,74  
救い Seligkeit 1,6,21,29,30,58,67,94  
救い出す erlösen  
1,2,14,31,34,37,44,86,127  
救い主 Erlöser 15  
救い主 Seligmacher 29,30  
救われた selig 2,20,29,45,71,87  
少しも nicht weniger denn 74  
進んで willig 1,55,124  
捨て去る preisgeben 94  
捨てる ablegen 105  
すべて、ことごとく samt 26,27,52  
すべての aller, alle, alles  
1,2,4,5,7,8,9,10,15,20,21,22,26,  
27,28,30,32,34,35,50,51,52,53,  
55,56,59,60,62,65,69,71,72,75,  
77,79,80,84,86,90,92,94,99,103,  
104,105,106,108,109,110,112,  
113,114,117,118,121,122,123,  
124,125,128  
すべての、さまざまな allerlei 112

すべてのものにまさって高い  
allerhoechst 11  
住む wohnen 76  
する machen 1,13,29,64,97  
する tun  
9,10,12,13,26,77,86,94,107,127  
…する度ごとに so oft 77,84  
…するのを常としている  
pflegen 69  
…する人 wer da 71  
…するべきである sollen  
2,4,28,55,64,74,77,80,81,86,93,  
94,96,97,98,104,105,108,113,  
128,129  
座る sitzen 49,50

## せ

聖化 Heiligung 24  
生活 Wandel 85,86,87  
性質、方法 Art 7,56,78,96,115  
聖餐 Abendmahl 68,75,77,78,80,82  
聖書 Schrift 71,87  
聖人 Heiligen, die 30,55,94,101,102  
性質 Natur 5,7,16,35,47,48  
制定 Einsetzung 71,77  
聖なる heilig  
19,36,54,65,66,67,68,69,75,78,79,  
83,84,85,99,103,108,109,123,128  
聖なるものとする heiligen 70,122  
聖パウロ Sankt Paulus 77,79  
正反対な verkehrt 6  
政府、当局、官憲 Obrigkeit  
101,105,110  
生命、人生、世の中、現実の  
生活 Leben  
1,17,32,37,45,56,57,58,62,63,70,  
79,81,82,84,86,103,114,115,122  
聖霊 der Heilige Geist  
1,21,24,25,31,35,51,53,65,67,  
70,71,72,73,74,76,79,80,86,  
109,115,116,127  
聖礼典 Sakrament  
65,66,67,68,78,85,103  
責任がある、義務がある  
schuldig 55,82,93

説教 predigt 65,83,84,98  
説教する predigen 115  
説教の職務 Predigtamt 103  
摂理 Vorsehung 26,27,28  
切に望む begehren 81,129  
責める anklagen 60  
全体の ganz 4,37,54,62,67,76,82,  
86,94,113,115,122,126  
全能 Allmächtigkeit 121, 122  
全能者 Allmächtige, der 26  
全能の allmächtig 27  
洗礼 Taufe 68,69,71,73,74,78  
洗礼を授ける taufen 71,74  
洗礼の水 Taufwasser 71

## そ

創造 Schöpfung 28  
相続人 Erbe 59  
創造 Erschaffung, Erschöpfung 24  
そうではなく sondern  
1,6,10,13,20,27,30,34,42,43,56,  
61,63,78,98,105,112,113,114,122,  
127,128  
属する、必要である  
gehören 74,117  
族長 Erzvater 19  
そこにおいて daselbst 46,50,80  
注ぐ ausgiessen 51  
そそのかし Anstiftung 9  
外 ausserhalb 48, 108  
備える versorgen 26,125  
その ihr, ihrem, ihren, ihrer, ihre  
48,57,81,104  
その上に（置く） darauf 95  
その結果 also dass 60, 69, 75,  
84, 85, 94  
その後 folgend 19  
その際に dabei 69,75  
その中に darin 36,58,80,123  
その中にある darinnen 26  
その反対に hinwiederum 84  
その他に sonst 101  
そのものの、本質的な  
wesentlich 78  
そのような人 derjenige 20,85

そのような者 dergleichen 87,109  
そのように  
solcher,solche,solches  
2,7,10,15,60,65,77,82,99,101,  
106,114,117,128,129  
それ以前に、すでに zuvor 44,52  
それから davon 14  
それぞれ、すべての jeder 55,84  
それでは denn  
6,7,9,15,20,30,47,72,73,78,  
79,87,115  
それでは nun 59  
それでもなお dennoch 48,76  
それならば、それほどに so  
48,74,79,100,124,127  
それに加えて daneben 76  
それにもかかわらず  
nichtsdestoweniger 48  
それによって dadurch  
21,39,76,101,125,128  
それによって damit  
38,41,73,77,79,97,107,110  
そればかりではなく vielmehr  
73,79  
それほどに dermassen 8  
それ故に、だから、それなら also  
1,6,7,9,25,26,27,28,32,73,76,  
77,78,79,80,82,103,111,114,  
115,120,123,124  
尊厳 Majestät 11,47,117,121

**た**  
…に対して gegen 86,93,107,111,120  
第一に erstlich 2,14,45,49,51,53,55,  
75,103,115,117,122  
第一の erste 7,24,93,94,122  
第九の neunte 112  
第五の fünfte 104,126  
大祭司 Hohepriester, der 31  
第三 dritte 24,99,124  
対して、逆らって wider  
11,14,32,37,51,60,94,112,113,123  
第十の zehnte 113  
第三に zum dritten 2,45,49,117  
態度 Gebärde 105,109

第七の siebente 108  
第二の der, die , das andere (zweite)  
4,24,93, 123  
第二に zum andern 2, 14, 45,  
49, 53, 55, 75, 103, 117  
第四の vierte 103,125  
第六の sechste 105,127  
互いに einander 48  
宝 Schatz 55  
だから darum 1,16,25,,29,33,40,50,61,  
62,86,100,105,108,116,128  
だけ allein 20,21,33,60,61,65,72,  
78,91,94,106,116,117,124,125  
墮罪 Fall 7  
確かな gewiss 21,39,45,69,  
71,75,77,79,86,129  
確かな sicher 49  
確かなものとする bestaetigen  
65,67  
確かに gewisslich 117  
確かに so gewiss 69,71,75,77,79  
ただ nur 25,42,114  
戦い Streit 127  
戦う streiten 32,56  
正しい gerecht  
10,11,12,15,16,18,59,60,61  
正しさ、正義 Gerechtigkeit  
6,11,12,16,17,18,21,37,40,45,  
56,60,61,62,113,115,122  
直ちに alsbald 57  
ただ一度 einmal 80  
正しい recht 6,94,99,101,117,122  
正しい、合法の rechtmaessig 102  
ただ一つの einzig (einzig)  
1,25,30,31,37,66,67,69,75,80,  
94,95,102,117,125  
立っている、ある stehen 10,67,88  
ダビデ David 35  
たぶん wohl 11,48,97  
食べ物 Speise 79  
食べる essen 27,75,76,77,81  
食べる、味わう geniessen 75  
食べる speisen 75,77  
魂 Seele 1,4,11,26,34,37,44,57,69,75,  
76,79,94,109,121

賜物 Gabe 9,51,55,110,125  
民 Volk 71  
…ために dazu 66,85,109,110,127  
保つ、守る bewahren 1,109  
保つ erhalten  
26,27,31,51,54,79,101,103,123,127  
墮落した verloren 20  
誰、…する人 wer 18,71  
誰も…ない niemand 112,115  
墮落した verderbt 7,8  
断固たる ernstlich 114  
誕生 Geburt 36

## ち

血 Blut 1,34,35,69,70,71,72,73,74,  
75,76,77,78,79,86,126  
地 Erde 26,27,37,46,47,49,76,124  
小さな言葉 Woertlein 37,129  
知恵 Weisheit 122  
誓い Eid 99,101,102  
誓い Schwoeren,das 99,100  
違い Unterschied 80  
誓う Eidschwoeren 101  
誓う schwoeren 101,102  
力、暴力 Gewalt 1,34,51,110,123  
力 Kraft 4,17,27,43,45,49,57,127,128  
力、能力 Vermoegen 112  
力ある maechtig 128  
父 Vater 1,24,25,26,28,31,49,50,53,  
71,80,104,120  
父親としての vaeterlich 27  
忠実、誠実 Treue 101,104  
忠実に、誠実に treulich 111,124  
仲保者 Mittler 15,18,36  
ちょうど…のように gleichwie 73,79  
沈黙 Stillschweigen 99

## つ

使う anlegen 55  
次に、さらに danach,darnach  
51,70,86,115,122  
つきまとう anhaengen 126  
償いを成し遂げる genugtun 79

償いを成し遂げること  
Genugtuung 56,60,61  
つぐなうこと Bezahlung 12,13,42  
造り主、創造主 Schoepfer 6,26  
造る erschaffen 6,9,26  
付け加える hinzusetzen 50  
付け加える hinzutun 121  
告げる verkuendigen 19,77,84  
続く、従う folgen 44,48  
慎み深く zuechtig 108  
つまり naemlich 66,73,79,120  
罪 Suende 1,2,7,10,11,14,16,21,29,  
32,34,35,36,37,40,42,56,60,  
62,66,69,70,71,72,73,74,76,  
78,80,81,84,89,99,100,113,115  
罪を犯す suendigen 16,60  
罪の犠牲 Suehnopfer 37  
罪のない unschuldig 38  
罪のないこと Unschuld 36  
罪人 Suender 16,126  
罪深い suendlich 56,115  
強い stark 15  
強める staerken 81,127

て

手 Hand 27,28,75,104  
手足 Glied 32,49,51,54,55,70,76,85  
手足としてはめこむ einleiben  
20,74,80  
であるのに、なぜなら dieweil  
12,25,26,28,39,65,74,77,86,  
104,109,127  
であろうと es sei 108,110  
抵抗 Widerstand 127  
停止、差し止め Verbiendung 85,106  
敵 Feind 51,52,107,127  
敵となる、憎む feind sein 108,113  
できる können 1,5,9,13,14,16,26,28,  
45,61,62,87,97,111,114,  
115,127,128  
…できる mögen 2,12,17,40,97,98,  
101,102,109,111,127  
…できる限り möglich 107  
弟子 Jünger 46

ですから deshalb  
11,80,82,101,109,125  
ですから deswegen 12  
…でないのならば  
es sei denn, dass 8,80  
手に入れる、保持する  
behalten 127  
…でも…でもなく weder noch  
105,125  
天 Himmel 1,26,27,46,49,50,52,  
76,80,121,124  
天国 Himmelreich 83,84,85  
天使 Engel 124  
天の himmlisch 51,52,121

と

というのに so doch 33,63  
到達する erreichen 115  
尊い teuer 1,34  
…と同じように…も sowohl als 74  
時 Zeit 37  
時とともに、ますます  
je länger jemehr 70,89,115,123  
毒す vergiften 7  
特に、とりわけ sonderlich 37,103  
…と比べて、少しも劣らない  
nicht weniger denn 74  
どこ、…のところの wo  
71,77,111  
どこから woher 3,7,19,65  
どこにおいても überall 48  
どこにでも allenthalben 48  
…ところ da 48,49,77  
年 Jahr 27  
閉じる zuschliessen 83,84,85  
と同時に zugleich 15,17,18,76  
どのような was für ein 15,80  
どのような was für 28,36,43  
どのような was für ein 15,80  
どのような welcher, welche,  
welches 26,49,50,75,81,91  
富 Reichtum 27  
取り下げる、取りやめにする  
absagen 124  
とりなし Fürbitte 31

とりなし手 Fürsprecher 49  
取り除く hinwegnehmen 52,69,73  
取り戻す wiedergeben 17  
とる nehmen 35,52,57,77  
どれ一つ gar kein 97  
どれほど、どのように wie  
2,12,42,46,60,69,75,84,85,92,128  
泥棒 Dieb 87  
泥棒 Räuber 87  
貪欲 Geiz 110  
貪欲な者 Geizige, der 87

## な

…ない nicht 1,9,10,11,16,26,27,  
30,34,40,42,47,48,49,61,62,63,  
64,71,78,80,84,85,87,91,98,99,  
100,105,107,122,126,127,128  
内容である、述べている  
lauten 23,71,77,92,119  
なお doch 15,60,81,97,106,114,117  
なお、依然として noch  
13,26,27,28,29,60,80,96,99,100,126  
流す vergiessen 70,75,76,79  
慰め Trost 1,2  
慰める troesten 52,53,57,58  
投げる werfen 52  
成し遂げる vollbringen 60,66,80  
…なしに ohne  
1,28,60,73,79,86,115,116,124,125  
なぜ warum 16,17,25,29,31,32,  
33,34,38,40,41,44,50,61,62,  
73,79,86,115,116,120,121  
なぜ worum 120  
なぜなら weil 12,28,31,32,34,42,  
48,50,115,127,128  
何 was 1,4,21,22,26,27,35,37,45,49,  
51,52,53,54,55,56,57,58,59,  
66,70,76,83,89,90,95,117,  
118,129  
何か einig (irgendein) 8,29,110  
何か etwas 39,95  
何か irgendein 14,96,113  
何の was für 28,36,43  
何も…ない nichts 26,63,80,109,121  
なので da 7

名前 Name  
32,71,85,99,100,101,122,128  
なやみの多い世の中、嘆きの  
谷(詩84:7)より Jammertal 26  
何度でも etlichemal 85

## に

二 zwei 4,48,68,88,93  
(…の方向)に、へ gen 46,50  
肉 Fleisch 35,43,49,57,7,127  
憎しみ Hass 106,107  
憎む hassen 5,89,105,106  
似姿 Ebenbild 6,86,115  
二度と…ない nimmermehr 56,113  
担う ertragen 14,17  
担う、帯びる tragen 37,105  
…になる werden  
20,49,53,54,57,58,71,78,79,87,120  
にもかかわらず ob auch 117  
にもかかわらず obgleich 76  
にもかかわらず ob gleich 30  
にもかかわらず ob schon 60,97  
にもかかわらず wiewohl 78  
柔和 Sanftmut 107  
により um willen  
21,26,33,56,70,81,84,117,122,126  
人間 Mensch 6,7,9,14,15,16,18,  
20,43,47,58,88,89,90,95,  
109,124  
人間の指図 Menschensatzung 91  
人間としての性質  
Menschheit 17,48  
人間の menschlich 16,35,37,47,54  
認識 Erkenntnis 21,28  
忍耐 Geduld 94,104,107  
忍耐深く geduldig 28

## ぬ

盗み Diebstahl 110

## ね

根 Wurzel 106  
ねたみ Neid 106,107  
熱心に begierig 115

熱心に fleissig 103

## の

…の間に zwischen 80  
逃れる entgehen 12  
逃れる、避ける fliehen 89,94  
残っている uebrig 81  
望む wollen 10,12,14,26,56,63,  
73,79,80,84,96,98,99,102,  
103,104,105,106,107,108,  
109,111,112,113,116,117,  
120,125,126,127,128  
…の時に wenn  
26,59,60,85,101,115  
…のに so doch 33,63  
…の他に neben 95  
昇る fahren 46,50  
飲ませる traenken 75,77  
飲み物 Trank 79  
飲む trinken 27,75,76,77,81  
…のゆえに um seinetwillen 33  
呪い Fluchen,das 99,100  
呪う verfluchen 39  
呪う vermaledeien 80,108  
呪われた verflucht 10

## は

はい ja 1,8,39,67,74,100,101  
背反 Abfall 10 97年版には  
ない ungehorsam (不従  
順)のみ  
パウロ Paulus, Sankt 77,79  
はかりごと Ratschlag 123  
ばかりでなく nicht allein, sondern 114  
ばかりでなく…も  
nicht allein, sondern auch  
21,57,76,99,110  
ばかりでなく、さらに  
nicht allein, sondern vielmehr 73,79  
迫害 Verfolgung 52  
激しく heftig 100  
激しく schrecklich 10,99  
罰しないで ungestraft 10  
はじめ Anbeginn 54

始まり、スタート、はじめ  
Anfang 58, 114, 120  
始める anfangen 103, 114  
辱め Schande 109  
果たす ausrichten 124  
果たす leisten 60  
働き Wirkung 35,79  
働く arbeiten 111  
働く wirken 21,65,74,103  
八 acht 110  
罰 Strafe 11,12,104  
罰 Verdammnis 37,52,84  
罰する strafen 10,11,14,100,102,110  
はなはだしい schwerlich 60  
離れる weichen 47  
母 Mutter 104  
はらまれる empfangen werden  
7,35,36  
はらむ empfangen 75,79  
パン Brot 75,77,78,79,80,125  
判決 Urteil 10,12,38  
判決を下す urteilen 84  
判断 Gutduenken 91  
反対する、防ぐ wehren 100,105  
反論 Widersprechen 124

## ひ

日 Tag 103  
光り輝く leuchten 122  
引き上げる aufheben 46  
引き上げる hinaufnehmen 49  
引き受ける、背負う laden 39  
引き起こす、誘う reizen 82,109  
非キリスト教的な  
unchristlich 85  
日ごとに、毎日、日々の  
täglich 13,80,125  
被造物 Kreatur  
14,15,27,28,32,94,97,102,125  
必要、苦しみ Not 101,111,117  
必要である not 22  
必要である vonnoeten 30  
必要な noetig 2,116  
必要なもの Notdurft  
26,118,121,125

否定 Verleugnung 80  
否定する verleugnen 30  
日照り Duerre 27  
人 man 74,97,101,102,111  
一つなるもの Einigkeit 54  
ひととき Augenblick 127  
ひとつの einer,eine,eines 76,77  
一つも…ない keiner,keine,kein  
1,14,28,29,58,60,87,96,97,100,  
102,112  
人々 Leute 64  
ひとり子の eingeboren 33  
病気 Krankheit 27  
開く aufschliessen 83,84,85

## ふ

不安 Angst 44,44  
不完全な unvollkommen 62  
福音 Evangelium  
19,21,22,65,66,67,83,84  
服従、従順 Gehorsam  
60,79,104,114  
復讐心 Rachgierigkeit 105,106  
不幸 Uebel 26  
不幸、いやなこと  
Widerwärtigkeit 28  
負債、負い目 Schuld 13,126  
ふさわしい、当然与えられる  
べきである gebühren 102  
ふさわしい gebühlich 104  
ふさわしくない unwürdig 117  
不従順 Ungehorsam 7,9,10  
侮辱する beleidigen 105  
侮辱する schmähen 82,105  
不正、正しくないこと  
Unrecht 9  
不正な unrecht 110  
再び wiederum 12,20,85  
復活、よみがえり  
Auferstehung 45,57,88,90  
防ぐ abwenden 107  
再び wieder 57  
再び来る wiederkommen 46  
ぶどう酒 Wein 78,79,80  
不必要な unnötig 99

部分 Stück 2,62,83,88,110,116  
部分 Teil 24  
増やす mehren 123  
古い人 der alte Mensch 43, 88, 89

## へ

平和 Friede 107  
へと dahin 67,122  
(richten と) ~へと向ける  
へりくだらせる demütigen 117  
変化する verwandeln 78

## ほ

法、正しさ Recht 110  
傍観 Zusehen 99  
奉仕者 Diener 75  
法廷 Gerichtshandlung 112  
冒涇 lästerung 100  
葬る begraben 41,43  
他 anders 40, 61, 99  
他のところ anderswo 30  
他 ausgenommen 35  
他の anderer, andere, anderes  
12,14,16,19,21,29,39,55,80,  
94,95,96,102,105,112  
保証 Versicherung 78  
保証金 Pfand 45,49,73,79  
保証する versiegeln 66  
施し Almosen 103  
骨 Bein 76  
ほめたたえる loben 6  
ほめたたえる、賛美する  
preisen 6,58,86,99,122,128  
ほめる rühmen 30,122  
本質、本性 Wesen 25  
ポンテオ・ピラト  
Pontius Pilatus 38  
本物の、実の、養子でない  
natürlich 33

## ま

任す verordnen 31,85  
負ける、屈する  
unterliegen, unten liegen 127

曲げる verkehren 112  
まことであるとする  
für wahr halten 21  
まことの wahr 15,16,17,18,20,21,  
30,35,47,53,54,60,64,79,  
80,84,85,91,94,95,117,129  
まことの wahrhaftig  
6,25,41,73,79,84,88  
まさに eben 52  
ましてや viel weniger 105,120  
魔術 Zauberei 94  
交わり、共にあずかること  
Gemeinschaft 23,55,75,77,79  
まずしさ Armut 27  
升 Mass 110  
ますます je mehr und mehr 76,81  
マタイ Matthaeus 4  
待ち望む erwarten 94,121  
待ち望む gewaertig 52  
まったく durchaus 62  
まったく ganz und gar 8  
まで bis 47,53,54,82,115,123  
まで bis dass 46,77,127  
まとめる begreifen 118  
理解する。まとめる  
(ゲーテ独語辞典より)  
学ぶ lernen 103  
守る、続ける、とどまる  
bleiben 10,35,48,53,54  
守る halten 5,60,93,114,115  
守る schuetzen 31,51,54  
マリア Maria 35

## み

実 Frucht 64,86  
見合う担保 Gegenpfand 49  
見いだす finden 29,126  
身勝手な、無理な mutwillig 9,105  
右、右側 Rechte 49,50,80  
御心 Rat 26,31  
みこころ、意志 Wille  
1,28,31,90,94,124  
御国、王国 Reich 85,87,123,128  
ミサ (ローマ・カトリック教会の)  
Messe 80

ミサの司祭 Messpriester 80  
みじめ Elend 2,3,86,117  
水 Wasser 69,73,78  
見せかけ Schein 110  
みだらな unkeusch 109  
みだらなこと Unkeuschheit 108  
みだらな者 Unkeusch,der 87  
導く、行う fuehren 85,127  
導く、獲得する gewinnen 86  
認める erkennen  
3,6,94,115,117,122,125  
皆 jedermann 10,124  
源 Ursprung 125  
実りのない unfruchtbar 27  
実り豊かな fruchtbar 27  
耳 Ohr 58  
宮、神殿 Tempel 109  
未来の zukünftig 28,63,84  
見る sehen 58,75

## む

向きを変える kehren 85  
報い Belohnung 63  
報いる belohnen 63  
向けさせる weisen 67  
向けない abziehen 125 他へ  
向ける、そらす  
向ける (dahin richten) 67,122  
無慮な sorglos 64  
むしろ eher 94  
結ぶ、締めくくる  
beschiessen 128  
無責任な verrucht 64  
無駄な unnützig 110  
無能である untüchtig 8

## め

目 Auge 46,58,75  
命じる gebieten 111  
迷信の abergläubisch 94  
abergläubische Segen  
(竹森：迷信による祈り)

名声 (簡訳版 Ruf) Glimpf 112  
不快な扱い、不快な感情  
を出来る限り免れさせる。  
命令 Befehl 84,85  
命令する befehlen  
75,96,100,117,118,120  
恵み Gnade 12,21,33,37,47,56,60,63,  
66,70,86,115,116,126  
恵み Wohltat 20,53,60,65,86  
目に見える sichtbar 66,79

## も

もう…ない nicht mehr 43  
目標 Ziel 115  
用いる gebrauchen 99,101,103  
用いること Gebrauch 65,66  
もちろん freilich 67,100  
用いること Gebrauch, Brauch  
65,66,78  
持ちこたえる bestehen 62,127  
持つ besitzen 58  
持つ、入手する  
haben (etwas haben)  
30,49,55,60,70,80,90,95,  
97,104,107,113,114,117  
持つてくる bringen 64,110  
Furcht bringen 実を結ぶ  
et4 an sich4 bringen  
自分のものにする  
最も敬虔な人たち  
Allerheiligsten, die 114  
最も良い beste 62  
基づく gründen 91,101  
基づく、掛かる hangen 4  
求め Bitte  
122,123,124,125,126,127  
求める bitten  
115,116,117,118,120,128  
求める suchen 15,29,30,49,115  
…もない auch nicht 28  
もの Ding 120,128  
者 einer (irgendeiner) 16  
ものを言わない stumm 98  
も物差し Elle 110

…ものである eigen  
1,79,112,124,127  
模範として備える Vorbildern 19

## や

約束 Verheissung 66,71,77,84  
約束する verheissen  
22,47,69,71,75,77,85,117  
約束する zusagen 74  
役立つ、助ける helfen  
59,100,111,112  
役に立つ für Nutzen bekommen  
28,36,43  
役目 Amt 82, 83, 124 務め  
役に立つ gedeihen 125  
休む feiern 103  
止める abstehen 85 放棄する  
やめる aufhören 127  
やめること Unterlaß 115,116

## ゆ

有罪とする、呪う  
verdammen 38,71,107,112  
友情 Freundlichkeit 107  
誘惑する anfechten 127  
赦し Vergebung  
21,56,66,70,76,80,115  
許す dulden 98  
赦す vergeben 84,126  
赦す verzeihen 81,126  
許す zulassen 82  
揺れる、動かす regen 28

## よ

世 Welt 47,54,127  
良い gut 6,28,62,63,86,90,91,104,124  
良いもの Gutes 8,94,107,125,128  
要求する erfordern  
4,11,16,94,101,116  
要求する fordern 9,116  
要約 Summa 4,22,99  
欲、したい気 Lust  
43,90,109,113  
預言者 Prophet 4,19,31



汚れ(よごれ) Unsauberkeit 69,73  
呼ばれる、…という意味である  
    heißen 33,35,70,76,129  
…による lauter 21,60  
呼びかける anreden 120  
呼び覚ます erwecken 45,120  
呼ぶ anrufen 99,103,117  
呼ぶ nennen  
    25,29,31,32,34,71,73,78,79,110  
呼ぶこと Anrufung 94,102  
甦らせる auferwecken 57  
より多い mehr 39,43,109  
より頼む、信頼する  
    vertrauen 26,81,94  
より良く besser 66  
より良い bessern 81  
夜 Nacht 77  
喜び Freude 52,55,58,90  
喜んで、進んで bereit 1  
弱い schwach 127  
弱さ Schwachheit 81  
四 vier 93

## ら

楽園、パラダイス Paradies 7,19  
乱用 Mißbrauchen 99

## り

利益 Nutzen 28,36,43,55,111  
利益をもたらす nützen 45,49,51  
利益になる zugut kommen 69  
利益のために zugut 26,46,69

理解を超えて unbegreiflich 48  
理解する verstehen 27,37,46,55,66  
利子、暴利 Wucher 110  
律法 Gesetz 3,4,9,10,19,62,91,92  
略奪 Raeuberei 110  
理由 Ursache 73,79  
両親 Eltern 7  
良心 Gewissen 32,60  
両方 beide,beides 1,10,67,83,84,109  
隣人 Naechste,der 4,5,86,93,101,  
    105,107,110,111,112,126

## る

類 Geschlecht 37,54

## れ

霊 Geist 8,31,47,49,54,69,70,71,73,  
    76,103,123  
霊によって geistlich 73,118,127  
礼拝する anbeten 80  
礼拝する、役立つ dienen 1,97

## ろ

労働 Arbeit 125  
浪費 Verschwendung 110  
六 sechs 93

## わ

分け与える mitteilen 75  
分ける abteilen 24  
分ける einteilen 93  
わたし ich, meiner(mein), mir,

mich 1,2,5,21,26,32,39,44,52,  
    53,54,56,58,60,75,103,  
    105,111

わたしたち wir,unser,uns  
    4,7,8,12,13,14,17,18,27,28,  
    29,31,33,34,37,38,42,43,45,  
    46,47,49,51,66,67,70,73,76,  
    77,86,93,99,107,110,123,124,  
    126,127,128

わたしたちの unser, unsere, unser  
    7,18,22,24,26,28,29,31,34,  
    36,37,40,42,43,45,49,51,  
    62,63,65,67,73,77,79,80,  
    86,91,93

わたしたちのために  
    um unsertwillen 122

わたしの mein,meine,mein  
    1,2,5,26,36,44,52,56,57,58,  
    60,61,69,75,77,103,105,  
    111,112,129

わたしのものとする zueignen 61  
悪い boese 6,43,103,110,123

悪い行い Missetat 126  
悪口(陰口)を言う人  
    Laesterer 87,112

悪口(陰口)を言う laestern  
    99,100,122

## を

…を…とみなす für wahr halten 21

## 引証聖書箇所(聖書箇所と問答の番号)

<b>旧約聖書</b>	<b>申命記</b>	<b>歴代誌下</b>	110:1	25	45:7	94	<b>ゼカリヤ書</b>				
<b>創世記</b>	4:13	93	20:12	117	110:4	31	45:23	99	13:1	70	
1	26	4:15-19	96		111:10	94	48:1	101			
1:2	53	5:6-18	92	<b>ヨブ記</b>	115:1	122	48:16	53	<b>新約聖書</b>		
1:26-27	6	6:2	94	1:12	28	115:3	26	53:3-5	16	<b>マタイによる</b>	
1:31	6	6:4	25	1:21	28	119:5	123	53:4-5	38	<b>福音書</b>	
2:17	40	6:5	94	9:2-3	13	119:105	122	53:6	8	1:18-20	35
3	7	6:13	101	14:4	8	119:137	122	53:8	17	1:21	29
3:15	19	7:5	97	15:14	8	122:6-7	123	53:10	44	1:23	18
6:5	8	8:3	125	15:15	13	130:3	14	53:11	15,20	3:11	69,72
9:6	104,105	8:10	28	15:16	8,13	132:11	33	53:12	37	3:16-17	25
9:24-25	104	10:3-4	93	15:35	8	143:1	117	57:15	90	4:7	105
14:19	78	10:20	94,101	19:25-27	57	143:2	126	59:21	54	4:10	94*
17:7	74	12:3	97			143:10	123	61:1	25	5:5	107
17:10-11	78	12:30-31	96	<b>詩編</b>		145:15-16	125	64:5	62	5:7	107
17:11	66	13:1	91,96	2:6	31			66:2	117	5:16	86
17:14	74	16:22	97	2:9	51	<b>箴言</b>		66:3	82	5:21-22	105
21:24	101	18:10-12	94	2:11	117	1:7	94	66:23	103	5:25	105
49:10-11	19	18:15	31	2:12	20	1:8	104			5:27-28	109
		21:23	39	5:5-6	11	4:1	104	<b>エレミヤ書</b>		5:29-30	94
<b>出エジプト記</b>	25:13-15	110	15:3	112	5:16	110	5:24	27	5:34-36	102	
12:26-27	78	27:26	10,62	15:5	110	9:10	94	7:21-23	82	5:37	99
12:43	78	30:6	66	22:11	74	11:1	110	10:8	98	5:44-45	107
12:48	78			32:1-2	36	12:22	112	17:5	94	6:9-13	119
20:1-17	92	<b>ヨシュア記</b>		32:5	115	13:5	112	23:6	15	6:12	13
20:5	11,12	9:15	101	33:6	26	15:20	104	23:23-24	121	6:14-15	126
21:14	105	9:19	101	34:19	117	16:11	110	23:24	48	6:25-26	26,125
21:17	104			37:16-17	125	19:5	112	33:16	15	6:26	26
23:5	107	<b>サムエル記上</b>		40:10-11	103	19:9	112			6:33	118,123
23:7	12	15:22	91	50:14-15	116	20:20	104	<b>エゼキエル書</b>		7:1-2	112
23:24	97	15:23	96	50:16-17	82	21:1	28	45:9-10	110	7:7-8	116
34:6-7	11	24:22	101	51:7	7	21:28	112	20:12	66	7:8	117
34:13-14	97			51:20	123	22:2	27	20:18-19	91	7:9-11	26,120
34:28	93	<b>サムエル記下</b>		55:23	26,125	23:22	104	36:25-27	70	7:12	107,111
		3:35	101	68:27	103					7:17-18	86
<b>レビ記</b>				69:5	38	<b>コヘレトの言葉</b>		<b>ダニエル書</b>		7:18	64
5:1	100	<b>列王記上</b>		71:8	122	7:20	114	9:17-18	117	10:28	94
6:18	66	1:29	101	71:18	54					10:29-31	1
18:27-29	108			103:3	56	<b>イザヤ書</b>		<b>ヨエル書</b>		10:29-30	26
19:12	99	<b>列王記下</b>		103:10	56	1:11-15	82	2:13	89	10:32	99
19:31	94	18:4	97	103:12	56	7:14	15	3:1	32	10:37	94
24:10-16	99			103:14-16	127	9:5	30			13:12	116
24:15-16	100	<b>歴代誌上</b>		103:20-21	124	29:13	91	<b>ハバクク書</b>		15:9	91,96
		16:26	95	104:2-5	26	40:18-20	96	2:4	59	16:17	21,122
<b>民数記</b>				104:27-30	94	40:25	96	2:18-19	98	16:18-19	83
33:52	97			104:27-28	125	44:1-3	74			16:18	54
										16:19	84

<b>マタイによる福音書</b>	10:27	4	8:4	112	10:47	74	6:10-11	90	14:19	86	
	11:2-4	119	9:3	27	11:26	32	6:11-14	2	14:23	91	
16:24	124	11:9-10	116	9:41	2	13:29	41	6:11-12	43	16:20	123
18:15-18	85	11:11-12	120	10:11	54	14:17	27,125	6:13	86		
18:18	83	11:13	116,120	10:28-30	51,54	17:24	121	7:7-8	113	<b>コリントの信徒への手紙一</b>	
18:35	105	12:22-24	26	11:15	48	17:25-28	27,28	7:14-15	114	1:8-9	54
19:14	74	17:10	63	14:2	49	17:25	121	7:22	114	1:13	30
21:21	104	21:18	1	14:13-16	117	17:27-28	125	7:23	60,127	1:30-31	30
22:37-40	4	21:28	52	14:13	128	17:27	121	7:24-25		1:30	18,36,60
22:37-40	93	22:19-20		14:16	49,53	17:29	96		42,56,115	2:2	60
22:37	94		75,77,80	14:17-20	47	20:28	17	8:1-4	56	2:9	58
22:39	107	22:42	124	14:23	76	22:16	71	8:3-4	12,15	3:16	53
24:30	46	23:13-15	38	15:1-6	76			8:7	5	3:23	1
25:34	52	23:43	57	15:5	127	<b>ローマの信徒への手紙</b>		8:11	45	5:3-5	85
25:41	52	23:52-53	41	15:15	31	1:2	19	8:13	89	5:7	88
26:11	47	24:46-47	2	15:19	127	1:3-4	35	8:14	1	5:10	110
26:26-28	75,77	24:51	46	15:22	2	1:3	35	8:15	26,31	5:11	85
26:28	80	24:52	80	16:13	47	1:9	101	8:16-17	33	6:9-10	87,94
26:41	127			16:28	47	1:16-17	21	8:16	1	6:10	110*
26:52	105*	<b>ヨハネによる福音書</b>		17:3		1:17	59	8:22-23	123	6:11	
26:64	46	1:1	35	17:11	47	1:23-24	95	8:23-24	52		2,70,72,73
27:46	44	1:12-13	20	19:4	38	1:28-32	106	8:26	117	6:15	76
27:59-60	41	1:12	23	19:30	80	1:28	112	8:28	1,26	6:17	53,76,80
28:6	48	1:14	33,35	19:38-42	41	1:30	112	8:29-30	54	6:18-20	109
28:18	31,50	1:16	30	20:17	49,80	2:24	99	8:32	55	6:19	1,53,76
28:19-20	53,65,69	1:18	31,33	20:21-23	84	3:9-20	60	8:34	31,46,49	6:20	34,86
28:19	25,71	1:33	70	20:31	22	3:10-12	5	8:38-39	28	7:4	108
28:20	22,47	3:5-6	8			3:20	3	9:5	35	7:14	94
<b>マルコによる福音書</b>	3:5	65,70	<b>使徒言行録</b>	3:21-25	60	3:21	60	10:4	19	7:23	34
	3:13	48	1:9	3:22	60	3:22	60	10:11-12	128	7:24	124
1:4	69	3:16	17	3:23	5	1:11	46	10:12	26,121	9:11	103
8:38	32	3:18	56,60	3:24-25	21,60	2:17	32	10:14	117	9:13-14	103
13:33	127	3:36	59	3:25-26	37	2:24	17	10:17	21	9:24-25	115
14:22-24	75,77	4:21-24	80	3:28	60	2:33	49	11:20	20	10:1-4	78
14:24	78	4:22-24	117*	4:4-5	60	2:38	69	11:22	122	10:10	94
16:16	69,71,73	5:22	50	4:11	66	2:39	74	11:33	122	10:16-17	
16:19	46	5:23	95	4:16-18	21	2:42	103	12:1-2	86		75,77,78
		5:24	42	4:25	45	2:46	54,103	12:1	32,43	10:19-22	81
<b>ルカによる福音書</b>	5:46	19	3:21	47,76	5:1	21,90	5:1	12:10	107	10:31	91
	6:35	76	3:22-24	19	5:3-4	94	5:3-4	12:18	107	11:20	82
1:14-15	74	6:39	1	3:22	31	5:3	28	12:19	105	11:23-25	75,77
1:33	31	6:40	76	4:12	29	5:9-10	31	12:20-21	107	11:26-28	78
1:35	35	6:47-48	76	4:27-28	38	5:12	7,9,10,16	13:1	104	11:26	54,76
2:11	18	6:50-51	76	5:3-4	53	5:15	16	13:2-7	104	11:28-29	81
3:3	69	6:51	79	5:29	94	5:18-19	7	13:4	105*	11:33	103
3:14	110	6:53-54	76	7:49	48	6:3	67,69	13:6	112	11:34	82
6:35	110	6:55	79	7:55	80	6:4	45,69,70,88	13:14	105	12:12-13	54
6:36	107	6:55-56	76	9:31	53	6:5-6	88	14:8	1	12:12	75
6:37	112	6:56-58	76	10:43	19	6:6-8	43	14:14	90	12:13	70



## 愛する若き兄弟姉妹！

教会においてハイデルベルク信仰問答によって学ぼうとする、皆さんにこの書物を贈ります。この書物はたいへん古いものです。1563年、ハイデルベルクにおいて、プファルツの選帝候フリードリヒ三世が出版したものです。ですからこの書物はハイデルベルク信仰問答と呼ばれているのです。この『キリスト教教育』[カテキズム(訳注:信仰問答)]という語をドイツ語に翻訳した言葉]は主として、当時の著名な神学者、ツァカリアス・ウルジヌスによって著されたものです。彼はブレスラウの出身であり、ヴィッテンベルクにおいて、マルティン・ルターの友人である、フィンツ・メランヒトンに学び、またジュネーブのヨハンネス・カルヴァンとも個人的に面識がありました。元々この人はベアという名前でありましたが、当時の流行で、彼は自分の名前をラテン語に訳したのでありました。

彼により著されたこの信仰問答の草案は、ハイデルベルクでの会議において協議され、仕上げられました。また信仰問答に精通していた選帝候とトリアーのオレヴィヒ出身の神学者カスパー・オレヴィアヌスもまたその一員でありました。この教育書は短期間で高い評価を得て、最初の一年に、ラテン語、オランダ語、低地ドイツ語に翻訳されました。ヨーロッパ大陸への旅の後に、イギリス人が故郷に伝えていまして、「大陸のわたしたちの兄弟は一冊の書物を持っている。その一頁一頁は一樽の金をもってしても支払うことはできない」と。その間、この書は世界のほとんどあらゆる言語に翻訳されたのでした。

さて、わたしたちは、そのハイデルベルク信仰問答を、みなさんのため少し違った形で出版しますが、それには何よりも次のような理由があったのです。宗教改革が行われた時代に、みなさんもご存じのように、聖書がドイツ語に翻訳されました。その際、マルティン・ルターは、当時話されていた、ドイツ語を用いたのです。わたしたちの信仰問答の著者もまた、当時人々が話していたような、ドイツ語を用いました。しかたし時ととも、わたしたちの言語は変化しました。それゆえ、わたしたちの信仰問答の本来の言葉を、いくらか現在の言い回しに合わせようと思いたのです。

わたしたちは、それにもかかわらず、何よりも若い人々にとつて、わたしたちの信仰問答の多くの部分が、現在理解しにくいことを知っています。それにもかかわらず、わたしたちが、この書物を知ろうとする、すべての苦労を尊重するのは、この書物が、今なお、なぜわたしたちがキリスト者であるのか、わたしたちキリスト者は何を信じているのかを、理解するための大変重要な助けとなるからです。そのような理解のために、わたしたちは、みなさんに、興味と喜びと、そして、神様についての知識と理解とを祈ります。そしてそれにより、また、みなさんが、ハイデルベルク信仰問答が、わたしたちに告げようとする事柄によって、感謝するようになることを祈り願うのです。

「ハイデルベルク信仰問答—プロテスタント教会 青少年教育のために

Der Heidelberger Katechismus für den Jugendunterricht  
in evangelischen Gemeinden vereinfachte Ausgabe」

1961年、ノイキルヘナー出版  
の序文より

## カテキズム／信仰問答の歴史

はじめに

以下の記事は、この書物の最初の二つの版に掲載されたものに深く依存しています。内容的にそれほど多く書き換える必要はありませんでした。明らかに全体を最新の状態にすることと、いくつかの箇所の記事を短くすることだけが必要だったからです。このような信仰問答の版には、ただ基本的な導入を記すだけで十分でしょう。さらに加えるべきことは、記念の年〔訳注：1963年のハイデルベルク信仰問答出版400年記念〕にすでに出版されているか、あるいはこれから出版される学術的文献に示されているであろう事柄だからです。その中にはハイデルベルク信仰問答成立の歴史についての新しい知識も記されていることでありましょう。

1. カテキズム／信仰問答という言葉はもともと、「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい…あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい」（マタイによる福音書28章19、20節）とのキリストの使徒への委ねに従い、キリスト信仰の教材を口頭で教えることを意味しています。

古代教会では未信者は洗礼の前に基礎から教育を受けたのです。そしてこの期間の間、彼らのことをカテキュメネンと呼んだのでした。中世には教会の教育は衰退しました。ただヴァルド一派と古い兄弟団だけが聖餐の陪餐の前に計画的にカテキズムを用いたのでした。宗教改革の時代、神の御言葉の明るい光が再び輝き出したとき、ここでも新しい作業が始められ、若い人々の教育のためにカテキズムの書物が作られたのでした。

1502年のボヘミア兄弟団の子供たちのための問答集は1522年にドイツ語で出版されました。ルターは1520年に、「十戒、使徒信条、主の祈りの短いかたち」を書いています。しかしよりいっそう重要になりましたのはルターの1529年の「小教理問答（kleiner Katechismus）」だったのでした。これは今もなおルター派教会における標準的な教科書となっています。改革派教会の側について挙げれば、1534年のチューリヒ信仰問答、1542年のカルヴァンによるジュネーブ信仰問答、1554年のエムデン信仰問答、そしてとりわけ、プファルツあるいはハイデルベルク信仰問答があり、これは1563年に出版されました。そしてこのハイデルベルク信仰問答についてここに記したいと思います。

2. 選帝侯国プファルツはこの時代、ドイツ帝国の中で、もっとも重要な、華々しい国でしたが、1555年のアウクスブルク宗教和議に至るまで、宗教改革の承認に対して明確な態度表明をしておりませんでした。芸術を愛する選帝侯オット・ハインリヒが1556年に政治に携わることになると、彼はルター派の神学者たちを国に招き、ヨハンネス・ブレンツが著したヴェルテムベルク教会規則を導入したのでした。その3年後には亡くなってしまうので、彼は自分の宗教改革の仕事をそれ以上完成することはできませんでした。彼の後継者となったのがズィムメルン・シュポンハイムのプファルツ伯フリートリヒ二世でした。プファルツ選帝侯フリートリ

ヒ三世と呼ばれた彼は、1515年2月14日にズィムメルンに生まれ、厳格なローマ・カトリック教会の信仰の支配者の家庭に育ちました。早くから彼は、教育を受けるためにナンシー、リュティヒの領主邸へ、さらにはブリュッセルの皇帝の宮廷へと送られました。1537年に彼は、すでにプロテスタント教会の教育を受けていた伯爵の娘マリア・フォン・ブランデンブルク・クルムバッハと結婚します。静かに、基礎から聖書に向き合い、彼自身も、詳細な聖書知識とイエス・キリストの生き生きとした信仰を持つに至ります。選帝侯国プファルツを受け継いだ時彼は、そこにおいて、神学的な争いによるひどい混乱のために滞っていた前選帝侯の宗教改革の仕事の中心になるのです。ですから、健やかな教えを通して悪化した党派間の争いを克服し、新しく始めることによって、プファルツの教会共同体に聖書的な信仰告白の確かな基礎を与えることこそが重要であったのです。

穏やかに思慮深く、しかしまた明瞭で、確実な道を、選帝侯フリートリヒは歩みました。とりわけ彼の心にかかっていたのは、正しい説教者と教師とを手配することでした。この目的で彼は、自分の国の大学のために有能な教授たちの一団を招きました。教会の教えと規則とを新しく形作るための、模範となるような仕事に着手することを理解している人びとを、神ご自身が彼のもとに導いたのであると、言うことが許されるでしょう。熱意と専門知識を備えた、議員たちと侍医とが彼を補佐しました。しかし最も重要なことは、二人の若い神学者がもたらしたのです。まだ30歳にもなっていない二人は、ツァカリアス・ウルジヌスとカスパール・オレヴィアヌスでありました。

3. ツァカリアス・ウルジヌスは1534年7月18日にブレスラウに生まれました。彼の父、アンドレアス・ベアはその地の説教者でした。当時の習慣から後にその息子は、ラテン語でウルジヌスと呼ばれました。父が住む町のエリザベート・シューレで受けた教育により、この若者は、16歳にしてすでにヴィッテンベルク大学へ移れるほどに成長していました。大学で彼が学んだ教授の一人がフィリップ・メラnhitonでした。ウルジヌスはメラnhitonを深く尊敬し、まもなく教授と教え子とは固い友情で結ばれるようになりました。1557年にメラnhitonが宗教対話のためにヴォルムスへ旅をした時、ウルジヌスも同行が認められました。この対話の後、ウルジヌスはスイスにまで学びの旅を続け、ジュネーブではヨハンネス・カルヴァンと個人的な面識を得ました。その旅はさらにフランスにまで至り、南ドイツを経てヴィッテンベルクに戻って来たのでした。ブレスラウの、彼がかつて学んだ学校の教師職を得ることはできませんでしたが、1561年に彼は、選帝侯のハイデルベルクにおける教授としての召しを受けたのでした。

カスパール・オレヴィアヌスは1536年8月10日にトリーアのパン職人の親方の息子として生まれました。オレヴィアヌスの名前は、彼の先祖の出身である、トリーア近郊オレーヴィヒ村から来ています。彼は自分の父が住む町の学校で学んだ後、14歳にもならないうちに、多くのフランスの大学で学問を続けました。彼は法律の学者になるはずでした。学生時代、彼は好んで隠れて行われていた改革派の集会に参加しましたが、それは当時のフランスではたいへん危険なことだったのでした。彼の生涯が、まったく新しい方向に向かうことになったのは、ちょうど同じ頃、法律学の学生であった、後の選帝侯フリートリヒ三世の息子のひとりが、溺れてしまう事故があった時でした。友人を救おうとしたオレヴィアヌス自身も生命の

危険に陥った時、彼は自分の故郷の説教者になることを誓ったのであります。神は彼を救われ、オレヴィアヌスは自分の誓いを守ったのです。こうして彼は非常な熱心さで、ジュネーブのカルヴァンのもとで神学を学びました。25歳の時彼はトリーアに戻り、教師の職につき、宗教改革のために働きました。自由に、また公に、たくさんの聴衆を得て、彼はイエス・キリストの福音を告げました。しかしまもなくトリーア大司教は彼に説教を禁じ、この大胆不敵な証し人を10週間投獄した後、父の住む町から追放したのでした。しかし神はすでに彼の新しい働き場所を定めておられました。選帝侯フリートリヒ三世が、自分の息子たちの友人のことを覚えていて、1561年に彼も、教授として、また宮廷説教者としてハイデルベルクに招いたのであります。

4. 新しい教会規則と信仰問答を作成する作業は、1562年にはっきりとした形を取りました。残念ながらこれについての資料の多くが、30年戦争の間のプファルツ国の荒廃の中で、後に失われてしまいましたが、確かな手がかりがいくつか残されています。それを信仰問答の成立の過程から見る事ができるのです。

それがつまりウルジヌスの大変意義ある二つの準備作業でした、それは詳細な信仰問答と短い信仰問答でした。ハイデルベルク信仰問答の多くの問いが、部分的には言葉の詳細に至るまで、すでにここに記されています。また同時にたくさんの古い教科書が注意深く調べられています。とりわけ、チューリヒ、エムデン、ロンドン、ジュネーブの町の信仰問答が、またさらに南部ドイツ地方の教科書が参照されています。わたしたちの信仰問答のドイツ語テキストの最終的な版は、オレヴィアヌスによるものに違いないと言われて来ましたが、それまで全体的な意見とされていたものが、新しい研究によれば、もうそれほど確かに主張できなくなっています。以前よりもさらにわたしたちが強調しなければなりませんのは、ハイデルベルク信仰問答とは、教会における「チーム・アルバイト」であったということです。ですから、わたしたちが良く知っていますように、たくさんの作業会議と対話が行われ、そこにはまた、選帝侯自身が根気強く加わっていたことです。最終的に、国中の監督と教会に仕える主要な人びとがハイデルベルクに集い、信仰問答の草案を承認したのでした。

1563年1月19日に作業は終わりました。選帝侯による美しい序文には、この日付が付されているのです。まもなく印刷が始まりました。この小さな書物は次のようなタイトルで出版されました。「カテキズム（信仰問答）またはキリスト信仰の教科書。選帝侯国プファルツの教会および学校で用いられるために。選帝侯の町ハイデルベルクにて印刷。ヨハンネス・マイヤー出版。1563年」。その年の間にすでに二度、重要な部分が加えられました。もともと問80は信仰問答の中に含まれてはいなかったのです。しかし控え目な形の問80が加えられた第二版が出され、最終的に1563年11月15日には、決定版となる第三版が出版されました。そしてまもなくラテン語のテキスト版も加わりました。同様にこの信仰問答は、出版された年に、オランダ語と、さらにニーダー・ザクセンの言葉である「ザクセン語」、また低地ドイツ語に翻訳されました。

5. ハイデルベルク信仰問答は、伝えられた土地において、大きな注目を浴びました。敵対するローマ・カトリック教会の側、そしてまたルター派の神学者たちや、



友好的な君主たちもそれに欠けることはありませんでした。1566年には皇帝マクシミリアン2世がアウクスブルクでの教会会議を招集しました。この機会に何人かの選帝侯が選帝侯フリードリヒ三世を正式に訴えたのです。彼は、改革派による教会改革と信仰問答とをもって、1530年のアウクスブルク信仰告白から逸脱している、と訴えたのです。皇帝はフリードリヒに、プファルツの教会を改革する彼のやり方と、また彼の信仰問答をも廃止することを求めました。さもないと最も厳しい処置を取ることになると脅したのです。しかし恐れることなく敬虔な選帝侯は、かつてルターが1521年にヴォルムスでそうしたように、皇帝と全帝国の前で、勇気ある信仰の告白をしました。良心と信仰とによって、「すべての主人たちの主、すべての王たちの王である」、ただお一人の主を告白したのです。「わたしの信仰問答に関して言えば、私はこれを擁護致します。これはまた同様に、覆されることのないように、欄外に記された聖書の論拠によって武装されており、願わくは、神の助けにより、さらに末永く覆されることがありませんように」。燦然たる大会議は、この選帝侯の態度に深い感銘を受けました。敵対する者たちも、もう手出しできないことを認めたのでありました。

6. ハイデルベルク信仰問答は信仰告白として、教科書としてますます広まって行きました。1568年ヴェーゼルでの会議では、ネーデルラント難民の教会「十字架の下の教会共同体」により採択されました。1573年からは東フリースラで、1574年からはネーデルラントで、また1576年からはニーダーラインで採択されています。すでに1577年にハンガリーに達し、1581年にはオラニエ・ナッサウ家が、改革派の信仰に入りました。そこでは200年以上にわたり、絶えることなく、この信仰問答が用いられたのです。同様に1581年には、改革派の信仰とともに、この信仰問答が、ベントハイム伯爵領に渡り。1600年頃にはリップペ伯爵領、1613年にはブランデンブルクと、それにより、プロイセンの東の地方へと伝わりました。ユーリヒ、クレーフ、ベルク、マルクがすでに1610年に、最初の改革派の大会において「聖なる神の御言葉が、信仰と教えとの唯一の規則であり基準であり、神の御言葉に基づくキリスト信仰の要点が、ハイデルベルク信仰問答の中には記されており、この信仰問答が今後も国の学校および教会で守られ、用いられるように」と決議しています。この信仰問答の普遍的に有効な意義については、最終的に1619年、ドルトレヒト（オランダ）の大会において承認されました。当地に集う改革派諸教会の代表が、改革派教会の一致して承認された信仰告白文書であることを宣言したのです。今日、ハイデルベルク信仰問答は、全ヨーロッパ語とさまざまなアジア語、さらにはヘブライ語に翻訳されています。全世界に散らされた改革派諸教会一致のための絆、エキュメニカル運動のための信仰告白文書として、幅広い意味を持っているのです。ドルトレヒト会議に出席したイギリスの代表が故郷に戻った時、自分の国の人びとにこう語ったそうです。「大陸のわれわれの兄弟たちは小さな書物を持っているが、その一枚いちまいのページは、一樽の金をもってしても支払うことはできない」と。

7. もっと後のハイデルベルク信仰問答の歴史についても、ここで少し触れたいと思います。18世紀には改革派教会にも啓蒙運動の波が押し寄せました。聖書の中にあっても、人が自分の理性で理解できるような教えしか信じることはできないと主張されたのです。当時、信仰問答や讃美歌は新しい書物で置き換えられました。しかし前世紀〔1963年当時は19世紀〕の半ば、リバイバル運動の中で、宗教

改革の聖書的、福音的理解が灯した新しい光が、再び注目されるようになり、多くの改革派の教会でハイデルベルク信仰問答が再び導入されたのです。

今日、わたしたちにとってのハイデルベルク信仰問答は、わたしたちの父たちにとって、とりわけ教会闘争の時代の、また終戦後は、福音の正しい理解のためのより明解なガイドブックとして評価されています。1934年5月31日の、バルメン宣言の第一のテーゼが…問1と明らかに響きあって、その言葉が記されていることには理由があるのです。そこから、わたしたちは、わたしたちの時代においても、繰り返しくりかえし、改革派教会の共同体とメンバーにとって、また説教者、教師、牧会者、長老にとって、どれだけハイデルベルク信仰問答の働きと、大きく関わって来たのか。そしてまた今日なお、しっかりとした信仰に立つことを願う人たち、大人も子供も、理解しやすく、覚えやすい形の、必要な装備となっていることに気づかされるのです。何よりも、わたしたちはこの書物を、聖書と並べてではなく、あるべき場所に、すなわち聖書の下に置くのです。もしもっと良い、福音に従った、信仰告白文書、教科書、啓発書が与えられましたら、ハイデルベルク信仰問答は喜んで引退するでしょう。しかしそれまでは、わたしたちはこの書物をしっかりと守りたいと思います。ハイデルベルク信仰問答の400年の記念の年が、この小さな書物によって、わたしたちの教会と共同体とがあずかった、神の豊かな祝福に、共に感謝するための喜ばしい機会となるでしょう。

カール・バルトがハイデルベルク信仰問答について言っています。「いかなることがあっても、この書物は、神の御言葉によって改革される教会の、特別かつ古典的な信仰の文書であり、そうあり続けるのだ」と。またライン州の教会史研究者のマックス・ゲーベルはかつて、ハイデルベルク信仰問答において4つのものが一つに融合していると述べました。それは、

ルターの誠実さ  
メランヒトンの明解さ  
ツヴィングリの簡潔さ  
そして カルヴァンの炎 であると。

「ハイデルベルク信仰問答 400年記念版

1963年、リップペ領邦教会、北西ドイツ福音主義—改革派教会編 より」

---

ハイデルベルク信仰問答

訳：楠原博行

発行：1996年 3月20日（初版）  
2004年 6月17日（第二版）  
2008年 8月31日（第三版）  
2012年 11月11日（第四版）

---

